平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 12 月 16 日

要請番号（ JL 048 - 15 - A - 13 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ブータン	（コード H115 ） 医療機器	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 保健省

2)配属先名（日本語） 医療機器・ヘルスインフラ局 生体医用工学課 ○NGO

3)任地（ティンプー県ティンプー市 ） JICA事務所の所在地（ ティンプー市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

配属先はブータン国内全ての医療施設にて使用されている医療機器の修理・修繕およびメンテナンスを担当している。具体的な業務内容は、①医療機器の修理・修繕およびメンテナンス、②スペアパーツの保守管理、③医療機器整備計画の策定・運用等である。最終的には、これらの業務を通じ病院利用者に対して「安全で」、「標準化された」、「信頼性の高い」医療機器とサービスを提供することが求められている。これまでにJICAの協力支援が入ったことはない。年間予算は約4100万円。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先では大小様々な医療機器の修理・修繕を年間3,000台程度、取り扱っている。医療機器は精密機器であることが多く、また院内にて使用中である場合もあり、各病院から配属先に輸送し、修理することが非常に困難な状況となっている。そのため、病院等から修理や修繕の依頼がある際は、配属先スタッフが依頼先に出向き、修理・修繕等を行うことが通例となっている。しかしながら、配属先では知識や経験を持った技術スタッフ人数が非常に限られているために、たとえ軽微な保守・メンテナンス作業であっても人材不足から対応できない状況が長く続いている。そこで、基本的な医療機器の修理やメンテナンスができる人材の育成を主目的として本JVの要請に至った。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

ボランティアは配属先スタッフと協力し、以下の活動を行う。
1)実際の修理作業やワークショップ等を通じ、配属先同僚に対して修理に必要な基本的な技術力を身に付けさせる
2)必要に応じて国内の病院等で使用されている医療機器の修理・修繕およびメンテナンス作業を行う
3)病院スタッフに対し、適切な医療機器の使用方法に関する啓発活動を行う

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

麻酔器(Drager社製ドイツ)、オートクレーブ(トミー精工社製日本)、血液採取モニター(Delcon社製イタリア)、保育器(Mermmet社製ドイツ)、光学顕微鏡(オリンパス社製日本)等々

4)配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】
・配属先長1名(男性:公務員経験20年、当該分野経験無)
・技術スタッフ4名(25歳～40歳)(医用工学資格取得者)(経験年数:1年2名、8年1名、15年1名)および事務スタッフ4名(事務方、在庫管理等)
【活動対象者】
・配属先スタッフおよび病院関係者

5)活動使用言語 （ 英語 ）
6)生活使用言語 （ 英語 ）
7)選考指定言語 英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■) 又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：同僚に技術指導することになるため
・ 専門学校(医療機器関連)卒 理由：同僚の技術レベルと合わせるため
・ 第2種ME技術実力検定試験取得

活動上の単車／自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
○可 ◉否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（温暖冬季少雨気候 ） 気温（ -5～30 ℃位） 電気（○安定 ◉不安定 ○なし）
通信（ ☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ） 水道（○安定 ◉不安定 ○なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 15 日

要請番号（ JL 127 - 15 - A - 07 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ソロモン	（コード H115 ） 医療機器	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　保健・医療サービス省

2）配属先名（日本語）　ギゾ病院　　○ NGO

3）任地（ ギゾ ）　JICA事務所の所在地（ ホニアラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 1 時間）

4）配属先の規模・事業内容

ギゾ病院はウエスタン州全体を管轄している拠点病院である。主要業務は一般病棟、外来病棟などにおける医療サービス、産前産後検診、巡回診療、世帯ごとの保健調査実施、国立中央病院へのリファーラルなどである。
2011年8月にJICA無償資金協力により新ギゾ病院が建設され、2012年3月より稼動開始した。
また、オーストラリアから3ヶ月程度のサイクルで医師が、2ヶ月程度の単発でヨーロッパやオーストラリアの研修医、歯科研修医が派遣され、1年契約の看護師、助産師がオーストラリアエイドから派遣されている。

要請概要

1）要請理由・背景

ギゾ病院のメンテナンス部門には現在2年契約の部長(電気技師、契約延長中)、電気技師、配管工、大工、機械工、医療機器担当者が勤務している。医療機器担当者は2015年1月から国立大学に就学し2015年6月に卒業予定、その後、職場復帰する予定である。
新ギゾ病院には複数の日本の医療機器が導入されている。医療機器保守に従事する技師は医療機器担当者が主で部長、電気技師も医療機器に関わることもある。本件前任者が現在同病院へ配属中である(2015年9月末まで)

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

実務トレーニングを通じ、同僚技師に医療機器の保守管理、故障防止を目的とした適正運用の仕組み作りや、看護師などの利用者に対する啓発を行う。対象となる医療機器は、レントゲン撮影装置、手術室設備、臨床検査機器、超音波診断機器、吸引器など。
ウエスタン州内の病院、地域診療所を必要に応じ巡回訪問し、医療機器の修理指導や適正利用啓発活動を行う。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

超音波診断装置、X線装置、高圧蒸気滅菌器、人工呼吸器付麻酔器、吸引器、保育器、蒸留水製造機、冷蔵庫他

4）配属先同僚及び活動対象者

技術部門長(50代)、
電気技師(男性40代1名、20代1名、女性20代2名)
医療機器担当者(男性30代)、
看護師、医師などの医療機器利用者

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ その他 ）
7）選考指定言語
英語　(ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は　(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：業務に指導が含まれるため
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ）気温（ 25～35 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 7 日

要請番号（ JL 306 - 15 - A - 09 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
ボリビア	（コード H115 ） 医療機器	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　保健・スポーツ省

2) 配属先名（日本語）　日本・ボリビア国立医療技従者養成校(コチャバンバ)　○ NGO

3) 任地（ コチャバンバ県コチャバンバ市 ）　JICA事務所の所在地（ ラパス市 ）
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 0.5 時間）

4) 配属先の規模・事業内容
同校は1982年に日本の無償資金協力により建設された医療技術者を養成する公的機関であり、医療従事者に対する卒後教育や他県の医療技術者養成校を技術的に指導・監督する位置づけにもあり、カリキュラムの改訂作業を行う役割も担っている。また、エックス線や血液検査等、市民に向けた医療サービスを提供しており、コースによっては、この診療報酬で運営管理経費等を賄っている。学校全体の年間予算は約88万ドル。その内、「医療機器保守中級技術者養成コース」の予算は4万 ドル。将来的には、医療機関に出張し修理・保安を行うことで運営管理経費を賄っていこうとしている。これまでスペイン、UNICEF等からの援助受入実績がある。

要請概要

1) 要請理由・背景
同校は、2011年にボリビアで初めて「医療機器保守中級技術者養成コース」を設置し、中級技術者を育成することで地域の保健所・診療所等に設置されている医療機器の保守・修理を行うことができる人材の輩出をめざしている。授業は月曜から金曜までの午前8時から午後2時までで、履修期間は2年間、現在約30名の生徒が在籍している。前任者のSV(医療機器2014-2016)は、コースのカリキュラム編成や授業計画、教室運営等について支援を行ってきた。実習時間については、大幅に増加されたものの、実務指導を行う教員が不足しており、今回の要請に至った。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）
医療機器保守管理技師養成コースの学生及び講師に対し、下記の業務を行う。

1. 医療機器保守管理の指導
2. 各種機材の使用方法の指導
3. 教育実習先の医療機関における生徒への巡回指導支援 等

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
電機メステスター、除細動器テスタ、パルスオキシメーターテスター、電気安全アナライザー、オシロスコープ、絶縁抵抗計、デジタルマルチメーターなど、実習実験室、ガス流量テスター、保育器モニター

4) 配属先同僚及び活動対象者
カウンターパート:技術者1名(20代、男性、同校での実務経験1年)
コーディネーター:1名(50代、女性)

5) 活動使用言語（ スペイン語 ）
6) 生活使用言語（ スペイン語 ）
7) 選考指定言語
英語　(レベル: ■)
又は　(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）
- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ 大卒 ）（ 電気・電子 ）理由：同僚の知識レベルに合わせるため
- 経験（ 実務経験 ）（ 5年以上 ）理由：実務に基づいた助言がもとめられる
- 理由：
- 旧型（アナログ）・新型（デジタル）医療機器の保守・修理経験

活動上の単車／自転車の必要性
○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度
○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候（温暖冬季少雨気候 ）気温（ 10～30 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA 長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 1 月 5 日

要請番号(JL 545 - 15 - A - 02)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
ウガンダ	(コード H115) 医療機器	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 4 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 保健省

2)配属先名(日本語) ソロティ地域中核病院 ○NGO

3)任地(ソロティ県ソロティ) JICA事務所の所在地(カンパラ)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 7 時間)

4)配属先の規模・事業内容
ウガンダ北東部地域を統括する地域中核病院。入院施設を有する病床数約200床の病院で、年間予算は約2億円。医療機器の修理や管理を専門的に行う部署(ワークショップと呼ばれる)を有し、配属先病院だけでなく、統括地域の県病院やヘルスセンターが有する医療機器の維持管理も担っている。2004年JICA無償資金協力「ソロティ地区医療体制改善計画」、2006～2009年までJICA技術協力「医療機材保守管理プロジェクト」により継続的に支援が行われてきた。2015年1月現在、3代目の医療機器JVが活動中、また韓国人ボランティア(看護師3名)も派遣されている。

要請概要

1)要請理由・背景
ソロティ病院では、医療機器の多くが必ずしも適切な方法で使用・管理されている状態ではなく、誤使用による故障が発生している。医療機器保守整備部署で修理を担当するスタッフは一般的な電気技師や機械工であり、医療機器について専門的に学習してきたわけではない。このような環境でJICAボランティアは医療機器修理の他、病院スタッフ(医師・看護師)へ適切な機器使用方法を指導し、より効率的な医療機器管理方法の提案や推進を行っている。より多くの病棟で、正しく安全な医療機器使用方法と適切な機器管理を定着させる為、後任ボランティアが要請された。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
1.院内の医療機器の管理・使用状況を定期的にモニタリングし、インベントリ・リストの更新を行う。
2.医療機器の正しい使用法に関しトレーニングを受けた「医療機器ユーザー・トレーナー」と共に、簡易マニュアル作成や講習会開催を通して、病院スタッフへの医療機器の適切な使用方法と維持管理について指導する。
3.故障機器の修理をワークショップのスタッフと共に行う。
4.医療機材の整理整頓を含め、病院内の5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)推進を支援する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
一般的な工具(医療機器専用ではない)

4)配属先同僚及び活動対象者
院長(50代 男性)、事務長(50代、男性)
ワークショップ・マネージャー
ワークショップの電気技師2名・機械工1名 (内2名は医療機器ユーザートレーナー兼務、20代及び50代の男性、カウンターパートとなる)
看護師長 50代女性 1名
その他、病院スタッフ

5)活動使用言語
(英語)
6)生活使用言語
(英語)
7)選考指定言語
英語 (レベル: [redacted])
又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は(臨床工学士)
・性別( )理由:
・学歴(専門学校卒)(保健医療)理由:専門性が求められる
・経験(実務経験)(2年以上)理由:実際に修理等を実施するため
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
◉可 ○否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(常初夏気候) 気温(20～35 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 10 日

要請番号（ JL 545 - 15 - A - 12 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ウガンダ	（コード H115 ） 医療機器	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　保健省

2)配属先名（日本語）　ホイマ地域中核病院　○ NGO

3)任地（ホイマ県ホイマ ）　JICA事務所の所在地（ カンパラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 4 時間）

4)配属先の規模・事業内容

ウガンダ北西部のホイマ県に位置し、ホイマ県及び周辺5県を管轄する地域の拠点病院で1938年に設立された。病床数約150床、スタッフ数は約300名、年間の患者数は約10万～12万人。2014年度予算は186.5万米ドル。JICA技術協力プロジェクト「保健インフラマネジメントを通じた保健サービス強化」(2011年～2014年)の対象病院であった他、無償資金協力事業「西部ウガンダ地域医療施設改善計画」の下、日本の援助により新病棟が建設中。医療機材が供与される予定である。

要請概要

1)要請理由・背景

同病院は2013年～2015年にかけて実施されるJICAの無償資金協力「西部ウガンダ地域医療施設改善計画」の支援により、新病棟が建設中であり、建設後は複数種類の医療機材が供与されることとなっている。供与される機材には、同病院スタッフにとっては馴染みの薄い医療機材も含まれるが、当国では、臨床工学士のような資格はなく、病院の医療機器管理スタッフには、普通の電気・機械分野を勉強した人材がエンジニアとして配置されているのが通常であり、医療機器の専門知識を有する人材が不足している。既存の医療機器や、新しく供与される機器の保守管理のために、医療機器に関する専門的な知識・経験を有するボランティアの支援が必要であることから、本要請がなされた。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1.医療機器の保守管理部門のスタッフと共に、管理台帳の作成・更新、動作状況の確認、メンテナンス、修理といった保守管理作業を行う。
2.看護師や医療機器トレーナーと共に、病棟巡回やマニュアル作成、セミナー開催等を行い、機材の使用者たる病院スタッフ(主に看護師)への適切な機器使用方法を紹介・指導する。
3.病院環境改善の為、5S(整理、整頓、清掃、清潔、躾)活動をサポートする。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

一般的な修理工具。(専門的工具ではない)

4)配属先同僚及び活動対象者

院長 男性1名、事務長 男性1名、看護師長 女性1名
医療機器保守・管理ナショナル・トレーナー2名(看護師、JICAの医療機器ユーザートレーニング受講者、カウンターパートとなる予定)
医療機器ワークショップ・マネージャー及びスタッフ(計12名)

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ 英語 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許/資格（ ）
  又は（ 臨床工学技士 ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：幅広い機器の知識が必要
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（常初夏気候 ）気温（ 15～30 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 10 日

要請番号（ JL 545 - 15- A - 13 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3	年 月 から
ウガンダ	（コード H115 ） 医療機器				28 / 1	
					/	

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　保健省

2）配属先名（日本語）　カバレ地域中核病院　○NGO

3）任地（カバレ県カバレ）　JICA事務所の所在地（カンパラ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 8 時間）

4）配属先の規模・事業内容

ウガンダ南西部のカバレ県に位置し、カバレ県及び周辺5県を管轄する地域の拠点病院で1944年に設立された。病床数約220床、スタッフ数は約300名、年間の患者数は約10万～12万人。2014年度予算は183万米ドル。JICA技術協力プロジェクト「保健インフラマネジメントを通じた保健サービス強化」(2011年～2014年)の対象病院であった他、無償資金協力事業「西部ウガンダ地域医療施設改善計画」の下、日本の援助により新病棟が建設中、医療機材が供与される予定である。2011年に病院事務長を、2014年には産科病棟看護師をJICAの研修にて日本に招へいしている。

要請概要

1）要請理由・背景

同病院は2013年～2015年にかけて実施されるJICAの無償資金協力「西部ウガンダ地域医療施設改善計画」の支援により、新病棟が建設中であり、建設後は複数種類の医療機材が供与されることとなっている。供与される機材には、同病院スタッフにとっては馴染みの薄い医療機材も含まれるが、当国では、臨床工学士のような資格はなく、病院の医療機器管理スタッフには、普通の電気・機械分野を勉強した人材がエンジニアとして配置されているのが通常であり、医療機器の専門知識を有する人材が不足している。既存の医療機器や、新しく供与される機器の保守管理のために、医療機器に関する専門的な知識・経験を有するボランティアの支援が必要であることから、本要請がなされた。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1.医療機器の保守管理部門のスタッフと共に、管理台帳の作成・更新、動作状況の確認、メンテナンス、修理といった保守管理作業を行う。
2.看護師や医療機器トレーナーと共に、病棟巡回やマニュアル作成、セミナー開催等を通し、機材の使用者たる病院スタッフ(主に看護師)への適切な機器使用方法を紹介・指導する。
3.病院環境改善の為、5S(整理、整頓、清掃、清潔、躾)活動をサポートする。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

一般的な修理工具。(専門的工具ではない)

4）配属先同僚及び活動対象者

院長 男性1名、事務長 男性1名、看護師長 女性1名
医療機器保守・管理ナショナル・トレーナー2名(看護師、JICAの医療機器ユーザートレーニング受講者、カウンターパートとなる予定)
医療機器ワークショップ・マネージャー及びスタッフ

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ 英語 ）
7）選考指定言語　英語（レベル: ■）　又は（レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ 臨床工学技士 ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：幅広い機器の知識が必要
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：◉可 春募集時のみ適用　○否 SVは通年対象外

地域概況

気候（常初夏気候 ）気温（ 15～30 ℃位）　電気（○安定 ◉不安定 ○なし）
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ）　水道（○安定 ◉不安定 ○なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 2 月 12 日

要請番号(JL 603 - 15- A - 06)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ジブチ	(コード H115) 医療機器	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 保健省

2)配属先名(日本語) 国立ペルティエ病院 ○NGO

3)任地(ジブチ市) JICA事務所の所在地(ジブチ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(徒歩 で約 0.3 時間)

4)配属先の規模・事業内容

1955年に設立された国立病院。ジブチにおける約70%の医療行為を担っている。外来患者の平均数は約200人/日。感染症科、眼科、整形外科、蘇生科(集中治療室)、心臓科、精神科、緊急治療科、口腔科、内臓科、小児科等の専門科が配置されている。ベッド数は258床、医師数は複数の専門医を含め49名、看護師数は約100名、臨床検査技師、レントゲン技師などのパラメディカル要員および事務要員等の合計は約250名。過去に3回にわたり日本による無償資金協力、機材供与等の支援が実施されている。協力隊ボランティアは、医療機器が1名、放射線技師が1名派遣された実績がある。

要請概要

1)要請理由・背景

ジブチ国における保健セクターの優先事項のひとつは人材育成である。専門科医師の育成、パラメディカル要員の育成に加え、医療機器や機材のメンテナンス強化に関しても優先事項である。ジブチ国には国立リファラル病院が5、県病院が5、都市部の保健センターが11、村落部の保健センターが37あり、ペルティエ病院はトップリファラル病院である。ペルティエ病院には医療機材メンテナンス部門があり、職員は7名である。他の病院には医療機材メンテナンス部がなく、それらの病院の医療機器メンテナンスも実施している。壊れた医療機材が全国の病院から送られてきたり、出張修理を行うこともある。ペルティエ病院には日本製の医療機器も多い。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

・医療機器の定期点検および定期点検方法の指導
・故障中の医療機器の修理および修理技術の指導
・5S活動推進

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

ベッドサイドモニター、全身麻酔器、呼気ガスモニター、除細動器、人口呼吸器、人工透析器、輸液ポンプ、パルスメータ、保育器、光線治療器、新生児監視装置、高圧蒸気滅菌器、内視鏡機器、放射線機器ほか医療機器

4)配属先同僚及び活動対象者

部長1名(男性50歳代)、職員5名(男性30歳代～40歳代)

5)活動使用言語 (フランス語)

6)生活使用言語 (フランス語)

7)選考指定言語 英語 (ﾚﾍﾞﾙ: [redacted]) 又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許/資格( )
又は( )
・性別( )理由:
・学歴(専門学校卒)(電気・電子)理由:同僚のレベルに合わせるため
・経験(実務経験)(3年以上)理由:実務に基づいた知識が必要である
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 ◉否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候(熱帯夏季少雨気候) 気温(25～37 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)

通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

非常に厳しい環境のため、心身ともに頑強であることが望まれる

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 27 年 2 月 5 日

要請番号（ JL 630 - 15 - A - 22 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から
モザンビーク	（コード H115 ） 医療機器					

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　保健省

2)配属先名（日本語）　ナンプラ中央病院　○NGO

3)任地（ナンプラ州ナンプラ ）　JICA事務所の所在地（ マプト ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 2 時間）

4)配属先の規模・事業内容

1978年に創設された同病院は、全国に3つある国立中央病院のうちの1つである。ナンプラ市街地区中央部に設けられており、約5ヘクタールの敷地の中に診療施設および関連施設が配置されている。診療体制は、内科、小児科、外科、外科・内視鏡科、眼科、耳鼻咽喉科、産・婦人科、放射線科、臨床検査科の9科で構成されている。世銀、UNICEF、NGO等の援助で施設の修理・建設等が実施された。プロジェクトでJICA専門家が保健省に派遣されており、保健人材が持続的に養成される体制の整備を図っている。また、同職種のJICAボランティアが2013年より派遣されている。

要請概要

1)要請理由・背景

同病院を含む3つの国立中央病院に、日本政府の無償資金協力で医療機器供与(1997年)、フォローアップで部品の交換や機器の修理を実施(2003年12月)した。同配属先の維持管理部には、JICAが実施した本邦研修に参加した職員が1名おり、病院内の医療機器管理・保守業務を担いながら、医療機器担当者の指導を行っている。また、保健省の出先機関である州保健事務所が運営している、州維持管理ユニットと連携して同州内の医療機器の保守・修理を行っている。州維持管理ユニットにも本邦研修に参加した同僚職員が1名いるので、同職員2名と共に、更なる業務レベルと同僚職員の能力向上を目的として、ボランティアが要請されている。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

・ナンプラ中央病院の医療機器の維持・管理・保守業務の実施・支援を行う。
・医療機器の使用目的の知識や取り扱いをアドバイスする。
・スペアーパーツの管理方法を指導する。
・州保健局維持管理ユニットに協力してナンプラ州の医療機器の維持管理・保守支援を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

ベッドサイドモニター、全身麻酔器、呼気ガスモニター、除細動器、人工呼吸器、輸液ポンプ、パルスメータ、保育器、光線治療器、新生児監視装置、高圧蒸気滅菌器、内視鏡機器、放射線機器ほか医療機器、修理用工具

4)配属先同僚及び活動対象者

主任・中級医療機器技術者(男性、40代、大卒)
初級医療機器技術者(男性、1人、30代)
技術者(男性、23人、20～40代)

5)活動使用言語（ ポルトガル語 ）
6)生活使用言語（ ポルトガル語 ）
7)選考指定言語
英語 (レベル: ■)
又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許/資格（ ）
　又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ 専門学校卒 ）（ ）理由：同僚と同等の学歴を必要とするため
・経験（ 実務経験 ）（ 5年以上 ）理由：病院内の業務を行うため
・ 理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可 ◉否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（サバナ気候 ）気温（ 5～40 ℃位）　電気（○安定 ◉不安定 ○なし）
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ）　水道（○安定 ◉不安定 ○なし）

特記事項

2012年1月から約4年間、モザンビーク保健省において技術協力プロジェクト「保健人材養成機関教員能力強化プロジェクト」が実施されている。

平成 27年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 9 日

要請番号（ JL 012 - 15 - A - 08 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
フィリピン	（コード H131 ） 栄養士	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　国家経済開発庁ボランティア調整局

2）配属先名（日本語）　ボホール州農業事務所　○ NGO

3）任地（ボホール州 タグビララン市 ）　JICA事務所の所在地（ マニラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 1.5 時間）

4）配属先の規模・事業内容

配属先は、ボホール州全体の農業の普及・向上を担うと共に栄養改善プログラムを主導する部署として同州の貧困削減を目指している。同部署所属職員は、67名であり、2014年の同農業事務所の予算は、2900万ペソ(日本円で約7,800万円)、その内、栄養プログラムに従事する職員は11名、予算は、330万ペソ(日本円で約890万円)であった。2013年に、UNICEFとSave the children から住民の栄養状態調査実施の援助を受けている。

要請概要

1）要請理由・背景

ボホール州は2013年10月の地震被災後、管轄下にあるブエナビスタ町の小児の栄養失調率が被災前の約1.8倍になっており、特に小児・妊産婦の栄養改善が大きな課題となっている。栄養改善プログラム実施の一環として、2013年にUNICEFとSave the childrenの支援により栄養状態調査ネットワークを導入し、マッピングを開始したが、同プログラムの職員の理解が十分でないことから、栄養状態のマッピングが行なわれている町は限定的となっており、栄養改善プログラムが進んでいない。マッピングを展開していくと同時に、収集した情報を分析し、州の政策、予算に反映できるようにするために本要請となった。同配属先からJV(コミュニティ開発)の要請もされている。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

① 栄養状態調査ネットワークの運営への助言を行う。
② 栄養不良削減のために栄養プログラムに対する計画・実施・評価の提案・助言を行う。
③ 保健に関する州政策の優先順位づけへの助言・提言を行う。
④ 栄養状態の情報を基に各町の栄養改善対策に関する助言を行う。
⑤ バランガイ(村)での栄養に関する啓発活動を実施する。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プリンター等の事務機器

4）配属先同僚及び活動対象者

州事務所農業局長: 40代男性
カウンターパート: 州栄養改善プログラム調整員(栄養士) 女性
栄養改善プログラム職員(栄養士9名、アシスタント2名) 11名

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ その他 ）
7）選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ 栄養士 ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：経験に基づく助言が必要なため
・ 理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性
◉ 単車　○ 自転車　○ 不要
（小型自動二輪免許が必要）

現職教員特別参加制度
○ 可　春募集時のみ適用
◉ 否　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ）気温（ 23～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 26 年 11 月 18 日

要請番号（ JL 026 - 15 - A - 10 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3	年 月 から
東ティモール	（コード H131 ） 栄養士				28 / 1	
					/	

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 保健省

2)配属先名（日本語） バウカウ県病院　○NGO

3)任地（ バウカウ中心部 ）　JICA事務所の所在地（ ディリ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 3 時間）

4)配属先の規模・事業内容

配属先病院は1985年に設立された、バウカウ県を含む近隣3県を管轄する総合病院で、内科、外科、婦人科、整形外科、救急、手術室、薬剤課、検査室、外来等がある。日に約250人の外来患者が来院し、ベッド数は約140床である。キューバ人、フィリピン人、ケニア人といった外国人医師や看護師、技師も複数名勤務しているが、医療機器や医薬品には限りがあり、重症患者は首都や国外に搬送することとなる。現在、同県内に新しく病院施設を建設中であり、2015年内には移転することを計画している。JVの派遣は2014年に始まり、現在薬剤師JV1名(2016年9月まで派遣)が活動中である。2014年の予算は約10万米ドル。

要請概要

1)要請理由・背景

乳幼児の約半数が栄養不良の状態にあるように、国民全体の栄養状態改善は東ティモールの大きな課題である。人々の栄養や健康などへの理解は極めて低く、十分に知識・経験を積んだ医療従事者が不足している。バウカウ県病院には栄養士が2名おり、医師の指示に従って各疾患に対応したメニューを組み、給食指示をおこなっている。調理スタッフは4シフトを組み、朝食・昼食・夕食の3食を供給している。入院患者と病院スタッフのための毎食数は、160以上である。しかし現場で確認できる普通食の給食には、揚げ物(フライか、素揚げ)と、野菜を油で炒めて塩で調味したもの、砂糖を多用したデザートが並んでおり、カロリーや栄養バランスについて改善の余地がみられる。これら現状を正しく評価し、現場スタッフたちの栄養への理解を促進して入院患者の栄養改善を図るには、専門知識を持ちあわせた人物からの助言が必要であり、本要請をするに至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

栄養課スタッフ、病院と話合い、下記のようなことを実行していく。
1 現在病院で実行されている給食サービスの現状を確認、評価する。
2 給食サービスや施設管理方法などを改善し向上させるための支援計画を、栄養課、病院と話合いながら計画する。
3 上記計画に沿って現地人栄養士、スタッフたちの能力向上を、協力し合いながら実行していく。
4 いずれは病院スタッフ(医者、看護師など)や入院患者への、栄養教育支援も期待される。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、調理施設

4)配属先同僚及び活動対象者

・チーフ栄養士:男性、40代、インドネシアでdiploma、1993年より勤務 ※C/P予定
・栄養士:男性、30代、インドネシアでdiploma、2013年より勤務
・調理スタッフ:12名(男性3、女性9)、2名はインドネシア統治時代から勤務、残りは5年超の経験

5)活動使用言語（ インドネシア語 ）
6)生活使用言語（ その他 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許/資格（ 栄養士 ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：指導する立場になるため
・ 理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可 ◉否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 23～32 ℃位）電気(○安定 ◉不安定 ○なし)
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ）水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

実際の活動や生活では生活言語(テトゥン語)を使用するため、任地到着後に学習する。
病院施設内にはネット環境がないが、USB型の通信器を購入して使用することが可能である。

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ

長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 1 月 6 日

要請番号(JL 233 - 15- A - 11)			区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国 名	職 種					
グアテマラ	(コード H131) 栄養士	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 大統領府企画府

2)配属先名 (日本語) MAMSOHUE市長連合 ○ NGO

3)任地(ウエウエテナンゴ県ウエウエテナンゴ市) JICA事務所の所在地(グアテマラシティー)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 5 時間)

4)配属先の規模・事業内容
ウエウエテナンゴ県南西部に位置する7市が協力して運営する団体で、同地域の発展を目的とし、住民の生活向上のための各種事業の企画運営を行っている。同地域の住民のほとんどがマム族の先住民である。各市に月額約12万円の負担金が課せられており、年間の予算は負担金も含め約1,200万円である。過去にスペイン、ベルギーなどから短期・長期のボランティアを8名受け入れた経験がある。

要請概要

1)要請理由・背景
同地域は、台湾の援助で導入した野菜(トマト・ジャガイモ・ビート・キャベツなど)や、果実(リンゴ・モモ)の収穫があるものの、収穫最盛期には腐らせるほかにその有効利用ができていない。様々な取り組みを試みたが、村落地域での妊産婦及び乳幼児の栄養失調の問題を解決する手がかりがないままである。住民へのサービスを目指す配属先では、他地域で活動するJICAボランティアの活躍ぶりを知り、食の安全保障の観点から、抜本的な栄養改善を目指すため、今回の要請につながった。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
・7市の女性支援課が実施する、現況の栄養調査へのアドバイスをする。
・7市の女性グループ対象に身近な食材で作る料理の指導及び収穫物を利用した保存食品の指導をする。
それらの活動を通じて、食の安全・栄養についての大切さを理解させる。
・上記講習会・料理実習企画・運営の支援を7市の女性支援課に対して行う。
・その他、7市の担当者とともに、当該地域の食の安全に関する他機関との連携の可能性を探す。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
プリンター、コンピュータ、プロジェクタ、机、いす

4)配属先同僚及び活動対象者
市長連合のマネージャー 女性30代
各市役所の栄養改善担当者
コミュニティーの女性グループ(各市に10グループ、全体で70グループ)10代～50代

5)活動使用言語 (スペイン語)
6)生活使用言語 (スペイン語)
7)選考指定言語 英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■) 又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格(栄養士)
又は ( )
・性別 ( ) 理由:
・学歴 ( ) ( ) 理由:
・経験 ( ) ( ) 理由:
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性
○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度
◉ 可 ○ 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(高地地中海性気候) 気温(0～28 ℃位) 電気(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)
通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 □ 無線) 水道(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ

長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 1 月 7 日

要請番号(JL 233 - 15 - A - 12)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
グアテマラ	(コード H131) 栄養士	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 大統領府企画府

2)配属先名(日本語) サンタクルスデルキチェ市役所 ○NGO

3)任地(キチェ県サンタクルスデルキチェ市) JICA事務所の所在地(グアテマラシティー)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 4 時間)

4)配属先の規模・事業内容
同国の中でも、貧困率の高いサンタクルス市は中心部が6区分され、その他105の村落地域からなっている。配属先は、それら地域を対象として、食の安全・栄養を含む市民の安全保障を目的として各市に設置された事務所の一つで、年間の予算は約1千万円。家庭菜園用の種子・果樹の配布、給食用の食材調達などを通して食の安全に取り組んでいる。その他、衛生に関する啓発活動などを通して、住民の生活の質向上を目指す。過去には、デンマークの援助で都市部の飲料水システムを導入した。現在キチェ県教育事務所で小学校教育JVが活動中で、キチェ病院には28年1月から栄養士が派遣予定であり、27年春募集で助産師の要請も挙がっている。

要請概要

1)要請理由・背景
市民の安全保障を確立するため、様々た取り組みを行ってきた。特に2014年の雨季が干ばつに見舞われ、主食であるトウモロコシの減産があった折に、豊饒な土地の有効利用をと考え、伝統的な農作物(トウモロコシと豆)以外の農産物(レタス・トマト・ブロッコリーなど)家庭菜園を貧困地域で指導した。それ以外にヒラタケの栽培、果樹の植樹、販売用菓子の指導などを実施してきたが、対象地域での妊産婦及び乳幼児の深刻な栄養失調を解消する助けにはなっていない。そのような中、ボランティア説明会に参加した職員が、栄養・食育などの指導のできるボランティアの存在を知り、今回の要請につながった。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
・食の安全と栄養をテーマにした参加型講習会の企画・開催を配属先同僚に対してアドバイスする。
・ソーシャルワーカーとともに、65%が極貧層に属する対象地域を回って、栄養状況の調査の手伝いをする。
・市で実施する巡回定期健診の手伝いをする。
・栄養改善のため、乳幼児の身長・体重などの見直しの手伝いをする。
・低コストで栄養価の高い料理を考え、母親に指導する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
机、いす、コンピュータ、プリンタ、インターネット

4)配属先同僚及び活動対象者
ソーシャルワーカー(女性、30代、5年)
看護師(女性、30代)
農業指導員(男性、40代)
普及員(女性、40代)
農業作業員(男性、50代)
15村落および栄養失調が深刻な2～3の市街地域の住民(子供から大人)

5)活動使用言語
(スペイン語)
6)生活使用言語
(スペイン語)
7)選考指定言語
英語 (レベル: ■)
又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格(栄養士)
又は ( )
・性別 ( ) 理由:
・学歴 ( ) ( ) 理由:
・経験 ( ) ( ) 理由:
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
◉可 ○否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候(高地地中海性気候) 気温(5~25 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 12 月 22 日

要請番号（ JL 327 － 15 － A － 05 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ペルー	（コード H131 ） 栄養士	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） カハマルカ州政府

2)配属先名（日本語） カハマルカ州立高等職業訓練校1882年7月13日サンパブロ ○NGO

3)任地（カハマルカ州サンパブロ郡 ） JICA事務所の所在地（ リマ市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 3 時間）

4)配属先の規模・事業内容

高等職業訓練校は教育省管轄の各種専門学科を有する州立教育機関で、各州に複数存在する。配属先はペルー北部アンデス地域の町にある教員養成コースも有する創立31年目の学校である。教員養成コースは、初等教育、環境科学、社会科等、職業訓練コースは看護科、食品加工、コンピュータ・情報技術科を有する。全教職員数は28名、総学生数は約280名(うち、看護科80名、食品加工科35名)である。中等教育修了者が入学し、前後期制で教員養成コースは5年、職業訓練コースは3年間が就学期間である。人件費以外に予算配賦はない。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先の位置するサンパブロ郡は住民の多くは貧困層であり、特に村落地域において妊産婦死亡率や5歳以下の乳幼児の栄養不良の割合が高い。その一因として、野菜や穀類、乳製品、肉類等、食材は豊富にあるにもかかわらず、栄養バランスの偏った食事や炭酸飲料や菓子を食事代わりに摂取するといった食習慣がある。配属先では看護科の学生が実習の一環として地域を訪問し、栄養指導を含む住民への保健教育を行っている。また、食品加工科では、現地で取れる食材を用いて栄養価や栄養バランスを考えた加工品の製造に取り組む予定である。しかし、看護科、食品加工科いずれも栄養指導を専門とする教員がいないため、実習内容は十分ではない。このような背景から、JVには各科の取り組みが住民の栄養状態改善につながる効果的な内容となるよう、栄養士の立場からの協力が求められている。同任地で活動中のコミュニティ開発JVとの連携も図る。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

①看護科学生が地域住民に対して行う保健教育実習支援
栄養バランスの良い食事、食材の組み合わせ、食習慣の見直し等、住民の栄養状態改善に向け、より有効な指導内容や方法の助言・提案と実習支援
②食品加工科学生が行う加工品製造実習支援
現地で取れる農産品を材料とした栄養バランスが良く栄養価の高い加工品製造のため、よりよい食材の組み合わせや加工方法等の助言・提案と実習支援
※現地食材としては、トウモロコシ、キヌア等の穀物、豆類、野菜・果物各種、乳製品等。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

事務室(看護科図書室)、各教室、食品加工実習室、TVモニター、プロジェクタ

4)配属先同僚及び活動対象者

看護科教員(女性、50代、実務経験30年)
食品加工科教員(女性、30代、実務経験4年)
看護科学生約80名、食品加工科学生約35名

5)活動使用言語（ スペイン語 ）
6)生活使用言語（ スペイン語 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許/資格（ 栄養士 ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：円滑な活動遂行のため
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：◉可 ○否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（高地気候 ） 気温（ 10～25 ℃位） 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ） 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 27年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 5 日

要請番号（ JL 512 - 15 - A - 20 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ガーナ	（コード H131 ） 栄養士	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　保健省

2) 配属先名（日本語）　国連世界食糧計画 (WFP)　　○ NGO

3) 任地（ノーザン州タマレ市 ）　JICA事務所の所在地（ アクラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で約 11 時間）

4) 配属先の規模・事業内容

世界食糧計画(WFP)ガーナ事務所では、ガーナ北部3州の貧困層の食糧安全保障の確保と栄養改善に注力しており、主に①初等教育アクセス改善のための学校給食支援②5歳未満の栄養失調児や妊婦、授乳中の女性、HIV/AIDS陽性者を対象とした栄養補助食品の提供による栄養改善③天候や自然災害のリスクを受けない生活水準の確保および生計支援のためのコミュニティ生活基盤の整備等の事業を実施している。WFPガーナ事務所の5ヵ年事業(2012-2016)の予算は約48億円であり、加えてカナダからの5億円の支援、日本政府からの支援で栄養改善のプロジェクトに2億円の予算が投じられている。

要請概要

1) 要請理由・背景

上記①②の事業に関連して、WFPとガーナ政府、日本政府、味の素株式会社の協力により、栄養改善プロジェクトが2014年より始動した。プロジェクトはノーザン州の20郡を対象とし、①栄養のある食事摂取と成長阻害要因の削減②食券配布システム(栄養補助食品を配布)を利用した2歳未満の乳幼児の栄養改善③学校給食事業による栄養価の強化を目指している。同プロジェクトの運営において支援が求められており、今般ボランティアが要請された。
WFPガーナ事務所の事業班長とタマレ支所長の指示の下、タマレ支所に所属する栄養スペシャリストとして、現場の業務調整、事業モニタリング、プロジェクトおよび関連業務への提言、報告書や資料等の取りまとめを行う。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

WFPタマレ支所に所属し、他のWFPスタッフの管理や協働のもとで以下の業務に取り組む。
・家庭菜園の促進と現地食材を活用した家庭食の栄養改善に係るトレーニングプログラムの実施および調整業務
・食券の使用状況と家庭の栄養摂取状況のモニタリング及び食券配布システム強化に向けた提言
・現地食材を活用した給食献立メニュー作成ツール※の活用支援とモニタリング
・給食配膳業者、学校関係者を対象とし、健康増進を目的とした食育・啓発活動の実施および郡職員の能力強化
※WFPが使用している既存のツールを活用する。

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

PC一式、プリンター、プロジェクター、固定電話

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
(ガーナ事務所)事業班長 40代男性(大卒)
(タマレ支所)支所長 40代男性(院卒)、ナショナルプログラムオフィサー40代(大卒)、その他6名30-50代
州・郡職員:学校給食課職員、保健局員、教育事務所員、農業局員
活動対象者:母子、教員、児童、PTA、給食配膳業者、農家、小売業者

5) 活動使用言語（ 英語 ）
6) 生活使用言語（ 英語 ）
7) 選考指定言語　英語 (ﾚﾍﾞﾙ: B)　又は　(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ 栄養士 ）
　又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ 短大卒 ）（ ）理由：業務関連知識が必要
・経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：即戦力が求められているため
・　理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（サバナ気候 ）気温（ 25～40 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（☒ インターネット可　☒ 電話可　□ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

ノーザン州以外にアッパー・ウエスト州およびアッパー・イースト州への出張もある。
WFPガーナ事務所、タマレ支所、それぞれに栄養担当職員(栄養学修士)が1名ずついる。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 13 日

要請番号（ JL 515 - 15 - A - 11 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ケニア	（コード H131 ） 栄養士	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　保健省

2）配属先名（日本語）　ニャヘラ・サブカウンティ病院　○ NGO

3）任地（ニャヘラ、キスムウェストサブカウンティ ）　JICA事務所の所在地（ ナイロビ ）
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 8 時間）

4）配属先の規模・事業内容
配属先はキスムウェスト保健事務所の傘下にある。ニャヘラ地域のHIVカウンセリングと検査(VCT)、母子感染予防、結核患者のケアなど、HIV/エイズ関連サービス全般を行なっている。配属先の名称は病院(Hospital)となっているが、医者が駐在していないため、手術等ができない診療所である。同地域での患者数は2600人ほど登録されているが、実際に通院しているのは1800人程度。ベット数は22床。
青年海外協力隊は、コースト地域からの任地振替により、平成25年度1次隊(感染症・エイズ対策/2014年9月～2015年6月)が活動中。近隣の学校における学校保健活動などを展開している。

要請概要

1）要請理由・背景
同地域におけるHIV感染率は19.3%とケニア国全体の感染率(6.04%)に比べて高く、生産年齢人口における影響は深刻である。ニャヘラサブカウンティ病院はキスムウェスト保健事務所が強化を望む農村地帯にある。同地域においてHIV/AIDSは海外の支援があり、様々な援助機関が支援しているが、栄養についてはほとんど注目されていない。そのため、配属先が現地の現状を把握できていない実態がある。
同要請では、ボランティアが同僚スタッフとともに地域の栄養調査を行い、現状を把握し、その結果を配属先の医療サービスに反映させることが期待される。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）
ボランティアは病院スタッフ(パブリックヘルスワーカー)と共に、以下の業務を行う。
①現地の栄養にかかる実態調査を行う。
②小中学校の学校保健授業の中での栄養指導。
③HIV/AIDS等患者への栄養指導。
④栄養改善にかかる、アイデアの共有。
⑤その他配属先の指示する業務。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
特になし

4）配属先同僚及び活動対象者
ナーシングオフィサー:女性 40代
クリニカルオフィサー:女性 40代
栄養士はサブカウンティ保健事務所に在籍する。
その他病院関係者は約20名。
活動対象者は地域住民。1日に約150名の地域の老若男女が訪れる。

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ スワヒリ語 ）
7）選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）
- 免許/資格（ 栄養士 ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：配属先の求めによる
- HIV/AIDSの基本的な知識　理由：感染者への指導も含まれるため
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　◉ 自転車　○ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　春募集時のみ適用　○ 否　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯気候 ）気温（ 10～30 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 27 年 1 月 13 日

要請番号（ JL 515 - 15- A - 12 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ケニア	（コード H131 ） 栄養士	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　保健省

2)配属先名（日本語）　キスムウェスト・サブカウンティ保健事務所　○NGO

3)任地（オジョラ、キスムウェストサブカウンティ ）　JICA事務所の所在地（ ナイロビ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 8 時間）

4)配属先の規模・事業内容

配属先は、キスムウェスト サブカウンティの保健事務所。保健事務所長のもと栄養士や公衆衛生などの担当官10名によるサブカウンティ保健管理チームが設置されており、管轄地域内にある医療施設で提供される保健医療サービスの監督、調整にあたっている。
同保健事務所が管轄するニャヘラ・サブカウンティ病院には、青年海外協力隊員(平成25年度1次隊/感染症・エイズ対策/2014年9月～2015年6月)がコースト地域からの任地振替により活動中。近隣の学校における学校保健活動などを展開している。

要請概要

1)要請理由・背景

ケニアは2012年から地方分権を行い、カウンティ制をとっている。現在国内に47のカウンティがあり、各カウンティは複数のサブカウンティを有している。配属先のキスムウェスト・サブカウンティも2012年にできた新しい行政区域である。そのため、所属している保健事務所のオフィサーも計画及び運営の経験に乏しく、人的・技術的な支援が必要となり、JICAボランティアの要請となった。
同地域は、国内でもHIV/AIDS感染者の多い地域で、ボランティアが関わる対象者は、HIV/AIDS患者、TB(結核)患者、小中学校の生徒及び教員、幼児を持つ家族と幅広い。ボランティアの活動は、配属先スタッフ(栄養士)とともに行い、配属先スタッフのスキルアップも期待される。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

ボランティアはサブカウンティ保健事務所の栄養士スタッフと共に、以下の業務を担当する。
①現地(コミュニティ)を巡回し調査を行い、状況を把握する。
②栄養改善にかかるアイデアの共有。
③小中学校での栄養指導。(対象は生徒及び教員)
④5歳以下の幼児の栄養状況調査及び、栄養改善指導。
⑤HIV/結核患者への栄養指導。
⑥その他配属先の指示する業務。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

体重計、身長測定器、BMI計算機等

4)配属先同僚及び活動対象者

サブカウンティ保健事務所長:女性30歳代
サブカウンティ保健管理チーム10名(20歳代～50歳代)の中に、栄養士1名(30代女性)も含まれる。

活動対象者は、HIV/AIDS、結核患者、小中学校の生徒及び教員、コミュニティの住人等。

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ スワヒリ語 ）
7)選考指定言語　英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)　又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許/資格（ 栄養士 ）又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：配属先の求めによる
- HIV/AIDSの基本的な知識　理由：活動で感染者への指導も含まれる
- 社会調査の経験

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ◉自転車 ○不要

現職教員特別参加制度：◉可 ○否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯気候 ）気温（ 10～30 ℃位）　電気（○安定 ◉不安定 ○なし）
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ）　水道（○安定 ◉不安定 ○なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ　長期　（　長期 JV　）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 12 日

要請番号（ JL 515 - 15 - A - 32 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
ケニア	（コード H131 ） 栄養士	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　保健省

2）配属先名（日本語）　セメ・サブカウンティ保健事務所　○ NGO

3）任地（コンベワ、キスム・カウンティ　）　JICA事務所の所在地（　ナイロビ　）
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（　バス　で約　7　時間）

4）配属先の規模・事業内容
保健事務所は地域病院に併設されている。保健事務所長のもと、看護師や公衆衛生などの担当官17名による保健管理チームからなり、管轄下にある21の保健センターや医療施設で提供される保健医療サービスやマネージメントの監督、管理、アドバイスを行なっている。年間予算は約250万円。
なお、JICA技術協力プロジェクト「ニャンザ州保健マネージメント強化プロジェクト」(2009年7月～2013年6月)のモデル地域であった。青年海外協力隊は、前任にあたる隊員(平成25年度1次隊・栄養士)のほか、コミュニティ開発隊員(平成25年度2次隊)も配属されているほか、保健師隊員も要請中。

要請概要

1）要請理由・背景
当該地域の保健指数は全国平均に比べても低く、配属先では所属する栄養士や広報官などを中心に、栄養改善を含む保健プロモーション活動に取り組んでいる。しかし、住民数に対して絶対的な栄養士の不足、食生活に対して保守的な住民性などから効率的な活動が行えていない。現状では来院する栄養失調患者のケアが業務の大半を占め、地域に対する活動が十分ではない。
前任隊員(平成25年度1次隊・栄養士)は、地域へのアプローチの一環として、特に地域の子供に対する栄養問題の課題解決を目指し、学校保健に取り組んだ。配属先内の運営チームと共に保健教育プログラムの策定を目指した活動を行なっているが、配属先側も当該活動の継続を望んでおり、後任要請に至った。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）
配属先同僚と協力して以下の活動を行なう。なお、自転車による移動となるため、配属先から半径10Km以内の地域が巡回対象地域となる。
①保健教育プログラム策定に向けた支援を行なう。
②地域内の学校を対象にした保健教育プログラム(栄養面)の実施。
③可能であれば上記に加え、地域内の栄養改善に向けた活動(状況把握、課題抽出、予防啓発活動等)にも取り組む。
④同配属先の他職種隊員(保健師、コミュニティ開発)と情報を共有し、同地域における活動に活用する。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
自転車

4）配属先同僚及び活動対象者
配属先同僚はサブカウンティ・マネージメント・チームのメンバー17名からなる。配属先長は保健事務所長は40代男性。同僚の栄養士は30代女性。前任隊員は、学校保健実態調査の結果に基づき、同地域の6校をパイロット校に選定して活動を展開している。

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ スワヒリ語 ）
7）選考指定言語
英語　(レベル: ■)
又は　(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）
・免許/資格（　栄養士　）
　又は（　）
・性別（　）理由：
・学歴（　）（　）理由：
・経験（　実務経験　）（　3年以上　）理由：現場での栄養指導に必要
・　理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性
○ 単車　◉ 自転車　○ 不要

現職教員特別参加制度
◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候（熱帯気候　）気温（　20～30 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 12 日

要請番号（ JL 515 - 15 - A - 35 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ケニア	（コード H131 ）栄養士	◉ グループ型 ○ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　保健省

2）配属先名（日本語）　ウゲニャ・サブカウンティ保健事務所　○ NGO

3）任地（ウクワラ、ウゲニャ・サブカウンティ）　JICA事務所の所在地（ナイロビ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 8 時間）

4）配属先の規模・事業内容

配属先には、保健事務所長のもと、看護や公衆衛生、保健情報などの担当官12名による保健管理チームが配置されており、管轄下27の医療施設で提供される保健医療関連サービスの監督、指導、調整に当たっている。年間予算はおよそ200万円。なお、JICA技術協力プロジェクト「ニャンザ州保健マネージメント強化プロジェクト」(2009年7月～2013年6月)のモデル地域であった。
青年海外協力隊員は、コミュニティ開発隊員(平成25年度4次隊)が同配属先にて活動中であるほか、保健師隊員(平成27年度1次隊)が赴任予定。

要請概要

1）要請理由・背景

同地域の保健指数は全国平均に比べても低く、配属先ではSub-county Nutrition OfficerやSub-county Health Promotion Officerなどを中心として、栄養改善を含む保健プロモーション活動に取り組んでいる。しかし住民数に対して絶対的な栄養士の不足、食生活に対して保守的な住民性などから効率的な活動が行えていない。
現状での栄養士の業務は、来院してくる栄養失調患者のケアが業務の大半を占めている。地域に対する活動はCommunity Health Worker(CHW)が行なっているが、知識不足により十分にその役割を果たせていない。ボランティアにはCHWに対する栄養指導など効率的な支援が期待される。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

ボランティアは保健事務所を拠点とし、以下の業務を担当する。

①事務所栄養士または、CHWと共に地域を巡回し、各地域の状況把握・調査を行う。
②事務所栄養士、CHWと共に栄養改善セミナーを実施し、地域の栄養改善を推進する。
③同配属先に派遣されている青年海外協力隊員らと情報を共有し、同地域における活動に活用する。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

単車、オフィス

4）配属先同僚及び活動対象者

保健管理チームは、保健事務所長(30代男性)をはじめとして、看護や公衆衛生、保健情報などの担当官12名からなる。活動対象者は広範にわたる。

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ スワヒリ語 ）
7）選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ 栄養士 ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：現場での栄養指導に必要
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：◉ 単車 ○ 自転車 ○ 不要（小型自動二輪免許が必要）

現職教員特別参加制度：◉ 可 ○ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯気候）　気温（ 20～30 ℃位）　電気（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）
通信（☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線）　水道（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 12 月 24 日

要請番号（ JL 609 － 15－ A － 01 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ガボン	（コード H131 ） 栄養士	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　保健・社会保障省

2）配属先名（日本語）　国立栄養センター　○ NGO

3）任地（ リーブルビル市 ）　JICA事務所の所在地（ リーブルビル市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4）配属先の規模・事業内容

1995年に設置された国内唯一の栄養に関する専門機関である。食生活に起因する疾病の削減等、国民の栄養状態の向上を目的として、栄養に関わる保健人材の育成や地域住民への栄養教育・啓発活動、国レベルでのアンケート調査や研究活動などを行っている。国からの活動資金は十分ではないが、WHO、ユニセフ等の援助機関の支援により、研修や啓発を実施。年間予算は約1千万円。

要請概要

1）要請理由・背景

ガボンの5歳未満の乳幼児死亡率は6.5%(2012年ﾕﾆｾﾌ)と依然として高く、5歳未満乳幼児の栄養不良率は16.5%(ｶﾞﾎﾞﾝ保健・人口調査2012)となっており、乳幼児の栄養改善は国の重要課題の1つとなっている。その一方で、近年栄養過剰による肥満も年々増加してきており、新たな問題となっている。(国民の肥満率18.0%(WHO2013)、5歳以下の子供7.7%(WHO2012))

保健人材等への研修等は国際援助機関との協働で実施しているが、その後のフォローアップや地域レベルでの啓発・研修等に関しては、スタッフの経験や人員不足により十分な活動ができていない。そのため同僚と一緒に活動しながら配属先のサービスの活性化・向上に貢献する人材が求められ、今回の要請となった。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

配属先同僚と協力して以下の活動を行う。
①地域住民(学校、コミュニティ)への栄養改善活動(セミナーや啓発)の計画立案及び実施支援。
②市内の保健施設(保健センター等)を巡回し、栄養管理、栄養指導状況を把握し、課題及び改善策を提言。
③地方の保健施設スタッフへのフォローアップ方法の提案。

現地の習慣や伝統食を考慮し、地元で入手可能な食材を生かした栄養指導等の工夫が望まれている。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

事務所にあるPC、プリンター、コピー機、机。

4）配属先同僚及び活動対象者

センター長(女性 50代 糖尿病専門医、栄養士) 栄養士2名 (男30代・女40代)
統計学者1名、保健師1名、乳児看護師2名 他

5）活動使用言語（ フランス語 ）
6）生活使用言語（ フランス語 ）
7）選考指定言語
英語 （ﾚﾍﾞﾙ: ■ ）
又は （ﾚﾍﾞﾙ: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ 栄養士 ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：経験に基づいた指導が必要
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ）気温（ 25～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

住居は複数の同性JICAボランティアとルームシェアをしての生活となる。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 27 年 1 月 1 日

要請番号（ JL 024 - 15 - A - 07 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ラオス	（コード H132 ） 公衆衛生	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　教育スポーツ省

2) 配属先名（日本語）　ラオス国立大学　○ NGO

3) 任地（ビエンチャン ）　JICA事務所の所在地（ ビエンチャン市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 0.7 時間）

4) 配属先の規模・事業内容

国内に5校ある国立大学の1つで、12の学部から構成される首都にある総合大学。ボランティアの配属先となる教育学部自然科学学科は生物・化学・物理・数学の4専攻で構成され、約850名の学生が同科に在籍している。教育学部の年間予算は約1,700万円。2009年から生物教育のSVが2代に渡り活動した。また、2009年から日本の大学が、環境保健教育のための教材開発に協力している。

要請概要

1) 要請理由・背景

国民が安全かつ健康で環境と調和した社会の開発を目指すラオスでは、健康教育と環境教育の必要性が有識者に認識され始めている中、これら2つの教科を教育現場で実践できる教員の能力・人材開発が大きな課題の一つとして挙げられている。ラオス国立大学教育学部ではこれに対処するため、まず初等教育(日本の小中学校に相当)の教員を養成する教員養成校でのカリキュラムの拡充を目指し、環境と保健を併せた教科としてエコヘルス教育・教科のための教材開発に着手した。エコヘルス教育は新しい教科であるため、ラオス国立大学の教員は同教科に対する知識と経験が不足しており、JICAボランティアの協力による教材開発と現地教員の能力強化が期待されている。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1.初等教育現場(日本の小中学校に相当)で実践するエコヘルス教育(環境と健康)の教材開発に協力する。
2.開発した教材による教授法の共同研究を通じた、同僚教員の能力強化を図る。
3.教員養成校でのデモ授業を通じて、教授法の普及のために協力する。

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

執務机

4) 配属先同僚及び活動対象者

①教科主任(経験30年、50代、男性、博士、数学教員)
②同僚(経験5年、30代、男性2名、学士、数学教員)
③学生
①、②がカウンターパートとなる。

5) 活動使用言語（ ラオス語 ）
6) 生活使用言語（ ラオス語 ）
7) 選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: B)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ 教員（保健体育） ）
  又は（ 教員（保健） ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ ）（ ）理由：
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 15～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　□ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 11 日

要請番号（ JL 636 － 15－ A － 05 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ルワンダ	（コード H132 ） 公衆衛生	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語） 地方自治省

2）配属先名（日本語） ンゴマ郡庁 ○ NGO

3）任地（ 東部県ンゴマ郡キブンゴ ） JICA事務所の所在地（ キガリ県ガサボ郡 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で約 2.5 時間）

4）配属先の規模・事業内容

東部県ンゴマ郡庁は、下部行政区分であるセクター14か所を管轄するタンザニア国境付近の行政機関である。教育・保健・経済開発・インフラ・財政等10の部署にわかれ、約50名の職員が勤務している。JICAは同郡において技術協力プロジェクト「イミドゥグドゥ水・衛生改善プロジェクト(2007～2011年)」、無償資金協力「地方給水計画(2010年)」を実施、給水施設の建設・水衛生の啓発活動の体制が整備された。2015年より技術協力プロジェクト「地方給水施設運営維持管理能力強化プロジェクト」が開始予定である。2015年現在JV3名(水衛生課、保健課、協同組合・ビジネス振興課)が同郡庁に勤務している。

要請概要

1）要請理由・背景

同郡では無償資金協力にて給水施設が建設され、2007年よりJICA技術協力プロジェクト「水・衛生改善計画プロジェクト」が実施された。同プロジェクトでは給水施設の維持管理能力強化と衛生に関わる啓発活動が試行され、ボランティアはこの水衛生への関心が高まっている地域において、引き続き啓発活動の実施が期待されている。ボランティアが主に関わる保健課では地域における保健活動全般を担当しており、病院・保健センターの管理、衛生啓発活動、家族計画や栄養改善案の促進を実施している。配属先、地域住民とともに継続して衛生啓発活動を推進し、「医療従事者」の立場から水・衛生環境改善への助言ができる人材が求められ、要請に至った。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

・対象地域住民の水・衛生環境の状況を調査し、その環境改善に向けた提言を行う。
・配属先スタッフ・地域の保健センタースタッフとともに、対象地域住民の水衛生に係る啓発活動を計画・実施する。
・東部県の複数の郡庁に派遣されている「水の防衛隊」ボランティアと協力し、水衛生に係る啓発活動を行う。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

オフィススペース、水質検査用機材、衛生啓発活動に関するマニュアルなど。

4）配属先同僚及び活動対象者

保健衛生課担当技官(40代、女性)
地域の保健センタースタッフ

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ その他 ）
7）選考指定言語 英語 （ﾚﾍﾞﾙ: ■ ） 又は （ﾚﾍﾞﾙ: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ ）（ ）理由：
・ 保健衛生に関する知識や経験 理由：同僚の水準に合せる
・

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可 ○ 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（サバナ気候 ） 気温（ 15～30 ℃位） 電気（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）
通信（ ☒ インターネット可 ☒ 電話可 □ 無線 ） 水道（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）

特記事項

ルワンダに派遣されている「水の防衛隊」ボランティアとの協働が期待されている。
現在活動中のボランティアは郡庁所在地(市街)に居住しているが、後任は郡内の他サイトに居住する可能性有。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 11 日

要請番号（ JL 636 - 15 - A - 06 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ルワンダ	（コード H132 ） 公衆衛生	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	28 / 1 / /	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　地方自治省

2) 配属先名（日本語）　カヨンザ郡庁　○ NGO

3) 任地（ 東部県カヨンザ郡ムカランゲ ）　JICA事務所の所在地（ キガリ県ガサボ郡 ）
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で約 2.0 時間）

4) 配属先の規模・事業内容
東部県カヨンザ郡は人口が約34万人の東部県7郡の1つであり、郡庁は教育・人材・保健等8部署で構成され、ボランティアが関わる保健課では地域の保健活動全般を担当し、病院・保健センターの管理、衛生、家族計画や栄養改善の啓発を実施している。JICAは同郡において技術協力プロジェクト「イミドゥグドゥ水・衛生改善プロジェクト(2007～2011年)」、無償資金協力「地方給水計画(2010年)」を実施、給水施設の建設・水衛生の啓発活動の体制が整備された。2015年より「地方給水施設運営維持管理能力強化プロジェクト」が開始予定。2015年現在ボランティア2名(農業課、保健課)が同郡庁に勤務している。

要請概要

1) 要請理由・背景
同郡では無償資金協力にて給水施設が建設され、2007年よりJICA技術協力プロジェクト「水・衛生改善計画プロジェクト」が実施された。同プロジェクトでは給水施設の維持管理能力強化と衛生に関わる啓発活動が試行され、ボランティアはこの水衛生への関心が高まっている地域において、引き続き啓発活動の実施が期待されている。ボランティアが主に関わる保健課では地域における保健活動全般を担当しており、病院・保健センターの管理、衛生啓発活動、家族計画や栄養改善案の促進を実施している。配属先、地域住民とともに継続して衛生啓発活動を推進し、「医療従事者」の立場から水・衛生環境改善への助言ができる人材が求められ、要請に至った。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）
・対象地域住民の水・衛生環境の状況を調査し、その環境改善に向けた提言を行う。
・配属先スタッフ・地域の保健センタースタッフとともに、対象地域住民の水衛生に係る啓発活動を計画・実施する。
・東部県の複数の郡庁に派遣されている「水の防衛隊」ボランティアと協力し、水衛生に係る啓発活動を行う。

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
オフィススペース、水質検査用機材、衛生啓発活動に関するマニュアルなど。

4) 配属先同僚及び活動対象者
保健衛生課担当技官(30代、男性)
地域の保健センタースタッフ

5) 活動使用言語（ 英語 ）
6) 生活使用言語（ その他 ）
7) 選考指定言語
英語　(レベル: ■)
又は　(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）
・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ ）（ ）理由：
・ 保健衛生に関する知識や経験　理由：同僚の水準に合せる
・

活動上の単車／自転車の必要性
○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度
◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候（サバナ気候 ）気温（ 15～30 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項
ルワンダに派遣されている「水の防衛隊」ボランティアとの協働が期待されている。
現在活動中のボランティアは郡庁所在地(市街)に居住しているが、後任は郡内の他サイトに居住する可能性有。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 11 日

要請番号（ JL 636 - 15 - A - 07 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ルワンダ	（コード H132 ） 公衆衛生	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　地方自治省

2）配属先名（日本語）　ルワマガナ郡庁　　○ NGO

3）任地（ 東部県ルワマガナ郡 ）　JICA事務所の所在地（ キガリ県ガサボ郡 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で約 1 時間）

4）配属先の規模・事業内容

東部県ルワマガナ郡は人口が約26万人の東部県7郡の1つであり、郡庁は教育・人材・保健等8部署で構成され、ボランティアが関わる保健課では地域の保健活動全般を担当し、病院・保健センターの管理、衛生、家族計画や栄養改善の啓発を実施している。JICAは同郡において技術協力プロジェクト「イミドゥグドゥ水・衛生改善プロジェクト(2007～2011年)」、無償資金協力「地方給水計画(2010年)」を実施、給水施設の建設・水衛生の啓発活動の体制が整備された。2015年より「地方給水施設運営維持管理能力強化プロジェクト」が開始予定。2015年現在ボランティア2名(水・衛生課、保健課)が同郡庁に勤務している。

要請概要

1）要請理由・背景

同郡では無償資金協力にて給水施設が建設され、2007年よりJICA技術協力プロジェクト「水・衛生改善計画プロジェクト」が実施された。同プロジェクトでは給水施設の維持管理能力強化と衛生に関わる啓発活動が試行され、ボランティアはこの水衛生への関心が高まっている地域において、引き続き啓発活動の実施が期待されている。ボランティアが主に関わる保健課では地域における保健活動全般を担当しており、病院・保健センターの管理、衛生啓発活動、家族計画や栄養改善案の促進を実施している。配属先、地域住民とともに継続して衛生啓発活動を推進し、「医療従事者」の立場から水・衛生環境改善への助言ができる人材が求められ、要請に至った。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

・対象地域住民の水・衛生環境の状況を調査し、その環境改善に向けた提言を行う。
・配属先スタッフ・地域の保健センタースタッフとともに、対象地域住民の水衛生に係る啓発活動を計画・実施する。
・東部県の複数の郡庁に派遣されている「水の防衛隊」ボランティアと協力し、水衛生に係る啓発活動を行う。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

オフィススペース、水質検査用機材、衛生啓発活動に関するマニュアルなど。

4）配属先同僚及び活動対象者

保健衛生課担当技官(30代、女性)
地域の保健センタースタッフ

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ その他 ）
7）選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ ）（ ）理由：
・ 保健衛生に関する知識や経験　理由：同僚の水準に合せる
・

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（サバナ気候 ）気温（ 15～30 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

ルワンダに派遣されている「水の防衛隊」ボランティアとの協働が期待されている。
現在活動中のボランティアは郡庁所在地(市街)に居住しているが、後任は郡内の他サイトに居住する可能性有。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 10 日

要請番号（ JL 051 - 15 - A - 03 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
バングラデシュ	（コード H133 ） 感染症・エイズ対策	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 5 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	28 / 1 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　保健・家族福祉省 予防接種拡大計画事務所

2)配属先名（日本語）　ノアカリ県保健衛生事務所　○ NGO

3)任地（ ノアカリ県ショドール郡 ）　JICA事務所の所在地（ 北ダッカ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 5 時間）

4)配属先の規模・事業内容

保健・家族福祉省保健局は、保健サービスの提供部署として予防接種拡大計画、下痢症対策など様々なプログラムを実施している。同局プライマリヘルスケア部が管轄する予防接種拡大計画事務所では、各援助機関と連携し、予防接種拡大計画(Expanded Program on Immunization:EPI)の計画立案から実施、モニタリング、評価までを行っている。1999年からJVが派遣されており、現在南東部6県で計6名のJVが活動中。他の主要ドナーはUNICEF(国連児童基金)、WHO(世界保健機関)、GAVIアライアンス等。

要請概要

1)要請理由・背景

バングラデシュではポリオを制圧するために築き上げられたシステムを活用し、10種のワクチン接種による予防可能な感染症(結核、ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ、麻疹、B型肝炎、インフルエンザb型菌感染症、風疹、肺炎球菌感染症)の予防接種事業が行われている。これら予防接種や各種保健キャンペーンにおいて、JICAボランティアはオブザーバーとしてワクチン投与率の向上やフィールドワーカーの業務改善のために村々を巡回・指導し、住民参加の推進や意識向上を目的とした啓発活動等を通して、予防接種事業の更なる強化に貢献する。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

県保健衛生事務所を拠点に県全体を活動対象としながら、各郡病院や接種所等において主に下記の活動を行う。
1.通常予防接種事業(Routine EPI)において、村落部の予防接種所や末端の保健施設、コミュニティクリニックを巡回し、フィールドワーカーへの指導・監視活動を行う。
2.各種保健キャンペーンを支援する。(接種所や戸別訪問によるモニタリング等を含む)
3.地域住民(村や学校、NGO等)に対し予防接種や学校保健、母子保健、公衆衛生に関する啓発活動を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

なし

4)配属先同僚及び活動対象者

県保健衛生事務所長 (1名)/カウンターパート
予防接種拡大計画監督官(1名)/活動協働者
郡保健家族計画官(各郡1名)
ヘルスインスペクター(各郡1-2名)
アシスタントヘルスインスペクター(各郡5名)
ヘルスアシスタント(各郡20-30名)

5)活動使用言語
（ ベンガル語 ）

6)生活使用言語
（ ベンガル語 ）

7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ ）（ ）理由：
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性

◉ 単車　○ 自転車　○ 不要
(小型自動二輪免許が必要)

現職教員特別参加制度

◉ 可　春募集時のみ適用
○ 否　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 10～40 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 10 日

要請番号（ JL 051 - 15 - A - 04 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
バングラデシュ	（コード H133 ） 感染症・エイズ対策	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 5 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　保健・家族福祉省 予防接種拡大計画事務所

2）配属先名（日本語）　チッタゴン県保健衛生事務所　○ NGO

3）任地（チッタゴン県ショドール郡 ）　JICA事務所の所在地（ 北ダッカ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 8 時間）

4）配属先の規模・事業内容

保健・家族福祉省保健局は、保健サービスの提供部署として予防接種拡大計画、下痢症対策など様々なプログラムを実施している。同局プライマリヘルスケア部が管轄する予防接種拡大計画事務所では、各援助機関と連携し、予防接種拡大計画(Expanded Program on Immunization:EPI)の計画立案から実施、モニタリング、評価までを行っている。1999年からJVが派遣されており、現在南東部6県で計6名のJVが活動中。他の主要ドナーはUNICEF(国連児童基金)、WHO(世界保健機関)、GAVIアライアンス等。

要請概要

1）要請理由・背景

バングラデシュではポリオを制圧するために築き上げられたシステムを活用し、10種のワクチン接種による予防可能な感染症(結核、ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ、麻疹、B型肝炎、インフルエンザb型菌感染症、風疹、肺炎球菌感染症)の予防接種事業が行われている。これら予防接種や各種保健キャンペーンにおいて、JICAボランティアはオブザーバーとしてワクチン投与率の向上やフィールドワーカーの業務改善のために村々を巡回・指導し、住民参加の推進や意識向上を目的とした啓発活動等を通して、予防接種事業の更なる強化に貢献する。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

県保健衛生事務所を拠点に県全体を活動対象としながら、各郡病院や接種所等において主に下記の活動を行う。
1.通常予防接種事業(Routine EPI)において、村落部の予防接種所や末端の保健施設、コミュニティクリニックを巡回し、フィールドワーカーへの指導・監視活動を行う。
2.各種保健キャンペーンを支援する。(接種所や戸別訪問によるモニタリング等を含む)
3.地域住民(村や学校、NGO等)に対し予防接種や学校保健、母子保健、公衆衛生に関する啓発活動を行う。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

なし

4）配属先同僚及び活動対象者

県保健衛生事務所長（1名)/カウンターパート
予防接種拡大計画監督官(1名)/活動協働者
郡保健家族計画官(各郡1名)
ヘルスインスペクター(各郡1-2名)
アシスタントヘルスインスペクター(各郡5名)
ヘルスアシスタント(各郡20-30名)

5）活動使用言語（ ベンガル語 ）
6）生活使用言語（ ベンガル語 ）
7）選考指定言語
英語　(ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ ）（ ）理由：
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性
◉ 単車　○ 自転車　○ 不要
（小型自動二輪免許が必要）

現職教員特別参加制度
◉ 可　春募集時のみ適用
○ 否　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 10～40 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 7 月 1 日

要請番号（ JL 051 - 15 - A - 12 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
バングラデシュ	（コード H133 ） 感染症・エイズ対策	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 / /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　保健・家族福祉省

2）配属先名（日本語）　ラルモニルハット県保健衛生事務所　○ NGO

3）任地（ ラルモニルハット県ショドール郡 ）　JICA事務所の所在地（ 北ダッカ市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 8 時間）

4）配属先の規模・事業内容

保健家族福祉省保健サービス局は、保健サービスの提供部署として予防接種拡大計画、下痢症対策など様々なプログラムを実施している(年間予算は約20億円)。同局疾病対策課が管轄するフィラリア症制圧プログラムは、WHO(世界保健機関)南東アジア地域事務所(SEARO)と連携し、2001年から流行地区で駆虫薬の一斉投与を開始、2015年までの制圧を目指す。ボランティアは2001年から、住民に対して予防接種や健康情報などを提供する県保健衛生事務所に派遣され、現在北西部6県にて計6名のJVが活動中。近年は初等教育機関における健康教育に注力し始めており、JVの活動内容もそれに合わせて変遷しつつある。

要請概要

1）要請理由・背景

リンパ系フィラリア症は死に至る病気ではないことから、保健政策の中で優先順位は高くない。一方で制圧に至る方法論は確立しており、2001年より駆虫薬一斉投与(MDA)が全感染地域34県にて開始された。その後フィラリア症予防に対する意識が高まり、新規患者の減少とともにMDAを終了する県もあるが、ラルモニハット県は最後に残る感染地の一つである。県レベルにフィラリア担当者が置かれておらず、県内で実施される様々なフィラリア症に関するプログラムではボランティアの存在が大きい。2014年より政府の方針に基づき、県内5郡で登録された7000人以上のフィラリア症患者に対し患者ケアが開始された。ボランティアには現場にてフィールドワーカーや患者に対する患者ケアなどの促進と実施マネージメントを行うことが期待されている。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

県保健衛生事務所を拠点に県全体を活動対象とし、フィラリア症対策プログラムと保健教育に関連する活動を行う。
1.リンパ性浮腫を呈するフィラリア症患者へのセルフケア指導(患部の洗浄及び衛生状態の保持)や効果的なエクササイズの指導及び患者情報に関するモニタリングを行う。
2.地域住民や小学校の子供達に対し、健康教育(フィラリア症予防やケア、公衆衛生指導など)に関する啓発活動を行う。
3.その他、県保健衛生事務所が行う業務のサポートを行う。(例えば患者サーベイのサポート、小学校における身体測定や駆虫薬配布キャンペーンのサポート、学校保健制度拡充のためのサポートなど)

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし

4）配属先同僚及び活動対象者

県保健衛生事務所長（1名/50歳代、ドクター）、郡保健家族計画官(各郡1名)、ヘルスインスペクター(各郡1-10名)、アシスタントヘルスインスペクター(各郡5名)、ヘルスアシスタント(各郡20-30名)

5）活動使用言語（ ベンガル語 ）

6）生活使用言語（ ベンガル語 ）

7）選考指定言語　英語（レベル: [redacted]）又は（レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 社会経験 ）（ 2年以上 ）理由：活動に必要不可欠
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：◉ 単車　○ 自転車　○ 不要（小型自動二輪免許が必要）

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 10～40 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号(JL 051 - 15- A - 13)			区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国 名	職 種					
バングラデシュ	(コード H133) 感染症・エイズ対策	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 保健・家族福祉省

2)配属先名 (日本語) ポンチョゴル県保健衛生事務所 ○ NGO

3)任地(ポンチョゴル県ショドール郡) JICA事務所の所在地(北ダッカ市)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 12 時間)

4)配属先の規模・事業内容
保健家族福祉省保健サービス局は、保健サービスの提供部署として予防接種拡大計画、下痢症対策など様々なプログラムを実施している(年間予算は約20億円)。同局疾病対策課が管轄するフィラリア症制圧プログラムは、WHO(世界保健機関)南東アジア地域事務所(SEARO)と連携し、2001年から流行地区で駆虫薬の一斉投与を開始、2015年までの制圧を目指す。ボランティアは2001年から、住民に対して予防接種や健康情報などを提供する県保健衛生事務所に派遣され、現在北西部6県にて計6名のJVが活動中。近年は初等教育機関における健康教育に注力し始めており、JVの活動内容もそれに合わせて変遷しつつある。

要請概要

1)要請理由・背景
NTD(顧みられない熱帯病)の一つであるリンパ系フィラリア症は、死に至る病気ではないことから、保健政策の中で優先順位は高くない。一方で制圧に至る方法論は確立しており、存在する戦略を適切に実施するための支援が求められている。同国では2001年より駆虫薬一斉投与(MDA)が全感染地域34県において実施され、2013年は4県において実施された。これまでの政策を通じて、住民のフィラリア症予防に対する意識が高まり、新規患者の減少とともに駆虫薬一斉投与は終了しつつある。現在、配属先ではフィラリア症予防啓発からフィラリア症患者ケアに活動の軸を移行しつつあり、ボランティアはコミュニティークリニック等を巡回しながら、フィールドワーカーが実施するフィラリア症患者ケアの講習会に対する支援や地域住民の保健教育や子供達に対する学校保健に関する意識向上を目的とした啓発活動の企画・立案・実行が期待されている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
県保健衛生事務所を拠点に県全体を活動対象とし、フィラリア症対策プログラムと保健教育に関連する活動を行う。
① フィラリア症&土壌伝播寄生虫症対策事務所が管轄するプログラムのサポート。
主に小学校での健康教育(リトルドクター・プログラムや土壌伝播寄生虫対策における駆虫薬一斉投与キャンペーン)
② リンパ浮腫を患っているフィラリア症患者へのグループケア活動サポート。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
特になし

4)配属先同僚及び活動対象者
県保健衛生事務所長 (1名/50歳代、ドクター)、保健教育担当者(1-2名)、ヘルスインスペクター(各郡1-2名)、アシスタントヘルスインスペクター(各郡3-5名)、診療所スタッフ(約100名)、ヘルスアシスタント(各郡20-30名)

5)活動使用言語 (ベンガル語)
6)生活使用言語 (ベンガル語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: ■) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は ( )
・性別 ( ) 理由:
・学歴 ( ) ( ) 理由:
・経験 (社会経験) (2年以上) 理由:活動に必要不可欠
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性
◉ 単車 ○ 自転車 ○ 不要
(小型自動二輪免許が必要)

現職教員特別参加制度
○ 可 ◉ 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(熱帯モンスーン気候) 気温(10~40 ℃位) 電気(○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし)
通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)

特記事項

平成 27年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期（ 長期 JV ）

記入日：平成 26 年 7 月 1 日

要請番号（ JL 051 - 15 - A - 14 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
バングラデシュ	（コード H133 ） 感染症・エイズ対策	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 / /	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　保健・家族福祉省

2) 配属先名・（日本語）　タクルガオ県保健衛生事務所　○ NGO

3) 任地（タクルガオ県ショドール郡）　JICA事務所の所在地（北ダッカ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 10 時間）

4) 配属先の規模・事業内容

保健家族福祉省保健サービス局は、保健サービスの提供部署として予防接種拡大計画、下痢症対策など様々なプログラムを実施している(年間予算は約20億円)。同局疾病対策課が管轄するフィラリア症制圧プログラムは、WHO(世界保健機関)南東アジア地域事務所(SEARO)と連携し、2001年から流行地区で駆虫薬の一斉投与を開始、2015年までの制圧を目指す。ボランティアは2001年から、住民に対して予防接種や健康情報などを提供する県保健衛生事務所に派遣され、現在北西部6県にて計6名のJVが活動中。近年は初等教育機関における健康教育に注力し始めており、JVの活動内容もそれに合わせて変遷しつつある。

要請概要

1) 要請理由・背景

NTD(顧みられない熱帯病)の一つであるリンパ系フィラリア症は、死に至る病気ではないことから、保健政策の中で優先順位は高くない。一方で制圧に至る方法論は確立しており、存在する戦略を適切に実施するための支援が求められている。同国では2001年より駆虫薬一斉投与(MDA)が全感染地域34県において実施され、2013年は4県において実施された。これまでの政策を通じて、住民のフィラリア症予防に対する意識が高まり、新規患者の減少とともに駆虫薬一斉投与は終了しつつある。現在、配属先ではフィラリア症予防啓発からフィラリア症患者ケアに活動の軸を移行しつつあり、ボランティアはコミュニティークリニック等を巡回しながら、フィールドワーカーが実施するフィラリア症患者ケアの講習会に対する支援や地域住民の保健教育や子供達に対する学校保健に関する意識向上を目的とした啓発活動の企画・立案・実行が期待されている。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

県保健衛生事務所を拠点に県全体を活動対象とし、フィラリア症対策プログラムと保健教育に関連する活動を行う。
1.リンパ性浮腫を呈するフィラリア症患者へのセルフケア指導(患部の洗浄及び衛生状態の保持)や効果的なエクササイズの指導及び患者情報に関するモニタリングを行う。
2.地域住民や小学校の子供達に対し、健康教育(フィラリア症予防やケア、公衆衛生指導など)に関する啓発活動を行う。
3.その他、県保健衛生事務所が行う業務のサポートを行う。(例えば患者サーベイのサポート、小学校における身体測定や駆虫薬配布キャンペーンのサポート、学校保健制度拡充のためのサポートなど)

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし

4) 配属先同僚及び活動対象者

県保健衛生事務所長（1名/50歳代、ドクター）、郡保健家族計画官(各郡1名)、ヘルスインスペクター(各郡1-10名)、アシスタントヘルスインスペクター(各郡5名)、ヘルスアシスタント(各郡20-30名)

5) 活動使用言語（ ベンガル語 ）

6) 生活使用言語（ ベンガル語 ）

7) 選考指定言語
英語　(ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は　(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 社会経験 ）（ 2年以上 ）理由：活動に必要不可欠
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：◉ 単車　○ 自転車　○ 不要
（小型自動二輪免許が必要）

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 10～40 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 26 年 12 月 19 日

要請番号(JL 239 - 15- A - 06)			区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国 名	職 種					
ホンジュラス	(コード H133) 感染症・エイズ対策	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 保健省

2)配属先名 (日本語) ラ・パス県保健事務所 ○ NGO

3)任地(ラ・パス県ラパス市) JICA事務所の所在地(テグシガルパ市)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 1.5 時間)

4)配属先の規模・事業内容
配属先は、県内19市の病院・保健所を監督・指導する県の保健行政機関で、感染症対策を担う保健監視課では県内の感染症に関する情報収集と分析、媒介虫の駆除、感染症予防活動の普及等を行っている。同国では、2003年から2011年にかけてJICA技術協力プロジェクト「シャーガス病対策プロジェクト(フェーズ Ⅰ・Ⅱ)」、2012年から2014年まで「シャーガス病アドバイザー派遣」が実施された。配属先には2014年9月まで感染症対策隊員が1名派遣されている。

要請概要

1)要請理由・背景
同国では、上記技術協力プロジェクトにより、シャーガス病対策の一環として住民参加型シャーガス病監視システムが導入された。ラパス市においては、2014年9月まで派遣されていた感染症対策隊員が市内及び市近郊の教育機関においてシャーガス病予防啓発活動を実施し住民参加型シャーガス病監視システムの普及を図った。同監視システムの定着には、住民への媒介虫とシャーガス病に関する正しい知識の普及が重要であり、住民教育を更に強化していくためにボランティアが要請された。ラパス市はデング熱の流行地でもあり、また消化器感染症の罹患率も高いため、ボランティアには、シャーガス病以外にも任地のニーズに合わせた感染症予防啓発活動への支援が求められている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
配属先関係者と協力しながら、以下の活動を行う。
1. ラパス市内及び市近郊の小・中学校において、シャーガス病、デング熱をはじめとする感染症予防のための保健衛生教育を実施する。
2. ラパス市保健所において、特に母子を対象にした感染症予防のための啓発活動を行う。
3. ラパス市内において住民を対象にした感染症予防啓発イベントを企画し、実施する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
特になし

4)配属先同僚及び活動対象者
配属先同僚:
保健監視課:環境保健技官4名(女性1、男性3、20～40代)
ネットワーク課:看護師2名、プロモーター6名
活動対象者:市内小学校8校・中高等学校1校、市近郊小学校2校・中高等学校2校
カウンターパートはネットワーク課看護師(女性、プロモーション活動コーディネーター)

5)活動使用言語 (スペイン語)
6)生活使用言語 (スペイン語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: [redacted]) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
- 免許/資格( )
  又は ( )
- 性別( )理由:
- 学歴(専門学校卒)( )理由:同僚のレベルと合わせるため
- 経験( )( )理由:
- 理由:
-

活動上の単車/自転車の必要性: ○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度: ○ 可 ◉ 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候(温暖湿潤気候) 気温(15～35 ℃位) 電気(○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし)
通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし)

特記事項

平成 27年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 12 月 5 日

要請番号（ JL 512 - 15 - A - 09 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ガーナ	（コード H133 ） 感染症・エイズ対策	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 3 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	28 / 1 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　保健省

2)配属先名（日本語）　ガーナ保健サービス ビリム・セントラル市保健局　○ NGO

3)任地（ イースタン州ビリムセントラル市アキムオダ ）　JICA事務所の所在地（ アクラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 3.0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

ガーナ保健サービス(GHS: Ghana Health Service)は保健省が直轄する保健政策の実施機関であり、配属先はその下部組織のひとつとして、ビリム・セントラル市全体の保健・医療にかかる様々な事業の運営と管理を行っている。JICAは、2005～2009年にイースタン州を対象地域のひとつとして、技術協力プロジェクト「マスメディアを通じたエイズ教育プロジェクト」を展開した。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先では地域全体の保健・衛生の改善に向けてマラリア、腸管感染症、麻疹、破傷風、HIV/エイズ、結核などの感染症予防に対する取組みに力を入れている。
現在活動中の2代目JV(2014年7月～2016年6月)は、各種感染症に対してより効果的な予防啓発活動を提案・実施するため、配属先が管轄する地域における症例の現状調査や様々な保健データの管理・活用の活性化を図る活動を展開しており、継続的な支援が求められて本要請に至った。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

配属先の情報管理担当者や地域保健スタッフ等と協力して以下の活動を行う。
①市内各地域に設置されている一次保健医療サービス(PHC: Primary Health Care)を提供する施設を巡回拠点として、各種感染症の症例調査や分析、分析データを活用した予防啓発活動の提案や支援を行う。
② ①の調査結果や配属先で取りまとめられる市全体の保健データの管理・活用の更なる活性化を図る支援を行う。
※保健データ管理は全国共通のシステムを用いるため、データベース構築等の高度な経験や知識は必要ない。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

配属先事務所にある事務機器、PHC提供施設にある体重計や血圧計等基本的な医療機材、協力隊員携行機材(2013年1月購入: データ管理専用デスクトップパソコンおよびカラープリンター)

4)配属先同僚及び活動対象者

【局長】1名 女性(2013年1月～3月に日本でのJICA研修参加)
【副局長】1名 女性【情報管理担当者】1名 男性
【疾病対策担当者】2名【その他配属先スタッフ】18名
【地域保健スタッフ】各PHC提供施設に1～2名程度配置(看護師、助産師、助手)

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ 英語 ）
7)選考指定言語　英語（レベル: B ）又は（レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許/資格（ ）又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：業務遂行上必要
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：◉ 単車　○ 自転車　○ 不要（小型自動二輪免許が必要）

現職教員特別参加制度：◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 25～35 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 12 月 5 日

要請番号（ JL 512 - 15 - A - 10 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ガーナ	（コード H133 ） 感染症・エイズ対策	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 3 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	28 / 1 / /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語） 保健省

2）配属先名（日本語） ガーナ保健サービス サウス・ダイ郡保健局 ○ NGO

3）任地（ボルタ州サウス・ダイ郡ペペ ） JICA事務所の所在地（ アクラ ）
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 3.0 時間）

4）配属先の規模・事業内容
ガーナ保健サービス(GHS: Ghana Health Service)は保健省が直轄する保健政策の実施機関であり、配属先はその下部組織のひとつとして、サウス・ダイ郡全体の保健・医療にかかる様々な事業の運営と管理を行っている。JICAは、住民の健康促進や母子保健にかかる取組みを通じた地域保健サービスの向上を目的に、ボルタ州の他郡でも保健関連のJV派遣による支援を展開しており、その相乗効果への期待も大きい。

要請概要

1）要請理由・背景
配属先では管轄地域全体の保健・衛生にかかる実態およびデータ数値双方の改善に向けて、各種感染症(マラリア、腸管感染症、麻疹、破傷風、HIV/AIDS、結核など)の予防、母子保健サービス、健康教育等に対する取組みに力を入れている。現在活動中の2代目JV(2014年7月～2016年6月)は、配属先管轄下の一次保健医療サービス(PHC: Primary Health Care)を提供する施設の巡回や当該地域で実施される乳幼児健診等を支援しながら、広く住民の健康と衛生に対する意識改善に向けた調査活動を展開しており、その継続と保健データの管理・活用にかかる支援が求められて本要請に至った。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）
配属先の疾病対策や情報管理担当者をはじめ、地域保健スタッフ等と協力して以下の活動を行う。
①郡内各地域に設置されているPHCを提供する施設を巡回し、それぞれの地域で実施される保健サービス(妊産婦・乳幼児健診、家族計画、保健・衛生教育等)を支援するとともに、その質の向上につながるアイディア提供や取組みを行う。
②巡回先施設をはじめ配属先で取りまとめられる郡全体の保健データの管理・活用の活性化を図る支援を行う。
※保健データ管理は全国共通のシステムを用いるため、データベース構築等の高度な経験や知識は必要ない。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
配属先事務所にある事務機器、PHC提供施設にある体重計や血圧計等基本的な医療機材

4）配属先同僚及び活動対象者
【局長】1名 女性【保健師】1名 女性【疾病対策担当者】1名 男性
【情報管理担当者】1名 男性【その他配属先スタッフ】3名
【地域保健スタッフ】各PHC提供施設に3～4名程度配置(看護師、助産師、助手)

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ 英語 ）
7）選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: B)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）
- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ 修士 ）（ 保健医療 ）理由：業務関連知識が必要
- 経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：業務遂行上必要
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性
◉ 単車 ○ 自転車 ○ 不要
（小型自動二輪免許が必要）

現職教員特別参加制度
◉ 可 春募集時のみ適用
○ 否 SVは通年対象外

地域概況
気候（熱帯モンスーン気候 ） 気温（ 25～35 ℃位） 電気（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）
通信（ ☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線 ） 水道（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 27 年 1 月 7 日

要請番号（ JL 524 - 15 - A - 06 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
マラウイ	（コード H133 ） 感染症・エイズ対策	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 5 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	28 / 1 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　男女平等・児童・障害者・社会福祉省

2)配属先名（日本語）　ムジンバ県社会福祉事務所　○ NGO

3)任地（ムジンバ県エンバングエニ ）　JICA事務所の所在地（ リロングウェ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 6 時間）

4)配属先の規模・事業内容

配属先は県南部地域において児童、障害者等の社会的弱者支援を所轄しており、地域におけるエイズ対策活動の主体となるCBO(Community Based Organization:住民ボランティア組織)の登録や運営上の監督・指導も行っている。一般に当国の行政機関では末端人材が不足しがちであるが、当配属先ではUNICEFの支援によりスタッフが地域レベルまで配置されており、これまでもJICAボランティアを含む内外ドナーと地域、自治体政府を結ぶ橋渡し役として機能してきた。現在、エイズ対策グループ型派遣として、同県内で6名の隊員が活動中。

要請概要

1)要請理由・背景

ムジンバは全国で最も面積が広い県である。広大な地域に人口が散在しているため交通・情報通信に困難があり、行政によるサービスを末端まで浸透させることが難しい。また他の地域と比較して内外援助機関による支援も手薄である。そのため、既存のCBOの運営能力を強化し、住民自らが主体的にHIV/AIDSの予防啓発、陽性者に対するサポート等を行えるようになることを目的とし、グループ型派遣が2007年に開始された。現在は県南部の村落5地域でエイズ対策隊員が活動中である。エンバングエニ地区では約15のCBOがネットワークを形成し、月例ミーティングでの意見交換を行いCBO活動の改善と活性化に努めている。
県内には薬剤師、公衆衛生(グループ型)、コミュニティ開発などのJICAボランティアも派遣されており、連携が期待される。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

比較的大規模な集落であるエンバングエニに生活拠点を置き、配属先のフィールドスタッフ、CBOのメンバーと共に以下の活動を行う。また、グループ型派遣の一員として近隣地域のボランティアと連携して活動し、相乗効果を発揮させる。
・地域住民や学校生徒を対象に、HIV/AIDS対策活動(予防啓発、性教育、陽性者ケア等)の活性化を図る。
・CBOと地域の行政担当官やヘルスセンター、学校、NGO等との連携を強化する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし

4)配属先同僚及び活動対象者

県事務所での同僚は県社会福祉官(大卒・40代女性)、同アシスタント(大卒・20代男性)等数名。
村落部の住民は大多数が農民であり、中卒程度で英語もあまり話せない場合が多い。
CBOの中心メンバーは高卒程度の人が多く、英語での意思疎通が十分可能。
カウンターパート CBOメンバー(40代、男性、高卒)

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ その他 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: B)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ ）（ ）理由：
・ 理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性
◉ 単車　○ 自転車　○ 不要
(小型自動二輪免許が必要)

現職教員特別参加制度
◉ 可　春募集時のみ適用
○ 否　SVは通年対象外

地域概況

気候（温暖冬季少雨気候 ）気温（ 10～30 ℃位）
通信（☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）
電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 27 年 1 月 7 日

要請番号（ JL 524 - 15 - A - 07 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
マラウイ	（コード H133 ） 感染症・エイズ対策	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 5 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	28 / 1 / /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　男女平等・児童・障害者・社会福祉省

2）配属先名（日本語）　ムジンバ県社会福祉事務所　○ NGO

3）任地（ ムジンバ県ルウェレジ ）　JICA事務所の所在地（ リロングウェ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 5 時間）

4）配属先の規模・事業内容

配属先は県南部地域において児童、障害者等の社会的弱者支援を所轄しており、地域におけるエイズ対策活動の主体となるCBO(Community Based Organization:住民ボランティア組織)の登録や運営上の監督・指導も行っている。一般に当国の行政機関では末端人材が不足しがちであるが、当配属先ではUNICEFの支援によりスタッフが地域レベルまで配置されており、これまでもJICAボランティアを含む内外ドナーと地域、自治体政府を結ぶ橋渡し役として機能してきた。現在、エイズ対策グループ型派遣として、同県内で6名の隊員が活動中。

要請概要

1）要請理由・背景

ムジンバは全国でも最も面積が広い県である。広大な地域に人口が散在しているため交通・情報通信に困難があり、行政によるサービスを末端まで浸透させることが難しい。また他の地域と比較して内外援助機関による支援も手薄である。そのため、既存のCBOの運営能力を強化し、住民自らが主体的にHIV/AIDSの予防啓発、陽性者に対するサポート等を行えるようになることを目的とし、グループ型派遣が2007年に開始された。現在は県南部の村落5地域でエイズ対策隊員が活動中である。ルウェレジ地区では約25のCBOがネットワークを形成し、月例ミーティングでの意見交換を行いCBO活動の改善と活性化に努めている。
県内には薬剤師、公衆衛生(グループ型)、コミュニティ開発などのJICAボランティアも派遣されており、連携が期待される。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

村落部のルウェレジ集落に生活拠点を置き、配属先のフィールドスタッフ、CBOのメンバーと共に以下の活動を行う。また、グループ型派遣の一員として近隣地域のボランティアと連携して活動し、相乗効果を発揮させる。
・地域住民や学校生徒を対象に、HIV/AIDS対策活動(予防啓発、性教育、陽性者ケア等)の活性化を図る。
・CBOと地域の行政担当官やヘルスセンター、学校、NGO等との連携を強化する。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし

4）配属先同僚及び活動対象者

県事務所での同僚は県社会福祉官(大卒・40代女性)、同アシスタント(大卒・20代男性)等数名。
村落部の住民は大多数が農民であり、中卒程度で英語もあまり話せない場合が多い。
CBOの中心メンバーは高卒程度の人が多く、英語での意思疎通が十分可能。
カウンターパート CBOメンバー(40代、男性、高卒)

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ その他 ）
7）選考指定言語
英語　(ﾚﾍﾞﾙ: B)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:　)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（　）
　又は（　）
・性別（ 男性 ）理由：治安上の理由
・学歴（　）（　）理由：
・経験（　）（　）理由：
・　理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性
◉ 単車　○ 自転車　○ 不要
（小型自動二輪免許が必要）

現職教員特別参加制度
◉ 可　春募集時のみ適用
○ 否　SVは通年対象外

地域概況

気候（温暖冬季少雨気候　）気温（　10～30 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 12 月 24 日

要請番号（ JL 609 - 15 - A - 03 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ガボン	（コード H133 ） 感染症・エイズ対策	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 3 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語） 保健・社会保障省

2）配属先名（日本語） フランスビル外来診療センター ○ NGO

3）任地（オート・オグエ州フランスビル市 ） JICA事務所の所在地（ リーブルビル市 ）
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 鉄道 で約 18 時間）

4）配属先の規模・事業内容
フランス赤十字等の援助により2004年4月に設立されたHIV専門の医療機関。主な活動内容は自発的なHIV抗体検査およびカウンセリング、治療薬の提供、患者に対する栄養指導、在宅支援などである。予防啓発について2009年10月に保健省とエイズ対策省が再編され1つになったことを受け、予防対策に係る業務にも関与するようになった。配属先年間予算は約600万円。

要請概要

1）要請理由・背景
ガボンのHIV感染率は4.1%(2012年ガボン政府)で若干減少傾向にあるが、HIVの予防対策は重要課題となっている。当国の現状および状況を考慮し、HIV患者のケアにおける業務改善及び地域住民に対する効果的な予防啓発を推進するためにボランティアの要請があげられた。特に、ガボンにおいては6ヶ月以上通院していない患者の割合が約50%と他国に比べて高く、継続的な治療がなされておらず、その改善が望まれている。前任者は、主に配属先での業務改善の他、センター内での啓発活動を行った。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）
センター長(カウンターパート)を中心に配属先同僚と協力し、主に以下の活動を実施する。
①継続した治療が難しい患者に対する啓発資料の作成、カウンセリングの強化などHIV陽性者へのケア向上の支援。
②HIV陽性者やその家族へのフォローアップのため、家庭訪問の企画・実施支援。
③エイズ対策関連団体と連携し、地域住民に対するHIV/エイズ予防啓発活動の企画・実施。
④配属先機能強化のため、業務に関する情報収集や運営面での支援。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
ノートパソコン、デスクトップパソコン、マイクロソフト・オフィス(エクセルおよびワード)、啓発用ビデオプロジェクター

4）配属先同僚及び活動対象者
医師(センター長女性40歳代、他1名)、看護師(6名)、検査技師(2名)、ソーシャルワーカー(1名)、臨床心理士(1名)、ガボン赤十字ボランティア(1名) 他

5）活動使用言語
（ フランス語 ）
6）生活使用言語
（ フランス語 ）
7）選考指定言語
英語 （ﾚﾍﾞﾙ: [redacted]）
又は
（ﾚﾍﾞﾙ: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）
- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ ）（ ）理由：
- HIVに関する基礎的な知識 理由：活動上必須
-

活動上の単車／自転車の必要性
○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度
◉ 可 春募集時のみ適用
○ 否 SVは通年対象外

地域概況
気候（熟帯雨林気候 ） 気温（ 25～35 ℃位） 電気（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）
通信（ ☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線 ） 水道（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

特記事項
住居は複数の同性JICAボランティアとルームシェアをしての生活となる。

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 3 日

要請番号（ JL 006 - 15 - A - 13 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
インドネシア	（コード H135 ） 学校保健	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語） 内務省

2）配属先名（日本語） 南スラウェシ州政府学校保健チーム ○ NGO

3）任地（ 南スラウェシ州マカッサル市 ） JICA事務所の所在地（ ジャカルタ首都特別州 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 2.5 時間）

4）配属先の規模・事業内容

南スラウェシ州は3つの市と21の県からなり、州人口は約800万人。州政府は2000年の地方分権化により、州下の市と県に対し、中央政府の政策の監督をしている。州政府は、学校保健の促進を図るため、保健局、教育局、宗教局から成る学校保健チームを立ち上げており、保健師JVが現在、同じ配属先で学校保健活動を行っている。

要請概要

1）要請理由・背景

インドネシアでは保健省の指導の下、就学前の5歳以下の幼児に対して体重測定や予防接種等を実施し保健衛生の改善が図られてきた。また小学校就学後は、生徒から保健委員（「小さなお医者さん」と呼ばれている）を選出し、体育の教諭を保健室の担当として、学校保健の改善を図ってきた。しかしながら、日本の養護教諭と同様の役割を果たす教諭がおらず、学校保健室も十分に活用されていないことから、学校は児童生徒の健康管理について十分把握するにいたっておらず、児童生徒は下痢や寄生虫疾患、虫歯等の保健衛生上の課題を多く抱えている。このため、南スラウェシ州政府では、養護教諭制度のある日本と学校保健に関する経験・知見を共有することを望み、JVの派遣を要請することとなった。JVの配属先は州政府学校保健チームとなり、同チームと調整しつつ活動を行うが、普段は州保健局で勤務することとなる。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

同僚と協力して以下のような活動を行う。
- モデル校における学校保健の実態調査と分析。
- 教諭を対象とした学校保健に関する研修（学校保健マネージメント、父母への啓発方法等）。
- 学校の衛生環境整備に関する助言。
- 児童にわかりやすいマテリアル（教材）の開発。
- 「保健ポスター・コンテスト」等、学校保健促進のためのイベントの立案。
- 学校保健委員活動支援のためのワークショップ開催。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

PC、印刷機等。

4）配属先同僚及び活動対象者

同僚：州保健局職員（30代、女性）
活動対象者：小学生・中学生

5）活動使用言語（ インドネシア語 ）

6）生活使用言語（ インドネシア語 ）

7）選考指定言語

英語 （レベル：[redacted]）
又は （レベル： ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ 保健師 ）
  又は（ 養護教諭 ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ 大卒 ）（ ）理由：先方政府の意向。
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：経験に基づいた指導が必要。
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性

○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度

○ 可 春募集時のみ適用
◉ 否 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ） 気温（ 25～35 ℃位） 電気（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）

通信（ ☒ インターネット可 ☒ 電話可 □ 無線 ） 水道（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）

特記事項

インドネシア側における査証手続きの問題により、他の国の同じ隊次より赴任時期が遅れる。

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 2 月 13 日

要請番号(JL 136 - 15 - A - 09)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
バヌアツ	(コード H135) 学校保健	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 教育省

2)配属先名(日本語) 教育事業局 ○NGO

3)任地(シェファ州エファテ島ポートビラ市) JICA事務所の所在地(ポートビラ市)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4)配属先の規模・事業内容
教育省教育事業局は、バヌアツ国の教育政策の立案、施策の実施を担う部署である。バヌアツ教育ロードマップ(VERM)を軸に、教育省下の州教育事務所、各種教育機関の監督、各国開発パートナーとの調整、計画の作成を行う。現在、豪州・ニュージーランドが支援するバヌアツ教育セクタープログラム(VESP)で組織改革が進行中である。同配属先には長年にわたり、学校現場で活動するJICAボランティアと教育省の連携を促進するプログラムオフィサー職種のボランティアが派遣されてきた。現在も「行政サービス」職種ボランティアが活動中である。

要請概要

1)要請理由・背景
教育省が目指す、「教育の質の向上」の一つに、学校における安全・衛生環境の向上、保健教育の推進がうたわれている。教育省・保健省が学校保健の推進を目指し、健康推進学校プログラム(Health Promoting School Program)を掲げているが、両省共に、人員不足から専任の担当官を置くことはできず、多くは断片的であり、継続的な活動を行うことが出来ずにいる。前任者である初代隊員は、小学校を中心とした学校の安全・衛生環境および保健教育の現状の把握に努めている。しかし、バヌアツにおいて学校保健への取り組みは始まったばかりであり、前任者の活動を継続して、健康推進学校プログラムを担当し、学校保健を推進できる人材が求められ本要請となった。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
健康推進学校プログラム(Health Promoting School Program)の推進、実施に必要な以下の活動を行う。
・上記プログラムの実施に必要な、調査、ネットワーク作り。
・バヌアツの中心であるシェファ州教育事務所や学校、教員への学校保健に関する働きかけ、啓発、知識の普及。
・可能であれば他州への普及も行う。
・学校における、健康診断の実施、児童の健康カルテの整備、保健教育の実施を目指し、実現可能な学校保健プログラムのモデルづくりを行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
オフィススペース、PC、プリンター、プロジェクター、コピー機、会議室など

4)配属先同僚及び活動対象者
教育省内(基礎教育課、男性6人、女性7人、20-50歳代)、
各州教育事務所長、ZCA(地区教育アドバイザー)、学校関係者、教員、他ドナーなど関係者
保健省: 州保健事務所健康促進課、ヘルスセンタースタッフなど

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (その他)
7)選考指定言語 英語 (ﾚﾍﾞﾙ: B) 又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は (養護教諭又は保健師)
・性別( )理由:
・学歴(大卒)( )理由:同僚とのバランス
・経験(実務経験)(3年以上)理由:業務上必要なため
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
◉可 ○否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(熱帯海洋性気候) 気温(20~30 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ

長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 26 年 12 月 2 日

要請番号(JL 512 - 15 - A - 01)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
ガーナ	(コード H135) 学校保健	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 教育省

2)配属先名 (日本語) ガーナ教育サービス ゴモア・イースト郡事務所 ○NGO

3)任地(セントラル州ゴモアイースト郡ゴモアアフランシ) JICA事務所の所在地(アクラ)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 2.0 時間)

4)配属先の規模・事業内容
ガーナ教育サービス(GES)は教育省傘下の政策実施機関であり、配属先はその下部組織のひとつとして、ゴモア・イースト郡全域の学校教育の統括、現職教員の研修など教育に係る様々な事業を担っている。配属先の同僚スタッフにはJICAが日本で実施した研修の参加経験者もおり、日本に対する理解が深い。

要請概要

1)要請理由・背景
ガーナでは、国連児童基金(UNICEF)の支援により1992年頃からSHEP(School Health Education Program/学校保健)に取組んでおり、その機能向上を目的に担当者が参加した学校保健に係る日本でのJICA研修を受け、2010年4月、配属先管轄下のザイオン小学校に全国で2か所目となる保健室が設置された。学校保健室の概念がなかった同国において、保健室環境整備、運営・管理、生徒や関係者に対する理解促進などの支援とともに、地域の保健教育の活性化に向けて、現在派遣中のJV(2014年7月～2016年3月)が活動中である。さらに同地域の児童健康診断調査を行い、学校および配属先に健康改善に向けた提案をすべく活動を行っており、これらの継続的な支援が求められている。なお、同保健室では隣接する幼稚園園児及び中学校生徒に対するケアも併せて行っている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
配属先のSHEP担当者や保健室設置校の担当教員等と協力し、以下の活動を行う。
①児童が利用しやすい保健室としてその機能や環境を整備し、児童の保健指導、応急処置、利用状況の蓄積など学校保健室の運営、管理に係る支援を行う。
②配属先管轄下の小・中学校を巡回し、児童の健康についての調査・分析を行い、学校および配属先に健康改善に向けた提案を行う。また、授業で実施されている健康・衛生教育や生徒が組織する保健委員会活動に対して支援を行う。
③配属先が実施するSHEP担当教員向けの研修などを通じて、学校保健の授業・活動に対する助言や提案を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
保健室用の簡易ベッド、体重計、体温計、パソコン、プリンター、TV、DVDプレイヤー、保健教材など

4)配属先同僚及び活動対象者
*配属先教育事務所【所長】1名(男性)、【SHEPコーディネーター】1名(女性、30代)
【その他スタッフ】50名程度(男女)
*保健室設置校関係者【校長】1名(男性)、【SHEP担当教員】1名(女性)【保健室事務担当者】1名(女性)

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (その他)
7)選考指定言語 英語 (レベル: ■) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は( )
・性別( )理由:
・学歴( )( )理由:
・経験(実務経験)(3年以上)理由:実務を通じた知識と経験が必要
・ 養護教諭免許または保健師免許 理由:活動に必須
・

活動上の単車/自転車の必要性
◉単車 ○自転車 ○不要
(小型自動二輪免許が必要)

現職教員特別参加制度
◉可 ○否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(熱帯モンスーン気候) 気温(25～35 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（　長期 JV　）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 12 月 2 日

要請番号（ JL 512 - 15 - A - 02 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
ガーナ	（コード H135 ） 学校保健	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 4 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	28 / 1 / /	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　教育省

2) 配属先名（日本語）　ガーナ教育サービス アダ・イースト郡事務所　○ NGO

3) 任地（ グレーターアクラ州アダイースト郡アダフォア ）　JICA事務所の所在地（ アクラ ）
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 2.0 時間）

4) 配属先の規模・事業内容
ガーナ教育サービス(GES)は教育省傘下の政策実施機関であり、配属先はその下部組織のひとつとして、アダ・イースト郡全域の学校教育の統括、現職教員の研修など教育に係る様々な事業を担っている。配属先の同僚スタッフにはJICAが日本で実施した研修の参加経験者もおり、日本に対する理解が深い。また、JICAは2004～2008年に同郡を対象地域のひとつとして、技術協力プロジェクト「国際寄生虫対策西アフリカプロジェクト」を展開した。

要請概要

1) 要請理由・背景
ガーナでは、国連児童基金(UNICEF)の支援により1992年頃からSHEP(School Health Education Program/学校保健)に取組んでおり、その機能向上を目的に担当者が参加したJICAの本邦研修の成果を受け、2009年4月、配属先管轄下のプテ小学校に全国で初めて保健室が設置された。学校保健室の概念がなかった同国において、保健室環境整備、運営・管理、児童や関係者に対する理解促進などの継続的な支援とともに、地域の保健教育の活性化が求められており、現在派遣中の2代目JV(2014年7月～2016年6月)が活動中。前任者たちの働きかけにより、いくつかの学校が保健室機能を取り入れる等成果が出ているが、地域全体での理解は未だ不十分であるため、本要請に至った。
なお、同保健室は地域の保健施設に隣接しているため、保健室の明確な区分と機能強化が求められている。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）
配属先のSHEP担当者や保健室設置校の担当教員等と協力し、以下の活動を行う。
①児童が利用しやすい保健室としてその機能や環境を整備し、児童の保健指導、応急処置、利用状況の蓄積など学校保健室の運営、管理に係る支援を行う。
②配属先管轄下の小・中学校を巡回し、前任者の実施した児童の健康についての調査・分析結果をもとに、学校および配属先に健康改善に向けた提案を行う。また、授業で実施されている健康・衛生教育や生徒が組織する保健委員会活動に対して支援を行う。
③配属先が実施するSHEP担当教員向けの研修などを通じて、学校保健の授業・活動に対する助言や提案を行う。

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
保健室用の簡易ベッド、体重計、体温計、保健教材など

4) 配属先同僚及び活動対象者
*配属先教育事務所【所長】1名(男性)、【SHEPコーディネーター】1名(女性、30代)
【その他スタッフ】40名程度(男女)
*保健室設置校関係者【校長】1名(男性)、【SHEP担当教員】2名（男女）
*保健室に隣接する保健医療施設【看護師】2名(男性)

5) 活動使用言語（ 英語 ）
6) 生活使用言語（ その他 ）
7) 選考指定言語
英語　(レベル: ■)
又は　(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）
・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：実務を通じた知識と経験が必要
・ 養護教諭免許または保健師免許　理由：活動に必須
・

活動上の単車／自転車の必要性
◉ 単車　○ 自転車　○ 不要
（小型自動二輪免許が必要）

現職教員特別参加制度
◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用
SVは通年対象外

地域概況
気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 25～35 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 12 月 2 日

要請番号（ JL 512 - 15 - A - 03 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期	
国名	職種				JOCV/SV	日系/短期
ガーナ	（コード H135 ） 学校保健	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　教育省

2）配属先名（日本語）　ガーナ教育サービス ポン・カタマンソ郡事務所　○ NGO

3）任地（ グレーターアクラ州ポンカタマンソ郡オイビ ）　JICA事務所の所在地（ アクラ ）
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 0.8 時間）

4）配属先の規模・事業内容
ガーナ教育サービス(GES:Ghana Education Service)は教育省傘下の政策実施機関であり、配属先はその下部組織のひとつとして、ポン・カタマンソ郡全域の学校教育の統括、現職教員の研修など教育に係る様々な事業を担っている。配属先ダイレクターは日本でJICAが実施した研修参加経験者であり、日本に対する理解が深い。

要請概要

1）要請理由・背景
ガーナでは、国連児童基金(UNICEF)の支援により1992年頃からSHEP(School Health Education Program/学校保健)に取組んでおり、その機能向上を目的に担当者が参加した学校保健にかかる日本でのJICA研修を受け、2010年4月、配属先管轄下のオイビ中学校に全国で3か所目となる保健室が設置された。これまで学校保健室の概念がなかった同国において、保健室環境整備、運営・管理、生徒や関係者に対する理解促進などの支援とともに、地域の保健教育の活性化に向けて、現在派遣中の前任者にあたるJV(2014年7月～2015年3月)が活動中であり、継続的な支援が求められている。なお、同保健室では隣接する小学校の児童に対するケアも併せて行っている。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）
配属先のSHEP担当者や保健室設置校の担当教員等と協力し、以下の活動を行う。
①児童が利用しやすい保健室としてその機能や環境を整備し、児童の保健指導、応急処置、利用状況の蓄積など学校保健室の運営、管理に係る支援を行う。
②配属先管轄下の小・中学校を巡回し、児童の健康についての調査・分析を行い、学校および配属先に健康改善に向けた提案を行う。また、授業で実施されている健康・衛生教育や生徒が組織する保健委員会活動に対して支援を行う。
③配属先が実施するSHEP担当教員向けの研修などを通じて、学校保健の授業・活動に対する助言や提案を行う。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
保健室用の簡易ベッド、体重計、体温計、保健教材など

4）配属先同僚及び活動対象者
配属先教育事務所【所長】1名(女性)、【SHEPコーディネーター】1名(女性、30代)
【その他スタッフ】40名程度(男女)

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ その他 ）
7）選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）
- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：実務を通じた知識と経験が必要
- 養護教諭免許または保健師免許　理由：活動に必須
-

活動上の単車／自転車の必要性
◉ 単車　○ 自転車　○ 不要
（小型自動二輪免許が必要）

現職教員特別参加制度
◉ 可　春募集時のみ適用
○ 否　SVは通年対象外

地域概況
気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 25～35 ℃位）　電気（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）
通信（ ☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線 ）　水道（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 27年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 26 年 12 月 2 日

要請番号（ JL 512 - 15 - A - 04 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ガーナ	（コード H135 ） 学校保健	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　教育省

2) 配属先名（日本語）　ガーナ教育サービス ゴモア・ウエスト郡事務所　○ NGO

3) 任地（ セントラル州ゴモア・ウエスト郡アパム ）　JICA事務所の所在地（ アクラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 1.5 時間）

4) 配属先の規模・事業内容

ガーナ教育サービス(GES:Ghana Education Service)は教育省傘下の政策実施機関であり、配属先はその下部組織のひとつとして、ゴモア・ウエスト郡全域の学校教育の統括、現職教員の研修など教育に係る様々な事業を担っている。配属先の同僚スタッフにはJICAが日本で実施した研修の参加経験者もおり、日本に対する理解が深い。

要請概要

1) 要請理由・背景

ガーナでは、国連児童基金(UNICEF)の支援により1992年頃からSHEP(School Health Education Program/学校保健)に取組んでおり、その機能向上を目的に担当者が参加した学校保健にかかる日本でのJICA研修を受け、全国で4か所に保健室が設置された。現在、3か所の保健室で各JV(2014年7月～2016年)が活動中である。上述の研修参加者であるSHEP担当者と協力し、学校関係者に学校保健における理解促進を図るべく、同州にあるモデル学校保健室の機能等を紹介すると共に、地域の保健教育の活性化に向けた活動が求められ、本要請に至った。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

配属先のSHEP担当者や配属先管轄下の小中学校の保健担当教員およびPTA等と協力し、以下の活動を行う。
①配属先管轄下の小・中学校を巡回し、同州にあるモデル保健室の機能や環境について紹介する(児童の保健指導、応急処置等)。
②配属先管轄下の小・中学校を巡回し、児童の健康についての調査・分析を行い、学校および配属先に健康改善に向けた提案を行う。また、授業で実施されている健康・衛生教育や生徒が組織する保健委員会活動に対して支援を行う。
③配属先が実施するSHEP担当教員向けの研修などを通じて、学校保健の授業・活動に対する助言や提案を行う。

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

黒板、チョーク、保健教材など

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先教育事務所【所長】1名(男性)、【SHEPコーディネーター】1名(女性、30代)
【その他スタッフ】40名程度(男女)

5) 活動使用言語（ 英語 ）

6) 生活使用言語（ その他 ）

7) 選考指定言語　英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)　又は　(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：実務を通じた知識と経験が必要
- 養護教諭免許または保健師免許　理由：活動に必須
-

活動上の単車／自転車の必要性

◉ 単車　○ 自転車　○ 不要
（小型自動二輪免許が必要）

現職教員特別参加制度

◉ 可　春募集時のみ適用
○ 否　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 25～35 ℃位）　電気（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）
通信（ ☒ インターネット可 ☒ 電話可 □ 無線 ）　水道（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 26 年 12 月 2 日

要請番号(JL 512 - 15 - A - 05)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ガーナ	(コード H135) 学校保健	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名
(日本語) 教育省

2)配属先名
(日本語) ガーナ教育サービス アゴナ・ウエスト市事務所 ○NGO

3)任地(セントラル州アゴナ・ウエスト市) JICA事務所の所在地(アクラ)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 2.0 時間)

4)配属先の規模・事業内容
ガーナ教育サービス(GES:Ghana Education Service)は教育省傘下の政策実施機関であり、配属先はその下部組織のひとつとして、アゴナ・ウエスト市全域の学校教育の統括、現職教員の研修など教育に係る様々な事業を担っている。配属先の同僚スタッフにはJICAが日本で実施した研修の参加経験者もおり、日本に対する理解が深い。

要請概要

1)要請理由・背景
ガーナでは、国連児童基金(UNICEF)の支援により1992年頃からSHEP(School Health Education Program/学校保健)に取組んでおり、その機能向上を目的に担当者が参加した学校保健にかかる日本でのJICA研修を受け、全国で4か所に保健室が設置された。現在、3か所の保健室で各JV(2014年7月～2016年)が活動中である。上述の研修参加者であるSHEP担当者と協力し、学校関係者に学校保健における理解促進を図るべく、同州にあるモデル学校保健室の機能等を紹介すると共に、地域の保健教育の活性化に向けた活動が求められ、本要請に至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
配属先のSHEP担当者や配属先管轄下の小中学校の保健担当教員およびPTA等と協力し、以下の活動を行う。
①配属先管轄下の小・中学校を巡回し、同州にあるモデル保健室の機能や環境について紹介する(児童の保健指導、応急処置等)。
②配属先管轄下の小・中学校を巡回し、児童の健康についての調査・分析を行い、学校および配属先に健康改善に向けた提案を行う。また、授業で実施されている健康・衛生教育や生徒が組織する保健委員会活動に対して支援を行う。
③配属先が実施するSHEP担当教員向けの研修などを通じて、学校保健の授業・活動に対する助言や提案を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
黒板、チョーク、保健教材など

4)配属先同僚及び活動対象者
配属先教育事務所【所長】1名(男性)、【SHEPコーディネーター】1名(女性、30代)
【その他スタッフ】40名程度(男女)

5)活動使用言語
(英語)
6)生活使用言語
(その他)
7)選考指定言語
英語 (レベル: [redacted])
又は
(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
- 免許/資格 ( )
  又は ( )
- 性別 ( ) 理由:
- 学歴 ( ) ( ) 理由:
- 経験 (実務経験) (3年以上) 理由:実務を通じた知識と経験が必要
- 養護教諭免許または保健師免許 理由:活動に必須
-

活動上の単車/自転車の必要性
◉単車 ○自転車 ○不要
(小型自動二輪免許が必要)

現職教員特別参加制度
◉可 春募集時のみ適用
○否 SVは通年対象外

地域概況
気候(熱帯モンスーン気候) 気温(25～35 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 26 年 12 月 2 日

要請番号(JL 512 - 15 - A - 06)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ガーナ	(コード H135) 学校保健	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 教育省

2)配属先名(日本語) ガーナ教育サービス エクムフィ郡事務所 ○NGO

3)任地(セントラル州エクムフィ郡エサァーチレ) JICA事務所の所在地(アクラ)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 1.0 時間)

4)配属先の規模・事業内容
ガーナ教育サービス(GES:Ghana Education Service)は教育省傘下の政策実施機関であり、配属先はその下部組織のひとつとして、エクムフィ郡全域の学校教育の統括、現職教員の研修など教育に係る様々な事業を担っている。

要請概要

1)要請理由・背景
ガーナでは、国連児童基金(UNICEF)の支援により1992年頃からSHEP(School Health Education Program/学校保健)に取組んでおり、その機能向上を目的に担当者が参加した学校保健にかかる日本でのJICA研修を受け、全国で4か所に保健室が設置された。現在、3か所の保健室で各JV(2014年7月～2016年)が活動中である。SHEP担当者と協力し、学校関係者に学校保健における理解促進を図るべく、同州にあるモデル学校保健室の機能等を紹介すると共に、地域の保健教育の活性化に向けた活動が求められ、本要請に至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
配属先のSHEP担当者や配属先管轄下の小中学校の保健担当教員およびPTA等と協力し、以下の活動を行う。
①配属先管轄下の小・中学校を巡回し、同州にあるモデル保健室の機能や環境について紹介する(児童の保健指導、応急処置等)。
②配属先管轄下の小・中学校を巡回し、児童の健康についての調査・分析を行い、学校および配属先に健康改善に向けた提案を行う。また、授業で実施されている健康・衛生教育や生徒が組織する保健委員会活動に対して支援を行う。
③配属先が実施するSHEP担当教員向けの研修などを通じて、学校保健の授業・活動に対する助言や提案を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
黒板、チョーク、保健教材など

4)配属先同僚及び活動対象者
配属先教育事務所【所長】1名(男性)、【SHEPコーディネーター】1名(女性、40代)
【その他スタッフ】40名程度(男女)

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (その他)
7)選考指定言語 英語 (レベル: ■) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は ( )
・性別( )理由:
・学歴( )( )理由:
・経験(実務経験)(3年以上)理由:実務を通じた知識と経験が必要
・ 養護教諭免許または保健師免許 理由:活動に必須
・

活動上の単車/自転車の必要性
◉単車 ○自転車 ○不要
(小型自動二輪免許が必要)

現職教員特別参加制度
◉可 春募集時のみ適用
○否 SVは通年対象外

地域概況
気候(熱帯モンスーン気候) 気温(25～35 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 26 年 12 月 23 日

要請番号(JL 006 - 15 - A - 01)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
インドネシア	(コード I101) ソーシャルワーカー	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 社会省

2)配属先名(日本語) 国立ソロ身体障害者社会リハビリテーションセンター ○NGO

3)任地(中部ジャワ州スラカルタ(ソロ)市) JICA事務所の所在地(ジャカルタ首都特別州)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(飛行機 で約 1.2 時間)

4)配属先の規模・事業内容

インドネシアのリハビリテーションの父と呼ばれるスハルソ博士が傷痍軍人のために1946年に設立した施設。現在は、身体障害者に対して裁縫や手工芸等の職業訓練を行っている。利用者数は250人。年間予算は約2億円。1994年-1997年期にJICA技術協力「ソロ身体障害者リハビリテーションセンター」が実施され、職業評価指導、コンピューター、縫製の分野で支援が行われた。また、JV(美術、1990～92年)、SV(義肢装具士、2004～06年)を受け入れた経験がある。JICA以外からの支援実績はハンディキャップ・インターナショナル(仏NGO)のみで、2006年～08年に義肢装具の指導を受けた。

要請概要

1)要請理由・背景

社会省では、ソーシャル・ワーカー(SW)の能力向上を目指す方針を打ち出しており、同施設でもこの方針に沿ってSWの専門性を高めることを望んでいる。このために日本の経験を共有しつつ、地域コミュニティにおける活動(家族支援、地域で生活する身体障害者への働きかけ及び支援等)、利用者に対する個別支援、個別評価等について助言を行うことのできるJVの派遣を求めることとなった。インドネシアの障害者施設では、事例検討会議の重要性が認識されておらず、支援者間の支援方針や支援方法の共有が十分になされていないことがあるため、必要に応じ、事例検討会議実施に関する支援を行うことも考えられる。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

1. 職員とともに地域コミュニティに入り、家庭訪問を通じた家族支援、地域で生活する身体障害者への働きかけ及び支援等について、日本の経験を共有しつつ、助言を行う。

2.「入所時面接→診断→計画→調整→追指導」という一連の個別支援過程において、利用者の自己解決能力や主体性の向上につながるよう、日本の経験を共有し、助言する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

個別評価のための道具。

4)配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:男性2名、女性2名、40代～50代、大卒～院卒。SWコーディネーター(1名)及びSW(3名)。
その他SW(59人、内訳は女性41人、男性18人、高卒～院卒)。
活動対象者:施設の利用者(17～35歳)。

5)活動使用言語 (インドネシア語)

6)生活使用言語 (インドネシア語)

7)選考指定言語 英語 (ﾚﾍﾞﾙ: [redacted]) 又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許/資格 ( ) 又は ( )
- 性別 ( ) 理由:
- 学歴 (大卒) ( ) 理由:同僚とのバランス。
- 経験 (実務経験) (3年以上) 理由:経験に基づいた指導が必要。
- 理由:
-

活動上の単車/自転車の必要性: ○単車 ◉自転車 ○不要

現職教員特別参加制度: ○可 ◉否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候(熱帯雨林気候) 気温(25～35 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)

通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

インドネシア側における査証手続きの問題により、他の国の同じ隊次より赴任時期が遅れる。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 10 日

要請番号（ JL 045 － 15 － A － 21 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
モンゴル	（コード I101 ） ソーシャルワーカー	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　教育・文化・科学省

2）配属先名（日本語）　ドルノド大学　○ NGO

3）任地（ドルノド県チョイバルサン ）　JICA事務所の所在地（ ウランバートル ）
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 2 時間）

4）配属先の規模・事業内容
1991年創立の国立大学で教員養成、外国語、経営の3学部11学科を持つ。学生1,000名程度、教職員65名。ドルノド、ヘンティ、スフバートルの東部3県の教員、人材育成を担っている。ソーシャルワーカー養成科は教員養成学部に属し、学生40名程度を4名の教授が指導している。1年生は一般教養、2・3年生が①青少年向け生活指導、②高齢者、③障害者、④女性・子供の権利保護(暴力や虐待防止)の4つの専門分野を履修し、4年生では学生自身が選択する専門分野を学習する。年間予算は5,700万円程度。2015年現在、IT学科で韓国ボランティア、英語学科で米国ピースコー各1名が活動中。

要請概要

1）要請理由・背景
配属先となる大学は東部3県におけるソーシャルワーカー養成の中心的役割を担っている。卒業生は国家資格を持ちながら学校や地区役場などで勤務しているが、学校行事の運営や事務作業等を任されることが多く、ソーシャルワーカーとしての機能を十分に果たせていない。そのため、業務に対する理解促進は喫緊の課題であり、人材育成を担う同校でJVの要請が挙がった。同大学では講義に加え、学校や役場、NGO等にて学生の教育実習を行っており、ソーシャルワーカーが適切に働ける環境作りを地域と一体となり整えていきたいと考えている。地域への理解促進と合わせ、ソーシャルワーカー養成課程での専門性強化のため、カリキュラム改善も計画されており、その提案も期待されている。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）
① 学生の教育実習に同行し、ケアワークの心構えや実践的指導を行う。
② ソーシャルワーカー養成科、教員養成科で、日本のソーシャルワーカーの役割等を紹介する。
③ 同僚とともに授業内容やカリキュラム改善を検討する。
④ 配属先、県庁、学校、地区役場、病院、NGO等と協力し、ソーシャルワーカーの業務機能確立に取り組む。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
執務室、PC、プリンタ

4）配属先同僚及び活動対象者
学長(女性、40代)
教頭(女性、40代)
C/P（女性、30代、教員経験13年）
同僚2名(男女各1名、20・30代、教員経験3・11年)

5）活動使用言語（ モンゴル語 ）
6）生活使用言語（ モンゴル語 ）
7）選考指定言語
英語　（レベル：■）
又は　（レベル：　）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）
・免許/資格（ ）
　又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 5年以上 ）理由：経験に基づいた指導が必要
・　理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性
○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度
○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候（ステップ気候 ）気温（ -30～30 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項
障害児診断、軽度発達障害、学習障害児の対応経験及びケースワーカー、ケアワーカー等の現場経験があると望ましい。

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 12 日

要請番号（ JL 060 - 15 - A - 10 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ネパール	（コード I101 ） ソーシャルワーカー	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 女性子ども社会福祉省

2)配属先名（日本語） カスキ郡女性子ども事務所 ○ NGO

3)任地（カスキ郡 ） JICA事務所の所在地（ ラリトプール ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 0.5 時間）

4)配属先の規模・事業内容

全国75郡に設置された女性子ども局の郡事務所のひとつ。主な事業は女性の社会・経済的地位の向上をめざした女性の組織化、小規模ビジネス支援、ジェンダーや保健関連の研修を通じた啓発活動等である。また政府機関として郡内で、子ども・高齢者や障害者に関する事業を実施する唯一の政府系事務所である。これまでに他郡の女性子ども事務所へ複数ボランティアを派遣しており、現在も2郡でコミュニティ開発のボランティアが活動している。年間事業予算は、当配属先配布約1000万円。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先の主な事業は管轄する村落地域において、マイクロクレジットを通じた女性組合を形成し、女性の組織化を進めることであるが、同時に郡内の障害者に対する障害者手帳の交付や障害者事業の実施及びモニタリング業務も行っている。配属先には障害者担当職員がいるものの、十分な研修を受けておらず、障害者や社会福祉に関する知識不足のため、同手帳申請及び交付時に混乱が生じたり、障害者に十分な社会福祉サービスが行き届いていない現状がある。同配属先に上記の知識及び経験を有するボランティアを配置し、配属先職員と協力して、同郡内の特に障害者に対する社会福祉事業の実施状況を改善する必要があり、ボランティアの要請となった。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

配属先職員と協力しながら以下の業務を実施する。
1.郡内の障害者に対する社会福祉事業実施状況の現状把握と実態調査。
2.上記現状を踏まえ、効果的な事業の実施のための提言と実施支援。
3.障害者に対する社会福祉事業実施に関連する政府機関やNGO団体と協力・連携を強化するための活動。
4.郡内の障害者自助組織の組織強化支援。
5.配属先職員や関連機関職員に対する勉強会の企画・実施。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし。

4)配属先同僚及び活動対象者

所長 40代 2名, スーパーバイザー 4名
フィールド担当職員(障害者担当含む)9名
会計 1名,庶務 2名,運転手 1名
※会計・運転手以外はすべて女性職員。

5)活動使用言語（ ネパール語 ）
6)生活使用言語（ ネパール語 ）
7)選考指定言語
英語 (レベル: [redacted])
又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：経験に基づいた助言が必要なため
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可 ○ 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（温暖冬季少雨気候 ） 気温（ 3～35 ℃位） 電気（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）
通信（ ☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線 ） 水道（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA 長期 （ 長期 JV ）

記入日：平成 26 年 12 月 26 日

要請番号（ JL 560 － 15 － A － 12 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ベナン	（コード I101 ） ソーシャルワーカー	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 家族・社会問題・国民連帯・障害者省

2)配属先名（日本語） ロコサ福祉センター ○NGO

3)任地（モノ県ロコサ市 ） JICA事務所の所在地（ コトヌー ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で約 2.5 時間）

4)配属先の規模・事業内容

家族・社会問題省は、全国約80箇所に福祉センターを配置し、地域の社会的弱者に対する支援を行っている。日本の市役所の福祉課の役割を担っている。同市は、人口約7万7千人で5つの行政区分、44村を管轄する。同センターの業務は各種補助金申請の窓口業務、カウンセリング業務、女性グループ支援、孤児などの児童支援、高齢者支援を実施している。センターの利用者数は月毎150名。年間は予算は約40万円、活動資金の大部分は市役所や国際機関、NGO団体からの援助金に委ねるところが大きい。現在JV(ソーシャルワーカー)とJV(小学校教育)が活動中。

要請概要

1)要請理由・背景

同センターは、地域の社会福祉にかかる相談業務および諸手続きにかかる窓口業務を行っている。センタースタッフは4名で、センター外の訪問サービスや啓発活動に時間が持てない状況にある。また、配属先の慢性的な予算、人員不足により業務が限定的であることにも改善の余地がある。活動中のJVは、センター内の業務改善、障害者・孤児院等を訪問し、社会的弱者のための自立支援を行っている。また、持続的なセンター運営のためのアイディア創出にも取り組んでいる。担当者不在時の申請者への対応やセンターの役割自体が知られていないことから改善するべき課題点は多く、地域住民の視点に立ったJVの活動が期待されている。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

福祉センター業務時間 午前8時から12時30分、午後15時から18時30分

1.センター内の手続業務改善にかかるアドバイスをスタッフに行う。(書類やPCの整理方法・情報共有体制構築)
2.地域内にある各施設(学校、障害者施設、孤児院等)の状況を把握する。
3.上記の中から定期的に訪問する施設を選択して、ワークショップや話し合いに参加する。
4.配属先への定期報告を実施する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

事務所内机

4)配属先同僚及び活動対象者

ディレクター(男性 30歳代 ソーシャルワーカー 経験3年)
職員 2名、研修生 1名

地域住民

5)活動使用言語
（ フランス語 ）
6)生活使用言語
（ その他 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ ）（ ）理由：
- 障害者との活動経験 理由：障害者施設での活動を含むため
-

活動上の単車／自転車の必要性

○単車 ◉自転車 ○不要

現職教員特別参加制度

○可 春募集時のみ適用
◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ） 気温（ 25～35 ℃位） 電気（○安定 ◉不安定 ○なし）
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ） 水道（○安定 ◉不安定 ○なし）

特記事項

皮膚疾患となる虫(ブヨの一種)が一年中存在する。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 27 年 2 月 3 日

要請番号（ JL 006 － 15－ A － 11 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
インドネシア	（コード I102 ）障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　社会省

2)配属先名（日本語）　チビノン知的障害者社会リハビリテーションセンター　○NGO

3)任地（西ジャワ州ボゴール県チビノン市）　JICA事務所の所在地（ジャカルタ首都特別州）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車 で約 1.5 時間）

4)配属先の規模・事業内容

国立の知的障害者リハビリテーションセンターで、75人の知的障害者が利用している(全寮制)。利用者の年齢は15歳～35歳。うちIQ50～70(軽度)の知的障害者が60%、IQ30～50(中から重度)が40%を占めている。軽度の知的障害者に対しては、手工芸、裁縫、編み物、絵画、音楽、ボーイ(ガール)スカウト等の活動を行い、また簡単な計算等の練習をしている。中～重度の障害者に対しては、食事や排泄、掃除等、日常生活スキルを身に着けるための訓練をしている。施設の職員数は45名で、うち9名がソーシャル・ワーカー。1995年～1997年に手工芸のJVを受け入れた。

要請概要

1)要請理由・背景

同施設では、利用者の自立を目標として、一人の利用者に対して最大4年間のリハビリテーション訓練を行っているが、利用者に対する支援の質の向上が大きな課題となっており、今回障害児・障害者支援の分野で知見のあるJVの派遣を求めることになった。JVには、同僚が障害の程度に応じた適切な個別支援を行えるよう支援することが求められる。同施設はまた、利用者の家庭環境を知るための家庭訪問プログラムや、家族による障害受容を促進するためのプログラムを実施しており、JVには、これらの家族支援プログラムへの助言も期待されている。同施設では、手工芸や裁縫、編み物等の作業を通したリハビリテーション活動が行われていることから、手工芸の心得があり、地元の資源を活用した新しい手工芸品のためのアイデアを出すことができる人材であれば尚良い。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

・知的障害者の日常生活の身辺自立や基本的生活動作の習得、作業能力の向上に関して、障害の程度に応じた適切な指導を行うことができるよう同僚を支援する。
・同僚が適切な個別支援計画の策定や個別評価を行えるよう支援する。
・同施設が行う家族支援プログラムに対して助言を行う。
・可能な範囲で、障害者に対し手工芸品製作等の指導を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

PC、印刷機等。

4)配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:男性、大卒、50代
施設のSWの学歴は、3年制職業専門学校(高校を出てから3年間の専門教育を受ける)～大卒

5)活動使用言語（ インドネシア語 ）
6)生活使用言語（ インドネシア語 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ 大卒 ）（ ）理由：先方政府の意向。
・経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：経験に基づいた指導が必要。
・ 作業指導経験 2年以上 理由：経験に基づいた指導が必要。
・

活動上の単車／自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
○可 ◉否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ）気温（ 25～30 ℃位）電気（○安定 ◉不安定 ○なし）
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ）水道（○安定 ◉不安定 ○なし）

特記事項

インドネシア側における査証手続きの問題により、他の国の同じ隊次より赴任時期が遅れる。

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 1 月 5 日

要請番号(JL 009 - 15- A - 01)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
マレーシア	(コード I102) 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 教育省

2)配属先名(日本語) クダ州教育局 特別支援教育課 クアラムダ・ヤン教育事務所 ○NGO

3)任地(クダ州スンガイ プタニ町) JICA事務所の所在地(クアラルンプール)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(飛行機 で約 2 時間)

4)配属先の規模・事業内容
クダ州のクアラムダ郡とヤン郡内の特別支援学級を持つ小学校22校、中等学校11校、特別支援学校1校に対する特別支援教育全般(障害児の受入や登録、評価、コンサルテーション、リハビリテーションなどのサービスや特別支援教員への各種研修実施、モニタリング)に係る業務を行っている。特別支援教員数は助手を含め178名である。JICA以外の他機関からの協力はない。現在、初代のボランティアが活動中である。

要請概要

1)要請理由・背景
当国における特別支援教育は主に一般校の特別支援学級にて身辺動作自立児童のみを受け入れ、教育を行っているが、専門的な教育を受けずに特別支援教育の現場で支援している教師がほとんどであるなど、障害種に応じた支援方法やアイデアが乏しく、個々に対する適切な支援がなされていない傾向がある。管轄郡内の教師の特別支援教育に係る能力向上を図る目的により当要請に至った。特に手工芸品製作などの予備職業訓練における教師の指導法の改善が求められている。
小学校の一例:8歳から14歳の児童27名が在籍し3クラスに分け教師4名、助手2名により授業が行われている。一つの教室を仕切りのない3つに分けて授業実施。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
・クアラムダ・ヤン郡内の指導巡回校5校程度を選定し、各校の教師に対し約3か月間づつ下記の活動を行う。
1. 現地教師の支援法向上のために、新しいアイデアの提供、助言を行う。
2. 自閉症、ADHDなどの発達障害等.個々の障害種に応じた適切な指導法のほか、教材・教具作製の助言を行う。
3. 廃材を利用した手工芸品の紹介・製作指導を行うなど生徒への予備職業訓練の実施・助言を行う。
4. 地域内の教師に対する各種研修会を企画・実施する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
図書、玩具、楽器

4)配属先同僚及び活動対象者
配属先カウンターパート(男性 40代 大卒(特別支援教育)、経験10年以上)
特別支援教員(主に女性、28～50歳、短大、大卒、経験1～10年)

5)活動使用言語 (マレーシア語)
6)生活使用言語 (マレーシア語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: ■) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格(特別支援学校教諭または養護学校教諭)
又は ( )
・性別 ( ) 理由:
・学歴 ( ) ( ) 理由:
・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:即戦力が求められている。
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性: ○単車 ◉自転車 ○不要

現職教員特別参加制度: ◉可 ○否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候(熱帯雨林気候) 気温(25～35 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 1 月 9 日

要請番号(JL 009 - 15 - A - 02)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
マレーシア	(コード I102) 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 教育省

2)配属先名(日本語) ペラ州教育局 特別支援教育課 ケリアン郡教育事務所 ○NGO

3)任地(ペラ州パリット ブンタール町) JICA事務所の所在地(クアラルンプール)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(飛行機 で約 2 時間)

4)配属先の規模・事業内容
ペラ州のケリアン郡内の特別支援学級を持つ小学校9校(内1校は聴覚障害児クラスあり)、中等学校5校に対する特別支援教育全般(障害児の受入や登録、評価、コンサルテーション、リハビリテーションなどのサービスや特別支援教育における教員への各種研修の実施、モニタリング)に係る業務を行っている。同郡内にある特別支援学級には小学生305名、中学生170名が在籍しており、特別支援教師数は小学校88名、中等学校27名、助手43名である。現在、同州教育局本部ではSV1名が活動しており、TEACCH(自閉症等コミュニケーションに障害のある子供やその家族への包括的対策プログラム)の手法を導入した活動を展開している。

要請概要

1)要請理由・背景
当国における特別支援教育は主に一般校の特別支援学級にて身辺動作自立児童のみを受け入れ、教育を行っている。当ペラ州においては全国に先駆けて肢体不自由児、重度障害児のクラスを導入するなど非常に活発な特別支援教育を行っているが、専門的な教育を受けずに特別支援教育の現場で支援している教師がほとんどであるなど、障害種に応じた支援方法やアイデアが乏しく、個々に対する適切な支援がなされていない傾向があり、管轄郡内の教師の特別支援教育に係る能力向上を図る目的により当要請に至った。

小学校の一例:23名の児童をIQ別に4クラスに分け5名の教師により授業が行われているほか、3名の聴覚障害児が2名の教師により授業を受けている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
・ケリアン郡内の指導巡回校5～6校程度を選定し、各校の教師に対し約3、4か月間づつ下記活動を行う。
1.現地教師の支援法向上のために、新しいアイデアの提供、助言。
2.自閉症、ADHDなどの発達障害等個々の障害種に応じた適切な指導法のほか、教材・教具作製の助言。

・郡内の教師を対象に、特別支援教育についての各種研修会の実施。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
図書、玩具、楽器

4)配属先同僚及び活動対象者
配属先カウンターパート(男性 36 大卒(特別支援教育)、経験:中等学校4年、小学校4年)
特別支援教員(主に女性、24～50歳、短大、大卒、経験1～10年)

5)活動使用言語
(マレーシア語)
6)生活使用言語
(マレーシア語)
7)選考指定言語
英語 (レベル: ■)
又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格(特別支援学校教諭または養護学校教諭)
又は( )
・性別( )理由:
・学歴( )( )理由:
・経験(実務経験)(5年以上)理由:即戦力が求められている。
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ◉自転車 ○不要

現職教員特別参加制度
◉可 ○否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(熱帯雨林気候) 気温(25～35 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 ☐無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 13 日

要請番号（ JL 009 - 15 - A - 05 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
マレーシア	（コード I102 ）障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 女性・家族・地域開発省

2)配属先名（日本語） クランタン州社会福祉局 ○ NGO

3)任地（ クランタン州コタバル市 ） JICA事務所の所在地（ クアラルンプール ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 1 時間）

4)配属先の規模・事業内容

配属先は社会的弱者に対する高齢者支援、児童支援、障害者福祉、母子家庭支援、青少年犯罪者の更生支援、自然災害対策などのサービスを提供している。州内には10カ所の地域福祉事務所と39カ所の地域に根差したリハビリテーションセンター(以下CBRセンター)があり、各CBRセンターにはスーパーバイザー1名と規模に応じて3名から5名の職員が配置されている。社会福祉局の職員数は約70名、年間予算は約1億円。25年度1次隊で作業療法士と体育隊員を派遣中。

要請概要

1)要請理由・背景

マレーシアの障害児教育は、国立の盲聾学校および普通校に併設されている特別支援学級で行われているが、義務教育では無いことと特別支援学級の受入態勢が整っていないこともあり、一般的に特別支援学級では自立している障害児のみを受入れている。学校へ入学できなかった障害児はCBRセンターに通所するか、自宅にいることになる。CBRセンターでは就学前の児童や就学年齢に達している児童の自立訓練や学習支援を実施し、特別支援学級への入学をサポートしているが、特別支援学級の教師の多くが、特別支援教育の専門では無い為学校への受入がなかなか進まない。こういった事情のため、CBRセンターでは特別支援学級へ通えない児童のための学習支援を実施している。しかし、CBRセンターの職員は特別支援教育の知識に乏しいことからCBRセンターの職員教育のためにボランティア要請に至った。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

隊員は配属先の障害者部門に所属し、CBRセンターを巡回してスタッフに対し以下の支援を実施する。CBRセンター利用者は下は0歳から上は30歳代後半。毎週木曜日が家庭巡回の日になっている。
1.障害児の障害にあった個別指導の仕方を指導する。障害は自閉症などの発達障害や知的障害が多い。
2.就学前児童の就学に向けた自立訓練や就学年齢に達している児童の特別支援学級への入学を支援する。
3.CBRセンターにある教材の使い方指導や障害にあった教材開発を指導する。
4.CBRセンタースタッフのための発達障害などに関するスタッフ研修の企画および実施。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

教材、ボールなどの運動用具

4)配属先同僚及び活動対象者

カウンターパートは社会福祉局の障害者部門の責任者。経験10年、女性、40歳代
CBRセンターのスタッフは、多くが女性で経験年数は1年から5年、年齢は20歳から50歳。

5)活動使用言語（ マレーシア語 ）

6)生活使用言語（ マレーシア語 ）

7)選考指定言語 英語 （ﾚﾍﾞﾙ: ■） 又は （ﾚﾍﾞﾙ: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：職員への指導を含むため
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車 ◉ 自転車 ○ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可 ○ 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ） 気温（ 25～35 ℃位） 電気（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

通信（ ☒ インターネット可 ☒ 電話可 □ 無線 ） 水道（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ

長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 1 月 8 日

要請番号(JL 012 - 15 - A - 03)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
フィリピン	(コード I102) 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局

2)配属先名(日本語) パロ第一中央小学校特別支援センター ○NGO

3)任地(レイテ州パロ町) JICA事務所の所在地(マニラ)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(飛行機 で約 1.5 時間)

4)配属先の規模・事業内容
配属先は、レイテ島東海岸に位置する全校児童252名、全教員数57名の小学校の一部として、障害をもつ児童・生徒を対象に設置されている町で唯一の特別支援教育センター。学校全体の事業予算は年間約160万円であり、このうち特別支援センターの予算は11万円/年程度。同センターは聴覚障害、視覚障害、知的障害を対象とするクラスに分かれており、3名の教員が配置されている。なお、配属先は小学校であるが、JVの活動対象となる知的障害クラスの児童・生徒の年齢は6～18才程度と幅広い。抱えている主な障害は自閉症、ダウン症等で児童・生徒数は現在12名。海外からの援助はこれまで特に受けていない。

要請概要

1)要請理由・背景
パロ町は2013年11月にスーパー台風ハイエンの直撃による高潮と暴風雨で壊滅的な打撃を受け、多くの死傷者も出た町。現在被災後1年が経過し、海外からの復興支援も受けてインフラ等は徐々に回復してきているものの、特に社会的弱者に対する支援がなかなか行きわたらない状況にある。2014年5月から復興支援ボランティアとしてレイテ州政府事務所で活動した短期SV(行政サービス)によって、被災地における社会的弱者支援の重要性が指摘され、特にボランティアによる草の根の支援活動が効果的と判断されたため、教育省レイテ州事務所とJVの派遣について協議した結果、被災の大きかったパロ町における障害児・者教育の強化を目的として本要請が提出された。なお教育省レイテ州事務所は、同じく大きな台風被害を受けた任地隣町のタナウアン町に2名の小学校教師も要請し、音楽、美術、体育等児童の情操教育の質の向上を図ることとしている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
JVは同僚と共に知的障害クラスを対象に以下の活動を行う。
① クラスの多様なニーズに応じた授業・活動計画の作成を支援する。
② 個々の児童・生徒の障害のレベル、特徴に合わせた個別指導方法の改善を支援する。
③ 児童・生徒の経験の多様化、生涯学習を目指した課外活動等の計画と実施を支援する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
パソコン、プリンター等事務機器。バランスボール、平均台、トランポリン、弁別動作獲得のための各種教材。

4)配属先同僚及び活動対象者
学校長: 30代女性(博士号取得者)
主たる同僚 :知的障害担当教師 20代 女性
その他の同僚: 聴覚障害担当教師 40代 女性、視覚障害担当教師 30代 女性

知的障害クラス児童・生徒:現在12名、年齢6～18才、うち7名が自閉症

5)活動使用言語
(英語)
6)生活使用言語
(その他)
7)選考指定言語
英語 (レベル: ■)
又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は( )
・性別( )理由:
・学歴( )( )理由:
・経験(実務経験)(2年以上)理由:指導経験に基づく助言を要する
・ 理由:
・ 特別支援学校または特別支援学級での実務経験

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
◉可 ○否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(熱帯雨林気候) 気温(25～35 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 9 日

要請番号（ JL 012 - 15 - A - 10 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
フィリピン	（コード I102 ） 障害児・者支援	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　国家経済開発庁ボランティア調整局

2) 配属先名（日本語）　パシィ第一中央小学校 特別支援センター　○ NGO

3) 任地（ イロイロ州 パシィ市 ）　JICA事務所の所在地（ マニラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 1.5 時間）

4) 配属先の規模・事業内容

同配属先は、小学校の一部として障害を持つ児童を対象に設置されている特別支援センターであり、聴覚障害、視覚障害、知的障害を対象とする3つのクラスに分かれている。学校全体の児童数は2,000名以上の大規模な学校であるが、配属先となる知的障害クラスの児童・生徒数は14名(7～16歳)であり、正規教員が2名配置されている。現在、JV(障害児・者支援)が、知的障害を持つ児童・生徒への指導方法や教材の活用法に関する助言等の活動を行っている。

要請概要

1) 要請理由・背景

知的障害者の担当教員は、障害児の指導に関する知識はあるものの実践経験が不足していることから、現在派遣中のJVが指導方法や教材の活用方法について助言を行っているが、障害児指導法は各児童・生徒の障害の程度等によって指導方法が違うことから定着までに継続的な支援が必要である。また、通常クラスにも、軽度の障害を持つ児童・生徒が在籍しているが、指導する教員は、障害を持つ児童・生徒を指導した経験がないことから、適切な教育ができていない状況である。特別支援センターでの助言に加えて、軽度の障害を持つ児童・生徒に対する指導法についての助言が必要であることから本要請となった。現在、グループ派遣されている障害者支援分野のJVの内、特別支援センターに赴任しているJVで「障害児教育チーム」が結成され、JVや同僚との間で活発な交流が行なわれており、引き続き同様の活動を行うことが期待されている。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

① 知的障害を持つ児童・生徒への指導方法に関する助言を行う。
② 視聴覚教材の活用方法に関する助言を行う。
③ 児童・生徒の社会性を培うための活動に関する助言を行う。
④ 通常クラスに在籍する軽度の障害を持つ児童・生徒に対する指導方法に関する助言を行う。
⑤ 地方自治体やNGO、他教育機関に派遣されるJVと情報共有しながらセミナー等の企画・調整を行う 。

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プリンター等の事務機器

4) 配属先同僚及び活動対象者

知的障害担当:
女性1名 20代 経験年数4年
男性1名 (カウンターパート) 20代 経験年数5年

聴覚障害及び言語障害担当: 女性 2名
視覚障害担当: 女性1名

5) 活動使用言語（ 英語 ）
6) 生活使用言語（ その他 ）
7) 選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ ）（ ）理由：
・ 理由：
・ 特別支援学校または特別支援学級での実務経験

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 23～35 ℃位）電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　□ 無線 ）水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

任地から最寄の空港までは、更にバス等で約1時間の移動が伴う。パナイ島の地方自治体、NGOや特別支援センターに派遣されてる障害者支援分野の隊員で構成されているグループ派遣の一員となる。

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 1 月 9 日

要請番号(JL 012 - 15 - A - 13)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
フィリピン	(コード I102) 障害児・者支援	◉ グループ型 ○ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局

2)配属先名(日本語) 教育省イロイロ州ティグバワン地区事務所 ○ NGO

3)任地(イロイロ州ティグバワン町) JICA事務所の所在地(マニラ)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(飛行機 で約 1.5 時間)

4)配属先の規模・事業内容
配属先は、イロイロ州ティグバワン町の21の公立小学校を管轄する教育省の地方機関である。管轄地区の教員等を含めた職員は261名、2014年の予算は約970万円であった。教育省は、各町に少なくとも1か所は障害児教育を行う特別支援センターを設立する方針であるが、ティグバワン町には特別支援センターが無いことから、配属先は、ティグバワンセントラル小学校で特別支援プログラムを開始し、障害を持つ児童・生徒を対象に教育を行っており、近い将来、センターとして運営し、地域の障害児教育を進めていく予定である。

要請概要

1)要請理由・背景
フィリピンの教育省は、1町に少なくとも特別支援センターを1か所設立することとしているが、ティグバワン町にはない。このことから、教育省地域事務所は、ティグバワンセントラル小学校に特別支援プログラムを開始し、障害を持つ児童・生徒を対象に教育を行っている。現在、知的障害の児童・生徒21名、学習障害の児童・生徒8名、聴覚障害の児童・生徒7名、自閉症の児童・生徒7名、弱視の児童・生徒2名が同プログラムで学んでおり、近い将来、特別支援センターとして運営する予定である。同プログラムを担当している教員は、大学で特別支援教育課程を専攻しているが、経験年数が4年であることから、障害児の教育の経験が十分ではない。特に、児童・生徒の障害を考慮した授業・活動計画作成の支援、職業教育立ち上げに関する助言を行う必要があることから本要請となった。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
① 特別支援教育の授業・活動計画作成の支援を行う。
② 職業教育立ち上げに関する助言を行う。
③ 障害児と保護者を対象に障害児教育に対する理解促進を目的とした定例会開催の支援を行う。
④ 地方自治体やNGO、他教育機関に派遣されるJVと情報共有しながらセミナー等の企画・調整を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
パソコン、プリンター等の事務機器

4)配属先同僚及び活動対象者
教育省ティグバワン地区事務所長: 女性 60代
小学校校長: 40代 女性
:特別支援教育担当教諭(カウンターパート):男性 20代 経験年数 4年
特別支援教育アシスタント: 女性 30代

5)活動使用言語
(英語)
6)生活使用言語
(その他)
7)選考指定言語
英語 (レベル: [redacted])
又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は( )
・性別( )理由:
・学歴( )( )理由:
・経験( )( )理由:
・ 理由:
・ 特別支援学校または特別支援学級での実務経験

活動上の単車/自転車の必要性
○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度
◉ 可 ○ 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(熱帯モンスーン気候) 気温(23~35 ℃位) 電気(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)
通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)

特記事項
任地から最寄の空港までは、更にバス等で約40分の移動が伴う。パナイ島の地方自治体、NGOや特別支援センターに派遣されてる障害者支援分野の隊員で構成されているグループ派遣の一員となる。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 8 日

要請番号（ JL 012 - 15 - A - 22 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
フィリピン	（コード I102 ）障害児・者支援	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　国家経済開発庁ボランティア調整局

2) 配属先名（日本語）　パロタック・ビエホ特別支援センター　○ NGO

3) 任地（ イロイロ州パロタック・ビエホ町 ）　JICA事務所の所在地（ マニラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 1.5 時間）

4) 配属先の規模・事業内容

同配属先は、小学校の一部として障害を持つ児童を対象に設置されている特別支援教育センターであり、聴覚障害、視覚障害、知的障害の3クラスに分かれている。生徒数はそれぞれ30名、5名、15名、年齢は4歳～27歳であり、正規職員がそれぞれ配置されている。2014年度の、特別支援センターの運営費は、10,000ペソ(日本円で、約2万円)が支給され、教材等の購入に充てられた。2013年7月からJV(養護)が派遣されている。

要請概要

1) 要請理由・背景

現在派遣中のJVは、村(バランガイ)を巡回して学校に通学できない障害児・者の訪問教育を行うと共に特別支援学級(SPED)の教員の質の向上と作業学習の充実を目指して活動を行っている。同配属先が所轄する地域はSPEDに通学できない児童が多く、訪問教育を更に拡大していく予定である。活動先は、作業学習の一環として売店を設立し、生徒が従業員となって活動できることを最終目標としている。JVからの作業学習に関する助言や協力が必要であると考えられ、引き続き本要請となった。また、同州には、JICA技術協力プロジェクト「地方における障害者のためのバリアフリー環境形成プロジェクト」(2012年9月に終了)のサイトがあり、プロジェクトの成果普及を目指して地方自治体や教育機関等にJVが派遣されている。彼らと情報共有を行いながら障害者支援に関するセミナー等の企画・調整も行い、「障害者も輝けるまちづくり」も目指す。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

① 知的障害を持つ児童・生徒への指導方法、教材作成に関する助言を行う。
② 障害を持つ生徒の作業学習に関する助言を行う。
③ バランガイを巡回し、通学できない障害をもつ児童に対し、訪問教育を行う。
④ イロイロ州の地方自治体やNGO、教育機関に派遣されているJVと情報共有しながらセミナー等の企画・調整を行う。

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プリンター等の事務機器。

4) 配属先同僚及び活動対象者

①知的障害児担当教諭(カウンターパート): 女性 20代 経験年数 9年
②聴覚障害児担当教諭: 1名 女性 40代 経験年数 9年
③視覚障害児担当教諭: 1名 女性 20代 経験年数 2年

指導対象となる生徒は、4歳から27歳くらいまで

5) 活動使用言語（ 英語 ）
6) 生活使用言語（ その他 ）
7) 選考指定言語　英語（レベル: ■）　又は（レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ 女性 ）理由：教員が皆女性のため
- 学歴（ 大卒 ）（ ）理由：同僚とのバランス
- 経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：経験に基づく助言が必要なため
- 特別支援学校での経験　理由：経験に基づく助言が必要なため
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ）気温（ 23～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　□ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

任地から最寄の空港までは、更にバス等で2時間程度の移動が伴う。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 10 日

要請番号（ JL 012 - 15 - A - 23 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
フィリピン	（コード I102 ） 障害児・者支援	◉ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　国家経済開発庁ボランティア調整局

2）配属先名（日本語）　マアシン中央小学校特別支援センター　○ NGO

3）任地（ イロイロ州マアシン町 ）　JICA事務所の所在地（ マニラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 1.5 時間）

4）配属先の規模・事業内容

同配属先は、全校児童が約350名、教師43名の小学校である。特別支援学級は、聴覚障害と知的障害を対象ととする2クラス。生徒数はそれぞれ10名と36名であり、正規教員が一人ずつ配置されている。現在、障害児クラスのための事業運営資金は特に無い。2013年10月からJV(養護)が派遣されている。

要請概要

1）要請理由・背景

現在派遣中のJVは、知的障害児を対象としたクラスにて教材の開発、音楽を通じた生徒のコミュニケーション能力の向上を通じた授業の充実、また、就労準備教育の確立に関する活動を行っている。同配属先は、音楽や絵を書くことを通じた知的障害児のコミュニケーション能力の向上と就労支援につながる商品の開発を更に進めてきたいと考えており、本要請となった。また、同州には、JICA技術協力プロジェクト「地方における障害者のためのバリアフリー環境形成プロジェクト」(2012年9月に終了)のサイトがあり、プロジェクトの成果普及を目指して地方自治体やNGO、教育機関にJVが派遣されている。彼らと情報共有を行いながら障害者支援に関するセミナー等の企画・調整も行い、「障害者も輝けるまちづくり」も目指す。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

① 重複障害児や自閉症、ダウン症の児童に対する授業・指導方法に関する助言。
② 知的障害児のコミュニケーション能力向上のための音楽・絵画の授業に関する助言。
③ 障害児の就労支援に通じる商品開発のための助言。
④ イロイロ州の地方自治体やNGO、教育機関に派遣されているJVと情報共有しながらセミナー等の企画・調整の実施。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プリンター等の事務機器。

4）配属先同僚及び活動対象者

知的障害児担当教諭(カウンターパート)　女性 30代・8年目
聴覚障害児担当教諭　1名 女性 40代・10年以上

指導対象となる生徒は6歳から30歳くらいまで

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ その他 ）
7）選考指定言語　英語（レベル：[redacted]）　又は（レベル：　）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（　）
  又は（　）
- 性別（　）理由：
- 学歴（ 大卒 ）（　）理由：同国の養護教育は大卒資格が必要
- 経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：経験に基づく助言が求められている
- 特別支援学校での経験　理由：経験に基づく助言が必要なため
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯雨林気候）　気温（　25～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　□ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

任地から最寄の空港までは、更にバス等で1時間程度の移動が伴う。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 12 日

要請番号（ JL 018 - 15 - A - 08 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
タイ	（コード I102 ）障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　教育省

2) 配属先名（日本語）　カーンチャナブリー聾学校　○NGO

3) 任地（カーンチャナブリー県ムアンカーンチャナブリー郡 ）　JICA事務所の所在地（ バンコク ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で約 2 時間）

4) 配属先の規模・事業内容

配属先は、全国に20校ある聾学校の一つである。1996年に聴力障害がある児童のための教育機関として設立された。タイ中央部及び西部出身の7歳～20歳までの195名(幼稚部～高校部)が在籍している全寮制の学校である。職員数26人(うち聾唖者の教員1名含)。職業訓練コースとして、これまでに、バンコク、チョンブリー県、ノンタブリー県、ロッブリー県、チェンマイ県の聾学校にJICAボランティアが派遣されており、同校には10年前に養護隊員が派遣されていた。

要請概要

1) 要請理由・背景

同校は卒業後に就職ができるように職業訓練をすることに重点を置いている。タイ政府は、障害者の生活の質の向上に関する法律を定め、雇用主の障害者雇用を義務化したり、職業訓練、教育、情報支援といったサービスの向上を図っているが、現状では十分整っているとは言い難い。同校も障害児・者支援専門の教員が一名しかおらず、少しでも専門的な人材を育成すべく、JVの要請が挙げられた。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1 聴覚障害児(主に小学生)に対して、算数・図工・音楽・スポーツ・レクリエーション等を同僚教師とともに担当し、日本の教育手法を紹介するなどして、教育の改善に努める。
2 同僚教師に対して、聴覚障害児向け教材作成のアイデアを提供する。
3 同僚教師や児童・生徒に対して、日本文化紹介や学校行事の企画運営に協力する。

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

コピー機等事務機器

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長 女性 50代
教師(大卒) 50代
教師(院卒) 40代
教師(院卒) 30代

5) 活動使用言語（ タイ語 ）
6) 生活使用言語（ タイ語 ）
7) 選考指定言語
英語 (レベル: [redacted])
又は
(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ 大卒 ）（ ）理由：同僚のレベルに合わせるため
- 経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：日本の教育手法について教えるため
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：◉可 ○否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 22～38 ℃位）
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ）
電気（◉安定 ○不安定 ○なし）
水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ

長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 2 月 12 日

要請番号(JL 018 - 15 - A - 09)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
タイ	(コード I102) 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 3 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 社会開発・人間安全保障省

2)配属先名(日本語) パーククレット障害乳幼児ホーム ○ NGO

3)任地(ノンタブリー県パーククレット郡) JICA事務所の所在地(バンコク)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(車 で約 1 時間)

4)配属先の規模・事業内容
社会開発・人間の安全保障省管轄の障害者施設の一つで、0～7歳の軽度～重度重複障害乳幼児の介護・治療・訓練を行う寄宿制の施設である。現在、乳幼児約450名が収容されている。職員数160名。養護教員・看護師・作業療法士・作業療法アシスタント・ソーシャルワーカーがいる。これまで、JICAボランティアは、作業療法士・理学療法士・養護・青少年活動の隊員が活動してきた。

要請概要

1)要請理由・背景
同施設には、これまで養護隊員(10年度1次隊、12年度3次隊)が二代にわたり派遣されてきた経緯がある。その後も、他の科において、作業療法士(25年度1次隊)が活動しており、協力隊の評価は非常に高い。同施設は、タイにおいても、障害乳幼児を対象とした代表的な施設であるが、特別支援教育課には、特別支援教育専門の教師は一名しかいないため、専門的知識を有したJVが活動し、日本の新しい知識やアイデアを共有することにより、教育内容の向上を目指していくことが期待されている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
1 特別支援教育課に配属される教員とともに、0～7歳までの乳幼児のクラスに入り、日常生活の向上を目指し、指導にあたる。
2 グループ指導の他、個別指導も行っているが、同僚スタッフに対し、一人一人の特性に応じた指導について助言を行う。
3 スタッフの一員として、施設内で行われるイベントに参加し、協力する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
センター内における各種リハビリ器具・教材

4)配属先同僚及び活動対象者
特別支援教育課
同僚教師(大卒)18名(うち男性1名、女性17名)
ただし、特別支援教育専門は1名のみである。

5)活動使用言語
(タイ語)
6)生活使用言語
(タイ語)
7)選考指定言語
英語 (レベル: ■)
又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は( )
・性別(女性)理由:同僚が女性であるため
・学歴(大卒)( )理由:同僚が同等の資格を持つため
・経験(実務経験)(3年以上)理由:同僚のレベルに合わせるため
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性
○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度
◉ 可 ○ 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(熱帯モンスーン気候) 気温(22～38 ℃位) 電気(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)
通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 12 日

要請番号（ JL 018 - 15 - A - 10 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
タイ	（コード I102 ）障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　社会開発・人間の安全保障省

2) 配属先名（日本語）　アジア太平洋障害者センター　○ NGO

3) 任地（ バンコク ）　JICA事務所の所在地（ バンコク ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で約 0.5 時間）

4) 配属先の規模・事業内容

国連・アジア太平洋経済社会委員会による障害と開発に関する政策実施機関(2003-2012、2013-2022)として、障害者のエンパワメントとバリアフリー社会の確立を目的として、タイをベースにアジア太平洋広域に活動を展開している。現在、アジア太平洋障害者センター(以下APCD)のスタッフは40名以上となっている。10年間のJICA技術協力プロジェクトを経て、現在ではJICAを含む様々な関連機関と連携活動を実施している。

要請概要

1) 要請理由・背景

APCDは、JICA技術協力プロジェクト終了後も、障害者、健常者への人材育成業務、各種研修及び出版や各種PR等社会への啓発活動をタイと他のアジア太平洋諸国で実施している。JICAベースの協力としては、2014年度に中途失聴・難聴者の自立を目指した第三国研修を実施し、2015年度は自閉症者を対象とした研修を実施する予定である。今次要請においてAPCDは、派遣されるボランティアが、これらの人材育成、啓発活動においてサービスの質が向上されるようボランティアが有する知識と経験の共有を望んでいる。特に、今後、サービスを強化すべき障害分野として視覚障害を含んでいる。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1 障害当事者に対する情報・知識提供の手立てとして、障害に優しく、かつアクセシブルな出版物づくり、PR活動を行う。
2 特に、視覚障害者の情報・アクセスを確保するような情報支援ツールを紹介したり、助言を行う。

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

コンピュータ、コピー機などの事務機器

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:情報・知識創造部
マネージャー(障害者)女性 タイ人
メディアエキスパート 女性 フィリピン人
デザイナー(障害者) 女性 タイ人

活動対象者:障害者、政府関係者等

5) 活動使用言語（ タイ語 ）
6) 生活使用言語（ タイ語 ）
7) 選考指定言語　英語（ﾚﾍﾞﾙ: A ）又は（ﾚﾍﾞﾙ: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ 大卒 ）（ ）理由：同僚が同等の資格を持つため
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：障害者福祉の経験が業務上必要
- 理由：
- 視覚障害者の情報へのアクセスを支援する機器のユーザーであること

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 22～38 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 2 月 6 日

要請番号(JL 018 - 15 - A - 21)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
タイ	(コード I102) 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 教育省

2)配属先名 (日本語) ナコーンパトム聾学校 ○NGO

3)任地(ナコーンパトム県ムアンナコーンパトム郡) JICA事務所の所在地(バンコク)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(車 で約 1.5 時間)

4)配属先の規模・事業内容
配属先は、全国に20校ある聾学校の一つである。1995年に聴力障害を持つ児童のための教育機関として設立された。タイ中央部及び西部出身の4歳～19歳までの284名(幼稚園部:10名、小学部:117名、中高校部:157名)が在籍している全寮制の学校である。職員数76人(うち聾唖者の教員7名含)。年間予算約2,000万円。職業訓練コースとして、これまでに、バンコク、チョンブリー県、ノンタブリー県、ロッブリー県、チェンマイ県の聾学校にJICAボランティアが派遣されており、同校への実績はないが、現校長・教頭ともに、他校でJVを受け入れた経験がある。

要請概要

1)要請理由・背景
同校では卒業後に就職ができるように職業訓練をすることに重点を置いている。タイ政府は、障害者の生活の質の向上に関する法律を定め、雇用主の障害者雇用の義務化したり、職業訓練、教育、情報支援といったサービスの向上を図っているが、現状では十分整っているとは言い難い。教員への人材育成だけでなく、個々の生徒が自立し、障害を克服するために必要な知識や技能が得られるよう同校からJVの要請が挙げられた。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
1 聴覚障害児(主に小学生)に対して、算数・図工・音楽・スポーツ・レクリエーション等を教える。
2 同僚教師に対して、聴覚障害児の教材作成のアイデアを提供する。
3 同僚教師や児童・生徒に対して、日本文化紹介や学校行事の企画運営に協力する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
プロジェクター、補聴器、コンピューター、畑、図書室、鏡、Touch Screen System

4)配属先同僚及び活動対象者
校長 男性 50代
教頭 女性 50代 (カウンターパート)
教員 女性 30代 (カウンターパート)

5)活動使用言語 (タイ語)
6)生活使用言語 (タイ語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: ■) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は( )
・性別( )理由:
・学歴(大卒)( )理由:同僚スタッフは大卒であるため
・経験(実務経験)(2年以上)理由:同僚教師に助言するため
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
◉可 ○否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(熱帯モンスーン気候) 気温(22～38 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 27年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 27 年 2 月 13 日

要請番号（ JL 024 - 15 - A - 26 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ラオス	（コード I102 ） 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　教育スポーツ省

2）配属先名（日本語）　ラオスパラリンピック委員会　○ NGO

3）任地（ビエンチャン市 ）　JICA事務所の所在地（ ビエンチャン市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4）配属先の規模・事業内容

配属先は教育スポーツ省の傘下にあり、障害者スポーツ全般の普及促進を担っている。アジア各地で開催されるパラリンピックに選手を積極的に派遣している、JICA草の根技協及び日本のNGOによる支援で、関係機関であるリハビリテーションセンター(保健省管轄)に車椅子普及支援、車いすバスケットの指導が行われた。また同センターの敷地内の障害者用体育館も日本の草の根無償資金協力によるものである。

要請概要

1）要請理由・背景

配属先は障害者スポーツの普及促進を目指しており、そのための指導者育成、インフラ整備が必要である。 スポーツを通じた障害者の社会参加を促進すること、また、多くの障害者にスポーツに参加する機会を提供すること、スポーツを通じて、障害者と健常者の交流を促進すること等を目指しているが、障害者スポーツを指導する人材がほとんど居ないのが現状である。現在、初代のSVが活動中で、バドミントン、シッティングバレーボール、ゴールボール、車椅子バスケットボール等を指導するとともに、障害者スポーツ紹介のために、各種スポーツの競技規則のラオス語への翻訳に取組んでいる。障害者スポーツを指導できる人材が育っている段階に至っておらず、後任の派遣により活動の継続性を担保したい。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

保健省リハビリテーションセンター内の障害者用体育館を拠点とし、障害者スポーツの普及を図る。
1.障害者スポーツの底辺拡大を目指し、障害者スポーツ普及計画策定について助言する
2.障害者にスポーツの楽しさを理解してもらうために積極的に機会を提供する
3.障害者スポーツの指導者育成を支援する
4.障害者と健常者がスポーツを通じて交流できる機会を提供する

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

障害者用体育館(バドミントン、シッティングバレーボール、車いすバスケットボール、ゴールボール等)
競技用車椅子

4）配属先同僚及び活動対象者

委員会メンバー(委員長含め、常勤は8名)
指導対象の競技者数:約30名（指導可能な種目次第）
視覚障害者、下肢障害者等

5）活動使用言語（ ラオス語 ）
6）生活使用言語（ ラオス語 ）
7）選考指定言語
英語　(ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 指導経験 ）（ 3年以上 ）理由：障害者スポーツの指導にあたるため
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 15～38 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　□ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ

長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 26 年 11 月 27 日

要請番号(JL 027 - 15 - A - 15)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
ベトナム	(コード I102) 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 労働・傷病兵・社会省

2)配属先名(日本語) ホーチミン障害児リハビリテーションセンター ○NGO

3)任地(ホーチミン市(中央直轄市)) JICA事務所の所在地(ハノイ市)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(飛行機 で約 2.0 時間)

4)配属先の規模・事業内容
同センターは労働・傷病兵・社会省直轄の施設として1978年に設立された。障害のある幼児・児童への治療とリハビリテーションを実施し、2歳から15歳(うち主な利用者は3歳～7歳)までの脳性麻痺や発達障害、自閉症、重複障害などの障害を持つ約120名(うち通所100名、入所20名)の幼児・児童が利用している。教員18名、保育士16名、理学療法士6名、医師4名を含め約70名の職員が勤務している。また他国のボランティアの短期受入やインターナショナルスクールからも1ヶ月に1度程度特別支援教育の支援が入る。

要請概要

1)要請理由・背景
同センターは障害の種類により、自閉症児グループ、脳性麻痺グループ、発達障害児グループの軽度から重度まで9グループに分かれており、JVは3歳から7歳の自閉症児20数名が所属する自閉症児グループへの配属となる。本グループは教員5名と準医師1名がおり、中には特別支援教育課程を学んだ教員もいるが、自閉症児に関する専門的な教育経験、個々の子どもにあったアプローチや教材についての知識・経験が不足しており、試行錯誤しながら対応している。年2度オランダ人専門家が2週間程指導を実施しているが、短期的な指導に留まっており、長期的に活動ができるJVへの要請があった。現在は軽い体操や音楽を聞かせること、発音練習などを実施している。センターとしては、さらに五感を伸ばす訓練や、行動を促進するような訓練を増やしたいという希望があり、特に自閉症児への知識・技術・経験のあるボランティアの協力が求められている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
赴任当初は語学力の向上、同僚との良好な関係構築、現状把握に重点を置く。その後以下の活動を配属先の一員として可能なものから実施する。
①主に3歳から7歳の自閉症児・発達障害を持つ児童に対し、五感を伸ばす遊びや訓練を実施する。
②同僚教員に自閉症児や発達障害児の指導方法を紹介する。
③センター内での活動全般に積極的に参加し、可能な範囲で支援する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
玩具、学用品

4)配属先同僚及び活動対象者
同僚教員(カウンターパート)
(女性5名/20代前半2名、20代後半3名/短大卒1名、大卒4名/特別支援教育専攻者1名/経験1～3年)
主な対象者:3歳から7歳の自閉症児・発達障害児

5)活動使用言語 (ベトナム語)
6)生活使用言語 (ベトナム語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: ■) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は ( )
・性別 ( )理由:
・学歴 ( ) ( )理由:
・経験 ( ) ( )理由:
・ 自閉症療育に携わった経験3年以上 理由:主な対象が自閉症児のため
・

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
◉可 ○否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(サバナ気候) 気温(20～35 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA 長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 12 月 9 日

要請番号(JL 027 - 15- A - 16)			区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国 名	職 種					
ベトナム	(コード I102) 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	28 / 1 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 労働・傷病兵・社会省

2)配属先名 (日本語) トゥイアン障害児リハビリテーションセンター ○ NGO

3)任地(ハノイ市(バビ郡)) JICA事務所の所在地(ハノイ市)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 1.5 時間)

4)配属先の規模・事業内容
同センターは労働・傷病兵・社会省直轄の施設として1976年に設立された。総職員数82名(医師5名、看護師6名、理学療法士20名、技師6名、教師19名を含む)。革命烈士や傷病兵の子供で障害のある児童や北部の貧困家庭の障害児に対し、身体機能の検査や向上を図るためのリハビリテーション訓練、特別支援教育や職業訓練といった自立活動の指導を実施している。センター全体の主な利用者年齢は6～16歳。約200名の利用者のうち7～8割が入所、残りの児童は通所している。国内外の援助団体からの支援や、同国の大学生や他国からのボランティア短期受け入れも実施している。2014年から初代JVが活動中。

要請概要

1)要請理由・背景
同センターは医学検査部、リハビリテーション部、特別支援教育部、職業教育部で組織されており、JVが配属する特別支援教育部には約90名の児童が自閉症クラス3つ、聴覚障害クラス4つ、重度知的障害クラス4つの他、個別指導クラスに分かれ自立活動の指導を受けている。同僚教員は大卒者も多く知識はあるが、実践的な経験が不足している面もあり、JVから学ぶ意欲が高い。センターは特に自閉症児への療育を強化しようとしており、約30名在籍する3～12歳の自閉症児を主な対象とし、同僚教員へ自閉症児の指導技法を紹介できる人材を求めている。現在活動中のJVは、教材作成や教室環境の整備、同僚への指導技法の紹介、リハビリテーション部や職業教育部との連携を計画中である。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
赴任当初は語学力の向上、同僚との良好な関係構築、現状把握に重点を置く。その後以下の活動を配属先の一員として同僚とともに実施する。
①障害児教育に関する知識や指導技法を紹介し、同僚の知識・技術の向上を図る。
②主に自閉症児を対象に、自立活動、日常生活や遊びの指導に関わり、同僚の活動を支援する。
③センター内でのイベント行事やスポーツなどの活動全般に積極的に参加し可能な範囲で支援する。
※新規に作業療法士のJVも要請中であり、必要に応じ連携した活動も期待される。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
教室、農場、各種遊具

4)配属先同僚及び活動対象者
・特殊支援教育部:
部長(40代男性)、同僚(カウンターパート)11名(男性1名、女性10名/専門卒3名、短大卒1名、大卒6名、院卒1名/経験年数2～3年5名、4～6年3名、10年2名、30年1名)
・主な対象者は3～12歳の自閉症児約30名

5)活動使用言語 (ベトナム語)
6)生活使用言語 (ベトナム語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: ■) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は( )
・性別( )理由:
・学歴(大卒)( )理由:教員への指導も含まれるため
・経験( )( )理由:
・ 自閉症療育に携わった経験3年以上 理由:同僚教員へ指導するため
・

活動上の単車/自転車の必要性
○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度
◉ 可 ○ 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(温暖冬季少雨気候) 気温(10～35 ℃位) 電気(◉ 安定 ○不安定 ○なし)
通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(◉ 安定 ○不安定 ○なし)

特記事項
施設内の住居が提供される

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 6 日

要請番号（ JL 027 - 15 - A - 30 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ベトナム	（コード I102 ） 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　ベンチェ省人民委員会

2）配属先名（日本語）　ベンチェ省障害児学校　○ NGO

3）任地（ ベンチェ省ベンチェ市 ）　JICA事務所の所在地（ ハノイ市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 2 時間）

4）配属先の規模・事業内容

同校は、ベトナム南部メコンデルタ地帯の巨大な三角洲から構成されている省に位置し、設立は1991年、調査時点の教員36名(常勤24名、非常勤12名)、児童・生徒196名(発達障害98名、聴覚障害65名、視覚障害15名、運動障害18名)、うち約130名は施設内の入寮児である。クラスは小学校レベル18クラス、中学・高校レベル各3クラスで、児童・生徒の年齢は6～24歳。敷地内に建設中の新校舎が間もなく完成予定であり、2014年中にはほとんどの教室が新校舎に移転予定である。日本のNGO「ベトナムの子ども達を支援する会」が、同校設立時の建設資金や備品購入を支援、その後も各種支援が実施されている。

要請概要

1）要請理由・背景

現在同校の美術教育は、非常勤の教員が、小学校レベルの児童に対し週に4クラスを、クレヨン画を中心に指導中である。また、中学・高校レベルの生徒への美術教育は実施されていない。なお、途上国の美術教育における一般的な傾向としては「模倣」することに重点が置かれている場合が多い。そのような状況下、ボランティアには、まず小学校レベルの児童に対し、「楽しい図工」、「自己表現手法としての図工」教育 の導入を、各児童の発達段階や障害の内容に応じて支援することが求められている。そのため、ボランティアには単に美術の専門知識、技術だけではなく、特別支援教育における図工・美術教育の知識、技術が必要である。なお、長期的には障害児の自立支援を目指した職業教育としての美術教育も期待されているが、まずは「自己表現手法」としての、子供たちにとって「楽しい図工・美術」教育を紹介することが配属先から求められている。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

赴任当初は語学力の向上、同僚や子供との関係構築、現状把握に重点を置き、その後実施可能なものから支援する。
①小学校レベルの児童を対象に、発達段階や障害の内容に応じた図工教育を実施する。
②中・高校レベルへの美術教育について配属先と協議し、可能であれば試行的な導入を行う。
③時間的余裕があれば、可能な範囲で、音楽や体育といった実技・実習系科目の同僚の活動を支援する。
④障害児教育全般に関し、同僚の知識、技術の向上をめざし、より良い障害児教育のあり方を共に考える。
*基本的時間割として、7:00～11:00は教科学習、13:30～16:30は職業訓練、美術等の実習科目に割り当てられている。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、クレヨン、紙

4）配属先同僚及び活動対象者

校長(女性/40代/修士)
副校長(女性/50代/師範大学卒)
小学部門長(女性/50代/師範短大卒)
美術担当教員(男性/20代/非常勤/経験5年)
その他同僚教員(常勤23名、非常勤11名)

5）活動使用言語（ ベトナム語 ）
6）生活使用言語（ ベトナム語 ）
7）選考指定言語
英語　(ﾚﾍﾞﾙ: B)
又は　(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ 特別支援学校教諭または養護学校教諭 ）
  又は（ 教員（美術） ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：応用力が必要なため
- 美術分野の障害児指導経験　理由：美術の指導が必要なため
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　春募集時のみ適用　○ 否　SVは通年対象外

地域概況

気候（サバナ気候 ）気温（ 20～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　□ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

ホーチミンの空港から任地まで、さらにバスで約3時間必要。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 12 月 23 日

要請番号（ JL 045 - 15 - A - 13 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
モンゴル	（コード I102 ）障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　人間開発・社会福祉省

2）配属先名（日本語）　フブスグル県障害児親の会　◉ NGO

3）任地（ フブスグル県ムルン ）　JICA事務所の所在地（ ウランバートル ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 1.5 時間）

4）配属先の規模・事業内容

2004年発足の同NGOは国内に8支部、会員数4,700名程度を持つ。同県では2007年から活動開始。子供の権利保護を担う同県子供・家族開発課内でリハビリ室と特別支援教室を各1室ずつ有し、6～14才の約50人の障害児をケアしている。同県には特別支援学校や学級がなく毎日25人の障害児が同会で1日おきに基礎教育を学び、小中学校への入学をめざしている。年間予算は約120万円。教師2名、リハビリ担当医師1名、親の会管理部8名のほか、障害児の保護者が会員。国連児童基金(UNICEF)が障害児の昼食代を、国際NGO「World Vision」が運営費の一部を支援している。ボランティア受入れ経験なし。

要請概要

1）要請理由・背景

2012～2016年までUNICEFの「子供に優しい地域プロジェクト」のモデル県として指定された同県だが、特別支援学校、学級が存在せず、障害児が社会から取り残されてしまう傾向にある。県内には約1,800人の障害児がおり、同NGOはその中でも通学ができる障害児を対象に基礎教育を教え、小中学校への入学の支援をしているが、普通学校の教師からの理解が乏しく、毎年2～6人程しか入学が叶わない。そのため、地域ぐるみでの障害児・者に対する理解促進、障害児・者の社会参画を目標とした自立活動や基礎教育の指導法、障害に合った学習教材作成やリハビリへの適切な助言が求められJVの要請が挙がった。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

① C/Pとともに特別支援クラスを受け持ち、障害に合わせた教育指導法について助言する。
② 障害児の自立活動を指導し、保護者にも家庭での自立活動や障害児ケアについて助言する。
③ 保護者や障害児にスポーツや図工、音楽等の情操教育を取り入れたアクティビティを紹介する。
④ 同会のメンバーとともに、地域住民や学校に対し、障害児ケアや教育への理解を促進する。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

プリンタ、プロジェクタ、スクリーン、黒板

4）配属先同僚及び活動対象者

C/P:特別学級教師2名(小学校教諭経験2年/47年、女性、20代/60代)
リハビリ担当者1名(医療従事歴45年、女性、60代)
子供・家族開発課の社会サービス担当者1名(実務経験2年、女性、20代)

活動対象者:障害児及び保護者、地域の病院、学校関係者

5）活動使用言語（ モンゴル語 ）

6）生活使用言語（ モンゴル語 ）

7）選考指定言語　英語（レベル: ■ ）　又は（レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ ）（ ）理由：
- 特別支援教育の経験3年以上　理由：経験に基づいた指導が必要
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（ステップ気候 ）　気温（ -30～30 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

小学校教諭免許のみの場合、特別支援学級での指導経験が望ましい。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 12 月 23 日

要請番号（ JL 045 - 15 - A - 14 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
モンゴル	（コード I102 ）障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　人間開発・社会福祉省

2）配属先名（日本語）　ウランバートル障害児親の会　◉ NGO

3）任地（ ウランバートル ）　JICA事務所の所在地（ ウランバートル ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4）配属先の規模・事業内容

障害児の保護者約4,700名を会員に持つNGOで2000年発足。国内にある8支部の中枢的役割を担っており、保護者10名がスタッフとして障害児のリハビリや小中学校への入学に向けた活動を行っている。その他、自立活動の促進や保護者に対して障害児ケアへの助言、地域における理解促進活動も実施している。年間予算は365万円程度。年に一度、ドイツ人医師が診断やリハビリ指導に訪れており、2014年現在、フランス人ソーシャルワーカーがボランティアで活動中。近年、JICA「世界の笑顔のためにプログラム」で車椅子等が寄贈された。

要請概要

1）要請理由・背景

首都ウランバートルには特別支援学級を併設する公立・私立校が複数あるが、インフラ整備や障害者に優しい街づくりが進んでおらず、基礎教育を受ける事のできない障害児が多い。また、同国の特別支援教育分野における人材育成は著しく遅れており、担当者が独学で指導法を習得するケースが多い。同会の担当者も専門が幼児教育のため、JICAボランティアから障害児ケアに関しての助言が求められ本要請に至った。同会では2014年11月より訪問療育をスタートし、重度の障害児とその保護者に対する家庭での療育プログラムを開始しており、その際のリハビリや基礎教育、自立活動に関する助言もJVに求められている。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

① 障害児に自立活動を支援し、保護者には自立活動に必要な教材作りを普及する。
② 保護者や障害児にスポーツや図工、音楽等の情操教育を取り入れたアクティビティを紹介する。
③ C/Pとともに重度障害児の訪問療育を実施し、リハビリ、自立活動、基礎教育等を行う。
④ 同会のメンバーとともに、地域住民や学校に対し、障害児ケアや教育への理解を促進する。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

プリンタ

4）配属先同僚及び活動対象者

C/P:幼稚園教諭1名(女性、20代、教諭経験2年)
同会会長1名(女性、40代、実務経験10年)

活動対象者:障害児20名(3～18才)、保護者会員100名程度
地域の関係機関、学校関係者

5）活動使用言語（ モンゴル語 ）
6）生活使用言語（ モンゴル語 ）
7）選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ ）（ ）理由：
- 特別支援教育の経験3年以上　理由：経験に基づいた指導が必要
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（ステップ気候 ）気温（ -30～30 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　□ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

知的障害、聴覚障害、言語障害、脳性マヒ、重複障害の障害児を主に対象とする。小学校教諭免許のみの場合、特別支援学級での指導経験が望ましい。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA ジャイカ　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 27 年 2 月 6 日

要請番号（ JL 048 - 15 - A - 25 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ブータン	（コード I102 ） 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要・

1) 受入省庁名（日本語）　教育省

2) 配属先名（日本語）　ミュンセリン盲学校　○ NGO

3) 任地（ タシガン県カリン ）　JICA事務所の所在地（ ティンプー市 ）
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で約 21.0 時間）

4) 配属先の規模・事業内容
1973年創立の国内唯一の盲学校。数度の改名を経て2013年にミュンセリン盲学校(Muenselling Institute)となる。Pre Primary(幼稚園年長相当;以下PPと略)からClass6(小学6年生相当)迄の弱視若しくは全盲の幼児・児童が通う。各学年(クラス)は1名～10名弱。就学時の年齢が一定でないため年齢は7歳～20代前半と幅広い。
教員数約12名、サポートスタッフ約12名、幼児児童数約40名(2015年度)。
卒業生は隣接するカリン小中学校に編入し、Class7及びClass8は同校に在籍する。

要請概要

1) 要請理由・背景
当国では2009年に体育が正規科目として導入されたが、新カリキュラムも現在策定中で、当教科を教えることの出来る教員も殆んどいない状況である。また、特別支援教育に関してもその養成課程がないため、教員は特別支援校に異動になった後に短期間のセミナーを受けたのみである。
当校には体育を教えることの出来る教員もおらず、幼児・児童は身体を動かす機会も少ないため、弱視・全盲の幼児児童に適切な運動の機会を与えるため、本要請に至った。

尚、上述のカリン小中学校で平成27年度1次隊の障害児・者支援(体育)の隊員が活動予定。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）
PPからClass6迄の弱視・全盲の幼児・児童を対象に、用具が十分ではない中で工夫した体育授業を行う

尚、体育授業の実施に当たっては、以下のことが期待されている
・各種の運動をとおし、幼児・児童の健康の保持増進と体力の向上を図る
・各種の運動をとおし、幼児・児童が体をうごかすことの楽しさや喜びを味わえるような指導を行う
・年齢層が広いため、各発達段階に合った運動内容を行う
・卒業後も体を動かすことが習慣化するように、それを念頭に置いた指導を行う

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
トレッドミル/エアロバイク/クロストレーナー/腹筋台 等

4) 配属先同僚及び活動対象者
[同僚]
・校長
・同僚教員:約12名（体育や特別支援教育に関する専門教育を受けた教員はいない）
・サポートスタッフ(事務/運転手/司書等):約12名
[活動対象者]
・幼児・児童(弱視・全盲):約40名

5) 活動使用言語（ 英語 ）
6) 生活使用言語（ 英語 ）
7) 選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）
・免許/資格（ 特別支援学校教諭または養護学校教諭 ）
又は（ 特別支援学校・学級等での体育指導 ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 教員経験 ）（ 2年以上 ）理由：即戦力が求められるため
・ 理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性
○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度
○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候（温暖冬季少雨気候 ）気温（ 0～20 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項
首都より車で2日掛かるタシガン県の中心部より更に車で2時間かかる僻地に位置する。市街地より遠く不便な立地であるため、心身ともに健康な人材が望まれる。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 6 日

要請番号（ JL 048 - 15 - A - 26 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ブータン	（コード I102 ） 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 3 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　教育省

2）配属先名（日本語）　ドゥゲル小中学校附属聾学校　○ NGO

3）任地（ パロ県ドゥゲル ）　JICA事務所の所在地（ ティンプー市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で約 1.5 時間）

4）配属先の規模・事業内容

2003年設立の国内唯一の聾学校。Preparatory(幼稚園年中相当;以下Pと略)からClass8(中学2年生相当)の児童生徒が通う。授業はゾンカ手話により行われている。教員数16名、ｽﾀｯﾌ9名、生徒数79名(2014年度)。
現在、平成25年度1次隊の青少年活動(美術)隊員が活動中(～2015年7月)。

要請概要

1）要請理由・背景

当国における美術教育は2014年度に正式科目として導入された。
同校では聾の幼児・児童に美術(図画・工作)教育を取り入れているが、指導できる教員がおらず、継続したボランティアの要請に至った。

2014年度初めて卒業生を輩出するが、その卒業生の進学・就職状況は現在のところ大きな不安要素となっている。そこで、美術が得意な生徒にクラブ活動等を通して美術(図画・工作)の知識・技術を伝えることにより、その対象生徒が卒業後同校にて美術講師として勤務できる様な知識・技術を身につける、その他進学や就職のための技術を学ぶなど、職業訓練としての要素も期待されている。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1.生徒支援
・聾の幼児・児童に対し、限られた画具画材の中で美術(図画・工作)の授業を行う(対象学年:P～Class6)
・美術(図画・工作)を得意とする児童・生徒を対象としたクラブ活動の指導を行う(対象学年:Class3～Class8)

2.関係者支援(校長の要望や時間割の都合による)
・同僚教員に対し、美術(図画・工作)の授業に関する助言を行う

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、机、椅子、プロジェクター、スクリーン、画材画具一式(絵具/筆/模造紙/色鉛筆/はさみ/のり/クレヨン 等)

4）配属先同僚及び活動対象者

[同僚]
・校長:男性、50代
・教員:16名
・ｽﾀｯﾌ:9名
[活動対象者]
・幼児/児童/生徒:79名

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ 英語 ）
7）選考指定言語　英語（ﾚﾍﾞﾙ: ■ ）又は（ﾚﾍﾞﾙ: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ 特別支援学校教諭または養護学校教諭 ）
　又は（ 指導経験 ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ ）（ ）理由：
・　理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（温暖冬季少雨気候 ）気温（ -5～30 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　□ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

2～3年程度の教員経験/指導経験のある人材が望ましい

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 6 日

要請番号（ JL 048 － 15－ A － 27 ）			区 分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国 名	職 種					
ブータン	（コード I102 ）障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語） 教育省

2）配属先名（日本語） チャンガンカ小中学校 ○ NGO

3）任地（ティンプー県ティンプー市 ） JICA事務所の所在地（ ティンプー市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で約 0.3 時間）

4）配属先の規模・事業内容

ティンプー市内にある児童生徒数1167名、教員数57名、職員数13名の公立小中学校。PrePrimary(幼稚園年長生相当)からClass10(中学3年生相当)の児童生徒が通う。その中で、特別支援が必要な児童生徒は60名程在籍している。児童生徒の障害は、発達障害、脳性まひ、知的障害、運動障害等多岐にわたる。
言語療法、心理学を専門とするオーストラリア人ボランティア2名が活動中(～2015年12月)。

要請概要

1）要請理由・背景

現在ブータンには特別支援教育の教員養成のための制度は存在しない。
当配属先においては、特別支援が必要な児童生徒は通常のクラスに所属し、特定の教科(ゾンカ、算数、英語)の時間に取り出し授業を行っている。特別クラスを担当するのはSEN Teamと呼ばれる特別支援教育班の教員だが、彼女らの殆んどは当班への配置後、短期的なセミナーを受けたのみである。加えて、当国における体育教育はいまだ十分に普及しておらず、国内で体育を教えることのできる教員の数は限られている。
このような現状から、特別支援教育の知識、経験を持つ人材が児童生徒へ対して体育教育を行うとともに、当班教員に対しても助言をすることが望まれ、本要請に至った。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1.生徒支援
・個々人の障害や能力に合わせた指導案の作成、それを活用した体育授業の実施、状況観察を行う
（場合によってはその他教科も担当する可能性も有）
・対象の児童生徒が今後の社会生活においても健康的な生活を維持していけるよう指導を行う
2.着任後に配属先の状況が整えば、以下の活動も期待される
・SEN Teamの教員に対し助言を行う。また、SEN Teamの教員を対象にした体育授業等に関する勉強会を開催する
・教育省担当課に対し、適宜活動報告や提案等を行う

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

特別支援教室(自閉症児童生徒用) 1室
取り出し授業用教室 3室

4）配属先同僚及び活動対象者

[同僚]
SEN Team 8名(30代-40代、全員女性、全員大卒)
※SEN Teamの殆んどの教員は通常授業も担当
※内2名は当校の特別支援教育コーディネーター役
[活動対象者]
特別支援が必要な児童生徒 約60名

5）活動使用言語 （ 英語 ）
6）生活使用言語 （ 英語 ）
7）選考指定言語 英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■) 又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 教員経験 ）（ 3年以上 ）理由：経験に基づく助言が必要
・ 特別支援学級等での体育指導の経験 理由：経験に基づく助言が必要
・

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可 ◉ 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（温暖冬季少雨気候 ） 気温（ -5～ 30 ℃位） 電気（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）
通信（ ☒ インターネット可 ☒ 電話可 □ 無線 ） 水道（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 27年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 10 日

要請番号（ JL 051 - 15 - A - 16 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
バングラデシュ	（コード I102 ）障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　首相府 NGO局

2）配属先名（日本語）　CRP (NGO)　◉NGO

3）任地（ダッカ県サバール郡 ）　JICA事務所の所在地（ 北ダッカ市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 1 時間）

4）配属先の規模・事業内容

同NGOは1979年にイギリス人のボランティアが立ち上げた団体で、現在スタッフ総数は600名を超え、障害者支援を目的としたNGOとしてはバングラデシュ最大級である。本部には小学校、専門病院、職業訓練施設、作業療法士・言語聴覚士養成の学校、義肢装具、車椅子のワークショップ(製作所)が併設され、障害者支援、人権問題、貧困問題等に取り組んでおり、海外からの短期ボランティアも活動している。

要請概要

1）要請理由・背景

併設校(小学校)では、軽度の障害児と健常児が同じクラスで授業を受けており、教師、付属病院の医療従事者、付属養成校のインターン等のスタッフが子供の指導に当たっている。また、軽度の障害児を集めて情操教育(歌、ゲーム等)を行う目的のグループセラピーを行ったり、重度の障害児については専門のスタッフが個別に指導を行うなどしている。しかし、バングラデシュの障害者教育のレベルは十分とはいえない。また、施設の取り組みとして、既にあるハンディクラフト部門を障害者のトレーニングに利用するプランや、コンポスト技術を利用して生ゴミの再利用を行う予定。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

ボランティアは併設校及び本部施設で以下の活動を行う。併設校には306名が在籍し、70名が特別支援学級(知的障害等)、30名が軽度の身体障害を伴う生徒で、後者は健常児と同クラスで授業を受ける。
・健常児と障害児の混合学級および、特別支援学級のカリキュラムの作成支援を行う。
・併設校(小学校:William and Marie Taylor school)で行われている情操教育(歌、ゲーム等)を目的としたグループセラピーのサポートを行う。
・可能であれば、ハンディクラフト部門(APT Unit (APT=Appropriate Paper-based Technology))で行われている紙と糊を使った作品(鉛筆立て、本立て、小物入れ、リハビリ用アイテム等)作りの作業支援を行う。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし

4）配属先同僚及び活動対象者

(学校)コーディネーター 男1名(カウンターパート)
理学療法士 女1名、作業療法士 女1名
教師 男1名、女6名
(クラフト部門)代表 女1名、技術者 1名、スタッフ1名

5）活動使用言語（ ベンガル語 ）
6）生活使用言語（ ベンガル語 ）
7）選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: B)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ ）（ ）理由：
・ 特別支援学校、小学校での実務経験　理由：活動に必要
・

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可 ◉否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 10～40 ℃位）　電気（○安定 ◉不安定 ○なし）
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ）　水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 18 日

要請番号（ JL 054 - 15 - A - 06 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
インド	（コード I102 ） 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　人的資源開発省

2) 配属先名（日本語）　ジーバン・ジョティー　◉ NGO

3) 任地（ ウッタル・プラディシュ州サールナート ）　JICA事務所の所在地（ デリー ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 1.5 時間）

4) 配属先の規模・事業内容

ミッションが1975年に設立した当初は、視覚障害を持つ幼稚園から小学生までの女児を対象とした全寮制学校教育機関であった。貧しい家庭の多い地域で、妊婦の栄養不足や衛生・医療事情の悪さから障害を持った子供の比率が高い。配属先は、障害児に対する施設内での学校教育や職業訓練の実施、点字教材作成、周辺村にいる障害児・者の自立支援などを行っている。これまで視覚障害を持つ女児の支援に力を入れて来たが、昨年、視覚障害以外の障害を持つ人々(男女向け)のための施設も完成した。運営資金は国内外からの寄付金と施設外部から来る通学生の学費によって賄われている。短期の外国人ボランティア受入れ実績がある。

要請概要

1) 要請理由・背景

2011年から中学・高校レベルの教育も開始し、寄宿している視覚障害児に加え、外部から健常児を通学生として受入れ、統合教育を行っている(通学生には授業料を課し、それを施設運営資金に充てている)。一部の高校生には国の統一試験を受験させ、大学進学を目指すための支援も行っている。他に、視覚障害以外の障害を持つ男女にデイケアサービスや職業訓練を提供しており、日中、社会で行き場のない障害児・者のために、心安らげる場と自活のための訓練を提供している。配属先はこれら社会的弱者、特に寮で暮らす視覚障害児たちの生活を充実させるための情操教育やレクリエーション活動の提供を望んでいるが、十分な知識と技術を持ち合わせた教師がおらず、また、運営上新たに教師を確保することが難しく、JVを要請するに至った。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1. 学校の休み時間や放課後、休日に、課外活動としてスポーツ・音楽・ダンスなど、JVの特技を活かした活動や、簡単な日本語や日本文化を教え、子供たちの心身の育成を図る。特に寮で暮らす子供たちの生活がより充実したものとなるよう支援する。
2. 学校において、チームティーチングを実施し、子供たちの理解の深化を補助する。
3. 校内の環境整備のためにJV自身ができることを行う(点字教材の作成補助など)。

※なお、実際の活動内容は派遣後に配属先をよく観察し、配属先と活動計画を練ること。

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

黒板、チョーク、ボードゲーム、キーボード、ギター、インド伝統楽器、絵画道具など

4) 配属先同僚及び活動対象者

【同僚】教師:特別支援クラスと統合教育クラスと合わせて約40名(教員免許保持、20～50歳代の男女)
カウンターパートは30歳代の女性英語教師となる予定
【指導対象】
特別支援クラス:視覚障害を持つ幼稚園児から高校生(女性)約170名
統合教育クラス:幼稚園児から高校生(女性)約820名

5) 活動使用言語（ 英語 ）
6) 生活使用言語（ その他 ）
7) 選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: B)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ 女性 ）理由：女児中心の施設であるため
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ ）（ ）理由：
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（サバナ気候 ）気温（ 5～45 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　□ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

生活使用言語はヒンディー語であるため、派遣後の現地語学訓練はヒンディー語が実施される。

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ

長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 26 年 2 月 12 日

要請番号(JL 066 - 15 - A - 09)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
スリランカ	(コード I102) 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 教育省

2)配属先名 (日本語) アッカライパットゥ教育事務所 ○NGO

3)任地(アンパーラ県アッカライパットゥ) JICA事務所の所在地(コロンボ)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 10 時間)

4)配属先の規模・事業内容
教育省は特殊教育推進のため全国の各教育区に特別支援学級の設立を推奨し、障害児への教育機会の提供に取り組んでいる。こうした国の方針を受け、配属先では地域内の3つの教育区の各1校ずつに特別支援学級を置き、それぞれ16名～18名の障害児を受け入れている。特別支援学級担当教員は各学校に1～3名配置されており、加えてNGOが給料を払うアシスタントの学習指導補助員が各学校に2～3名配置されている。年間予算は約800万円。

要請概要

1)要請理由・背景
配属先が管轄している学校数は63校であり、そのうち特別支援学級を設置している学校が3校ある。それぞれの学校に特別支援教育資格保持者が正規教員として配置されているが、特別支援教育の資格を持つ教員間でも、障害児・者に対する教室運営の能力にはバラつきがあり、継続的な技術補完が望まれている。現在は正規教員がアシスタントの学習指導補助員複数名と共に教室運営を行っている状況ではあるが、安定的な教室運営支援を目的とし、同僚教諭やボランティア教諭の能力向上を支援するため、現在初代隊員が巡回しながら特別支援学級の運営課題を抽出、課題解決に向けた対策の提案、教育事務所との情報共有、教員の実地訓練や研修の実施支援、といった活動を行っている。今後の支援継続のために本要請が提出された。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
地域内にある3校の特別支援学級を巡回しながら以下の業務を行う。
・特別支援学級の運営支援。
・同僚教諭やボランティア教諭に対し、教材等にかかる新しいアイディアを提供。
・同僚教諭やボランティア教諭の能力向上支援。
・配属先への定期的な進捗状況報告の実施。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
配属先事務所に、机、椅子、パソコン、プリンタ等事務用品がある。

4)配属先同僚及び活動対象者
配属先責任者:男性、大卒、50代、教育事務所長
特殊教育主事:男性、大卒、40代(カウンターパート)
アシスタントの学習指導補助員:女性、大卒、20～40代、10名
特別支援学級に通う障害児

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (その他)
7)選考指定言語 英語 (レベル: ■) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は( )
・性別( )理由:
・学歴( )( )理由:
・経験(実務経験)(3年以上)理由:活動に必要なため。
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
○可 ◉否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候(サバナ気候) 気温(25～36 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

住居はホームステイ、またはアネックス(離れ)になる可能性が高い。本邦語学訓練は英語であるが、実際の活動使用言語はタミル語。赴任後、約2ヶ月のタミル語現地語学訓練を受ける。

平成 27年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 26 年 12 月 20 日

要請番号（ JL 136 － 15－ A － 02 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
バヌアツ	（コード I102 ）障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 法務省

2)配属先名（日本語） バヌアツ障害者支援協会　◉ NGO

3)任地（シェファ州エファテ島ポートビラ市 ） JICA事務所の所在地（ ポートビラ ）
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で約 0.2 時間）

4)配属先の規模・事業内容
1986年から活動を開始し、30年近くに渡って地道に障害者支援を継続してきたローカルNGOである。ポートビラ市内に事務所兼センターを持つ。主な事業は、①障害児教育プログラム(子どもクラス)、②地域リハビリテーションプログラムである。年間予算約100万円(施設増設用のプロジェクト費、寄付など除く運営費)。スタッフのほか、多くの国内外のボランティアが関わる。近年、各国開発パートナー、民間企業等からの支援を受けながら、施設の整備・拡張、プログラムの充実が進んでいる。
団体HP ⇒http://vanuatusocietyfordisabledpeople.org/

要請概要

1)要請理由・背景
バヌアツ国内には、特別支援教育を学ぶ教育機関がないため、専門教育を受けた配属先スタッフはいない。しかし、スタッフたちは長年にわたり地道に活動を続けてきた。近年、設備の拡充と同時にプログラムの充実が進んでいる。2012年には週1日～2日程度であった子どもクラスが、2014年には週4日に拡大し、参加児童も大幅に増えている。また、2015年からは地域リハビリテーションプログラムを充実させていく予定である。地域・保護者の理解を進め、少しでも多くの子供たちに教育の機会を提供するとともに、そのクラスを充実させていくことを目指している。センタースタッフおよびフィールドオフィサーと共にプログラムを実施する中で、スタッフに特別支援教育の実践と知識を示せる人材が求められ本要請となった。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）
1.センターにて実施されている、子どもクラスの実施・運営に協力する。(参加児童数は平均10～25名。週4日、半日。年齢0歳～10歳程度。中心は4歳～。知的・身体的軽度の子供が中心)
2.歌、遊び、図画工作、裏庭での軽い運動プログラム。そ質の向上を支援するとともに、発達に合わせて、ことば、数、計算など教科的プログラムも企画し、取り入れる。
3.地域リハビリテーションプログラムに同行し、農村部においても子供向けクラスを企画・実施する。
4.実践をとおして、同僚スタッフ/フィールドオフィサーに、特別支援教育の知識とスキルを共有する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
子どもクラス用に多くの遊具(大型マットや室内用サイズのトランポリンも含む)、絵本、各種文房具がある(支援団体や、ツーリストなどからの寄附で成り立っている)。

4)配属先同僚及び活動対象者
代表:50代男性 /会計:50代男性
看護師などセンタースタッフ6名。
フィールド・オフィサー2名(20代～40代)

センタースタッフのうち、地域リハビリテーション(CBR)についてのコースやトレーニングを受けたものがいるが、特別支援教育について教育を受けたスタッフはいない。

5)活動使用言語
（ 英語 ）
6)生活使用言語
（ その他 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）
・免許/資格（ 特別支援学校教諭または養護学校教諭 ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：業務上必要なため
・ 理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性
○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度
○ 可　春募集時のみ適用
◉ 否　SVは通年対象外

地域概況
気候（熱帯雨林気候 ） 気温（ 20～30 ℃位）
通信（ ☒ インターネット可 ☒ 電話可 □ 無線 ）
電気（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）
水道（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 27 年度、春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 13 日

要請番号（ JL 139 - 15 - A - 07 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
サモア	（コード I102 ）障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語） 財務省

2）配属先名（日本語） スペシャル オリンピックス サモア ◉ NGO

3）任地（ ウポル島アピア市 ） JICA事務所の所在地（ アピア ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 0.1 時間）

4）配属先の規模・事業内容

知的障害のある人々にスポーツを通じて社会参加と自立を支援するNGO。運営面では教育スポーツ文化省、女性コミュニティ社会開発省の指導を得ている。サモア国立体育館の一角に事務所を持ち代表他6名のスタッフで運営している。サモア国内の障害者施設・教育機関と連携し、定期的に競技会を開催しスポーツの普及に努めている。選抜されて選手の中には米国などで開催された国際大会にも参加した者もいる。

要請概要

1）要請理由・背景

スポーツ体験を通じた健康の改善を目的として配属先ではHealthy Athlete プログラムを実施している。
・スペシャルオリンピック競技者への健康増進アドバイス
・医療関係者および学生に対する知的障害者スポーツの重要性に関する教育
・競技者の健康状態に関するデータの収集と分析
医療従事者との連絡を密にし、これらの目的を遂行するために「ヘルスアドバイザー」分野へのボランティアの要請が上がった。スペシャルオリンピックスの公認種目32のうち、サモアでは陸上競技(短距離走)を中心に、サッカー、クリケット、バボッチャの4種を実施している。今後、バレーボール、ネットボール、重量挙げなどにも種目を広げたい。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1.スタッフや医療関係者の協力のもと知的障害のある各競技者(運動機能障害を伴う場合が多い)に合った競技種目を選定するためのアドバイスを行う。
2.選定した競技種目に必要とする運動機能を回復させるためのリハビリテーションを指導する。
3.競技者の家族やコミュニティの支援ボランティアに対して、競技者にとってのより良い健康な生活について指導する。
4.スタッフ、競技者家族、支援ボランティアに対し、どのような際に競技者が医療面での専門的な支援を必要とするかを指導する。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

執務スペース、国立体育館。機材については無。

4）配属先同僚及び活動対象者

代表:女性30代
スタッフ:男性20代(専門学校卒(栄養学コース))
非常勤ボランティア:3名程度

5）活動使用言語（ 英語 ）

6）生活使用言語（ その他 ）

7）選考指定言語 英語 （ﾚﾍﾞﾙ: [redacted]） 又は （ﾚﾍﾞﾙ: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ ） 又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：障害者スポーツの指導を行うため
・ 理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可 ◉ 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯海洋性 ） 気温（ 20～35 ℃位） 電気（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）
通信（ ☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線 ） 水道（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 27年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 13 日

要請番号（ JL 139 － 15 － A － 08 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 3 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から
サモア	（コード I102 ）障害児・者支援					

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　財務省

2)配属先名（日本語）　フィア マラマラマ　◉NGO

3)任地（ ウポル島 アラフア ）　JICA事務所の所在地（ アピア ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 0.5 時間）

4)配属先の規模・事業内容

1979年創立の知的障害者を対象とした学校(NGO)。基礎教育・情操教育・日常生活指導を目的として運営され、現在、6-24歳までの知的障害者(ダウン症・学習障害など)約40名が通っている。現地職員5名が従事している。米国ピースコーと豪州からのボランティア受入れ実績あり。豪州からは資金的な援助も得ている。2012年には、日本政府の草の根無償資金協力(日本大使館案件)支援により校舎を一部増改築。

要請概要

1)要請理由・背景

サモアには特別支援教育教員養成校がない中、唯一、豪州の援助であるオーストラリア・パシフック職業訓練校(APTC)にて、特別支援教育の修了書を得た教師2名が配置されており、他の職員はオンザジョブトレーニング(職場内訓練)を通して障害者支援について学んでいる。知的障害者にとって図画工作・音楽・体育の科目は重要であるが、職員がその専門知識をもっていないため、これらの科目を児童・生徒に指導するとともに、職員に対し指導内容・方法の改善等の助言が必要とされている。生徒の年齢が比較的高いため、2代目隊員は、職業訓練として手工芸指導を導入している(2015年1月帰国予定)。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

1.職員を対象とした能力向上支援としての職員への技術的(図画工作・音楽・体育)な助言。
2.生徒を対象とした社会参加支援としての生徒への作業学生指導。
3.職員並びに保護者を対象とした知的障害者ケアのワークショップ企画・運営・実施。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

コンピューター、プロジェクター、コピー機、ラミネーター、机、椅子

4)配属先同僚及び活動対象者

校長(女性、40歳代)
ケアワーカー5名(20-30歳代)
送迎バスドライバー
秘書1名

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ その他 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：教員への助言が必要なため
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可 ◉否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯海洋性 ）気温（ 20～35 ℃位）　電気（◉安定 ○不安定 ○なし）
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ）　水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

配属先が敷地内にボランティアの住居を提供予定

平成 27 年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 12 日

要請番号（ JL 224 - 15 - A - 01 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ドミニカ共和国	（コード I102 ） 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語） 教育省

2）配属先名（日本語） 08-05地区教育事務所 （活動先:ミゲル・アンヘル・ヒメネス小学校） ○ NGO

3）任地（ サンティアゴ ） JICA事務所の所在地（ サント・ドミンゴ ）
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 2 時間）

4）配属先の規模・事業内容
【配属先教育事務所】管轄地区の就学前教育(幼稚園)から中等教育の学校を監督する教育行政機関。初等教育(8年制)46校、中等教育(日本の高校レベル)19校、成人教育学校9校を管轄。他方、当国においては財政面での地方分権化が進んでいないことから、当該事務所の独自予算はほとんどない。JICA事業としては、これまで10年にわたり継続してJV(小学校教育)が派遣されてきた。今回の活動先である小学校を含む連携校全7校と協力し、効果的な教員研修を推進している。
【活動先小学校】午前午後の2部制で、7～14歳の児童生徒が学び、全児童生徒数は約1600名(2014年10月)である。在籍教職員は約30名。

要請概要

1）要請理由・背景
当国では、初等・中等教育機関の通常学級において、ADHD-注意欠陥多動性障害、LD-学習障害、ASD-自閉症スペクトラム障害などをの障害をもつ児童生徒が増加している。これらの状況に対応するには、特別支援教育の視点からの効果的・実践的指導が必要である。しかし、こうした指導に関する専門的な知識や経験を持つ同僚が少なく、これまでの自身の経験のみに頼った指導が行われ、障害特性を考慮した指導が実践されていないのが現状である。教員一人ひとりがこうした児童生徒それぞれに対し、個を生かす視点からの指導が急務との判断から、こうした状況をを改善するために本要請がなされた。
ボランティアは、主に発達障害をもつ児童生徒及び全教員を対象に活動し、本要請に応えていくことになる。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）
発達障害を持つ児童生徒への適切な指導・支援が当該小学校で実施されるようになるために、主に以下の活動を行う。
①同僚教員に対し、対象児童生徒への直接指導(チーム・ティーチングによる)を通した指導・助言を行う。
②同僚とともに、定期的な校内研修会を計画・実施する。(障害特性理解、効果的・実践的指導法紹介、教材作成、保護者への対応など)
③配属先の教育事務所のコーディネーター、及び活動先の同僚とともに、連携校において②の内容を提案・実施する。
④配属先の教育事務所のコーディネーター、及び活動先の同僚とともに、連携7校合同研修会を企画・実施する。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
【教育事務所】パソコン、コピー機、ラミネーター、裁断機(すべて共用)

4）配属先同僚及び活動対象者
【教育事務所】初等教育コーディネーター4名/全員女性/30～50代/最長で勤務10年
【活動先】校長/男性/50代 教職員約30名
同僚(カウンターパート)/教務主任/女性/40代/教員経験約20年

5）活動使用言語（ スペイン語 ）
6）生活使用言語（ スペイン語 ）
7）選考指定言語
英語 (レベル: [redacted])
又は
(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）
・免許/資格（ ）
又は（ 教諭免許（種類は問わない） ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ ）（ ）理由：
・ 特別支援学校/学級 実務経験3年程度 理由：経験に基づく指導が必要
・

活動上の単車／自転車の必要性
○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度
◉ 可 春募集時のみ適用
○ 否 SVは通年対象外

地域概況
気候（熱帯モンスーン気候 ） 気温（ 18～34 ℃位）
通信（ ☒ インターネット可 ☒ 電話可 □ 無線 ）
電気（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）
水道（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）

特記事項
特別支援学校教諭免許状を持っていることが望ましい。ただし、同免許の有無よりも、こうした児童生徒を指導した実務経験を有することが重要。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 27 年 1 月 12 日

要請番号（ JL 224 - 15 - A - 02 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ドミニカ共和国	（コード I102 ）障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　教育省

2）配属先名（日本語）　08-05地区教育事務所（活動先:ホセ・アルマンド・ベルムーデス小学校）　○NGO

3）任地（ サンティアゴ ）　JICA事務所の所在地（ サント・ドミンゴ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 2 時間）

4）配属先の規模・事業内容

【配属先教育事務所】管轄地区の就学前教育(幼稚園)から中等教育の学校を監督する教育行政機関。初等教育(8年制)46校、中等教育(日本の高校レベル)19校、成人教育学校9校を管轄。他方、当国においては財政面での地方分権化が進んでいないことから、当該事務所の独自予算はほとんどない。JICA事業としては、これまで10年にわたり継続してJV(小学校教育)が派遣されてきた。今回の活動先である小学校を含む連携校全7校と協力し、効果的な教員研修を推進している。
【活動先小学校】全日制。7～14歳の児童生徒が学び、全児童生徒数は約900名(2014年10月)。各学年30人学級3クラス。在籍教職員約50名。

要請概要

1）要請理由・背景

当国では、初等・中等教育機関の通常学級において、ADHD-注意欠陥多動性障害、LD-学習障害、ASD-自閉症スペクトラム障害などをの障害をもつ児童生徒が増加している。これらの状況に対応するには、特別支援教育の視点からの効果的・実践的指導が必要である。しかし、こうした指導に関する専門的な知識や経験を持つ同僚が少なく、これまでの自身の経験のみに頼った指導が行われ、障害特性を考慮した指導が実践されていないのが現状である。教員一人ひとりがこうした児童生徒それぞれに対し、個を生かす視点からの指導が急務との判断から、こうした状況をを改善するために本要請がなされた。
ボランティアは、主に発達障害をもつ児童生徒及び全教員を対象に活動し、本要請に応えていくことになる。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

発達障害を持つ児童生徒への適切な指導・支援が当該小学校で実施されるようになるために、主に以下の活動を行う。
①同僚教員に対し、対象児童生徒への直接指導(チーム・ティーチングによる)を通した指導・助言を行う。
②同僚とともに、定期的な校内研修会を計画・実施する。(障害特性理解、効果的・実践的指導法紹介、教材作成、保護者への対応など)
③配属先の教育事務所のコーディネーター、及び活動先の同僚とともに、連携校において②の内容を提案・実施する。
④配属先の教育事務所のコーディネーター、及び活動先の同僚とともに、連携7校合同研修会を企画・実施する。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

【教育事務所】パソコン、コピー機、ラミネーター、裁断機(すべて共用)

4）配属先同僚及び活動対象者

【教育事務所】初等教育コーディネーター4名/全員女性/30～50代/最長で勤務10年
【活動先】校長/男性/50代　教職員約50名
同僚(カウンターパート)/教務主任/女性/40代/教員経験約20年

5）活動使用言語（ スペイン語 ）
6）生活使用言語（ スペイン語 ）
7）選考指定言語　英語（ﾚﾍﾞﾙ: [redacted]）又は（ﾚﾍﾞﾙ: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ 教諭免許（種類は問わない） ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ ）（ ）理由：
- 特別支援学校/学級実務経験3年程度　理由：経験に基づく指導が必要
-

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：◉可 ○否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 18～34 ℃位）．電気（○安定 ◉不安定 ○なし）
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ）　水道（○安定 ◉不安定 ○なし）

特記事項

特別支援学校教諭免許状を持っていることが望ましい。ただし、同免許の有無よりも、こうした児童生徒を指導した実務経験を有することが重要。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 12 日

要請番号（ JL 242 - 15 - A - 08 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ジャマイカ	（コード I102 ） 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　教育省

2）配属先名（日本語）　特別支援教育ユニット　○ NGO

3）任地（ キングストン ）　JICA事務所の所在地（ キングストン ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4）配属先の規模・事業内容

配属先は教育省の一部署として幼児から高校までの教育における差別的慣行の撤廃を目的とした政策の実施に向けた仕組み作りを担当している。「児童の権利に関する条約」や「障害者の権利に関する条約」などの普遍的な法規が遵守されることに責務を負っている。特別支援学校・学級あるいは障害者支援コミュニティ団体のプログラムへのサポートからカリキュラムの見直し、プログラムの評価、トレーニングの提供、プログラムの企画や評価など特別支援教育のすべての局面で必要な専門的業務を実施している。当ユニットの年間予算は約8億円。

要請概要

1）要請理由・背景

同国の2001年のセンサスで24歳以下の障害者は約5万人と推定されているが、学習障害等のケースは含まれていない。現在、教育省が把握している教育課程にいる障害児は6700名にとどまり、特別な介入を受けられず学習について行けない児童・生徒が多数存在するとみられている。そのため、配属先では普通学校に通っている児童生徒のスクリーニング調査を継続している。調査の結果は教育省の政策に反映され、幼児期の早期発見、早期療育プログラムと併せて将来の特別支援教育体制にも重要な意義がある。ボランティアにはリサーチアシスタントとして調査体制を強化し、データ収集、分析、報告書作成の支援が期待されている。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1.学校における障害児スクリーニング調査の支援
2.データ収集、データ分析、報告書作成支援
3.幼児教育、小学校教育過程における障害別児童数の調査結果の公開支援

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

過去の調査データ 一般的な事務機器

4）配属先同僚及び活動対象者

局長補 女性 50代
プロジェクトコーディネーター女性 教育学博士 40代
ユニットスタッフ 学士～博士 35～40代
活動対象: 教員、児童、生徒
プロジェクトコーディネーターが直接の上司となる。

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ 英語 ）
7）選考指定言語
英語 （ﾚﾍﾞﾙ: B ）
又は （ﾚﾍﾞﾙ: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ 大卒 ）（ ）理由：配属先同僚が学士以上
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：調査経験が求められている
- 社会学あるいは疫学的な調査経験　理由：活動に必要
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熟帯海洋性 ）気温（ 22～32 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 12 月 29 日

要請番号（ JL 306 － 15－ A － 11 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ボリビア	（コード I102 ） 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 3 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　教育省

2)配属先名（日本語）　養護センターPREEFA サンタクルス校　○ NGO

3)任地（ サンタクルス県サンタクルス市 ）　JICA事務所の所在地（ ラパス県ラパス市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で約 1 時間）

4)配属先の規模・事業内容

同校はスペインのカトリック系NGO団体Fe y Alegriaによって1988年に設立された半官半民の特別支援教育学校で、幼稚部、小学部(1-8年生)及び職業訓練クラス(25歳まで)があり、知的障害のある児童・生徒を受け入れている。
午前と午後の二部制で授業が行われており、約250名が在籍している。これまで障害児・者支援のボランティアが6名(長期3名、短期3名)と小学校教諭の長期ボランティアが1名派遣されており、現在も小学校教諭隊員1名(25年度1次隊)が活動中である。

要請概要

1)要請理由・背景

同国では特別支援教育養成に関するコースは不定期で開校されているのみで、障害を抱える子供に対する教育の質の向上が課題となっている。
本要請の前任者は小学部において、図工教育の導入や音楽を取り入れた学級経営、生徒達による絵画展や野菜栽培などを実施し、配属先及び生徒達の保護者から好評を博したが、今回後任には前任者が指導を行っていない算数教育向上のため学校の現状に適した算数授業計画の作成にボランティアの支援が求められ要請に至った。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

配属先の小学部8学年を対象に、以下の活動を行う。
・配属先の教師達へ特別支援教育における算数教育の指導内容・方法の提案及び実践。
・ボランティア自身が主体となって、より質の高い算数教育を定着させるための授業計画の提案及び実践。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、ラジカセ、プロジェクター、ビデオカメラ、カメラ等

4)配属先同僚及び活動対象者

カウンターパート
・校長(女性 / 40代)
・心理カウンセラー[教員対象](女性 / 40代)
・心理カウンセラー[保護者・生徒対象](女性 / 40代)
活動対象者
・小学部の生徒(1-8年生 / 6-14歳)

5)活動使用言語（ スペイン語 ）
6)生活使用言語（ スペイン語 ）
7)選考指定言語
英語　(ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は　(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ ）（ ）理由：
・ 理由：
・ 特別支援学校又は特別支援学級での実務経験必須(3年以上)

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ）気温（ 平均15～35 ℃位）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）
電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 1 月 6 日

要請番号(JL 315 - 15 - A - 03)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
コロンビア	(コード I102) 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 大統領府国際協力局

2)配属先名(日本語) 財団フンダミセル ◉NGO

3)任地(サンタンデール県バランカベルメハ市) JICA事務所の所在地(ボゴタ市)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(飛行機 で約 0.5 時間)

4)配属先の規模・事業内容
0歳から30歳までの知的障害者、ダウン症患者、身体障害者に対し、基礎教育や職業教育、リハビリテーションを提供するNGOで、現在、約20名がNGOの施設に通ってサービスを受けているが、施設に通えない場合(現在50名ほど)は、無料の自宅訪問サービスを受けけることも可能。2010年から活動を開始し、17名のスタッフの半数以上がボランティアとして事業を支えている。年間の事業予算は約60万円で、施設に通う利用者の月謝、寄付金、里親制度などで賄っており、国や地方自治体からの補助は受けていない。

要請概要

1)要請理由・背景
同国の法律では、地域の公立学校が障害児の教育も担うことになっている。しかし、教員には障害児を指導するノウハウがないことや、一般児童への対応が精一杯で、障害児への指導にまで手が回らないため、学校が障害児を受け入れたとしても、教室で放置されているのが実情である。このため、学校に行かない障害児が増え、配属先がこれら障害児の教育を行うきっかけとなった。配属先での基本的活動として、0歳～5歳の障害児には早期介入、6歳～12歳には読み書き等初歩の基礎教育、12歳から30歳には生産活動を行っている。しかし、特に6歳～12歳への読み書きの指導方法や図工の導入に困難を生じており、JICAボランティアの要請となった。なお、任地の教育省出先機関は、現地教員も読み書き等の指導法を必要があると認識しており、ボランティアは、配属先以外の地域の学校でも教員等を対象に活動を行う可能性がある。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
1. 6歳～12歳までの障害児に対して同僚が行う読み書き等の指導方法について、適切な指導方法をアドバイスする。
2. 6歳～12歳までの障害児を対象とした図工の授業を導入するにあたり、指導方法や作品に関してアドバイスをする。
3. 配属先が行う障害児・者対象の活動全般に参加するとともに、各活動の改善や充実に協力する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
配属先施設(広間、個別指導室一部屋、調理場、事務室、PC/インターネット)と簡単なリハビリ器具。

4)配属先同僚及び活動対象者
直接活動の同僚となるのは、教育部門の女性スタッフ3名(教育プログラムコーディネーター1名と教育係2名)。その他、教育心理学、ソーシャルワーカー、理学療法士、言語療法士、演劇指導等の配属先スタッフがボランティア活動を支援する。

5)活動使用言語 (スペイン語)
6)生活使用言語 (スペイン語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: ■) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は( )
・性別( )理由:
・学歴( )( )理由:
・経験(実務経験)(2年以上)理由:適切に助言できる経験が必要
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
○可 ◉否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(西岸海洋性気候) 気温(15～35 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項
現地語学訓練は、首都ボゴタ(標高2,600m)にて約1ヶ月間実施を予定。

平成 27年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 2 月 5 日

要請番号(JL 512 - 15 - A - 22)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ガーナ	(コード I102) 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 教育省

2)配属先名（日本語） ベチェムろう学校　○NGO

3)任地(ブロング・アハフォ州ベチェム)　JICA事務所の所在地(アクラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 7 時間)

4)配属先の規模・事業内容

聴覚障害を持つ児童・生徒のための全寮制学校。1969年に設立され、聴覚に障害のある児童・生徒が将来自立して社会参加することを目指している。普通科(幼稚部・小学部・中学部)と、中学卒業以上を対象とした職業訓練科があり、現在約400名が在籍している。教員総数は約50名。以前に米国ピースコーポランティアが派遣されていたことがある。現在はドイツ政府からの教科書等の援助あり。2013年に当国政府より40台のPCが供与された。現在青少年活動JVが活動中。

要請概要

1)要請理由・背景

当国では数年前よりICT(Information and Communication Technology)科目が授業に導入され、生徒はコンピュータの使用を学習することになっているが、当国ではICT授業を担当できる教員が依然として不足しているのが現状である。また、同校の生徒は聴覚障害を持っているため通常よりも細やかな指導が必要で、教員の確保が更に難しい状況である。2013年に派遣された初代JVは赴任以降ガーナ式手話を学習し、手話を交えながら実技演習を多く取り入れたICT授業を実施しており、校長からの高い評価を得ている。ICT授業内容の向上や学校の活性化のためにも継続したJV派遣が望まれており、後任要請に至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

1.聴覚障害を持つ生徒に対して、週に約10コマ(1コマ2時間)、実技演習中心のPC授業の実施※
2.同僚教師のPC技術と指導内容が向上に資する支援
3課外授業として、情操育成に資する科目(音楽、図工、手芸他)のうち、対応可能な範囲で隊員の得意分野の授業実施
4.学校全体の活性化にるながるイベントや行事の企画の提案・助言
※手話を交えた指導が必要であるが、ガーナ式手話は米国・日本式とは異なるため赴任後習得することになる。
※授業内容は、指導対象(赴任後に決定予定)により、小学部はPCの電源の入れ方からタイピング、中等部はWord、Excel導入編、職業訓練科はWord、Excel初級レベルを指導。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

ICT授業用クラス教室、ラップトップPC40台(WINDOWS7)、プロジェクター1台

4)配属先同僚及び活動対象者

校長 :50代、女性
同僚教師:約2名(小学部・中学部に各1名、20～30代、男性)
指導対象:小学部、中学部、または職業訓練科(10～20才、赴任後に決定予定)

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (英語)
7)選考指定言語 英語 (ﾚﾍﾞﾙ: ■) 又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許/資格 ( )
  又は ( )
- 性別 ( )理由:
- 学歴 ( ) ( )理由:
- 経験 ( ) ( )理由:
- 障害児・者との活動経験　理由:障害児・者への配慮が必要なため
-

活動上の単車／自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ◉可 春募集時のみ適用 / ○否 SVは通年対象外

地域概況

気候(サバナ気候) 気温(25～35 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

任期中は、他教師同様、学校敷地内に所在する住居に住むことになる。
音楽・図工等の指導は、歌や踊りなど楽器を使わないものや絵画や折り紙など少額の経費で指導できるものを想定。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 11 日

要請番号（ JL 515 - 15 - A - 19 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ケニア	（コード 1102 ） 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 3 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　教育省

2）配属先名（日本語）　マランダ特別支援学校　　○ NGO

3）任地（ マランダ(ボンド) ）　JICA事務所の所在地（ ナイロビ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 8.0 時間）

4）配属先の規模・事業内容

配属先は1985年に設立された、知的障害と肢体不自由を対象とした全寮制の特別支援学校である。生徒の年齢は5歳から30歳で、障害の程度は軽度から中度。生徒数は117名で、保育クラス(2クラス)、自閉症クラス、就学前クラス(2クラス)、基礎教育クラス、職業訓練準備クラス、職業訓練クラス(4クラス)の11クラスがある。教員数は13名。基礎教育や社会的スキルの訓練のほか、木工、金属加工、農業などの職業訓練を実施している。年間予算は約700万円。平成26年度1次隊で、2代目の隊員が活動中。

要請概要

1）要請理由・背景

配属先では教員1人あたりの生徒数が約9名と絶対的に教員数が不足しており、生徒一人ひとりを十分に掌握できていないという問題がある。またクラスには教員以外にサポートスタッフが入っているものの、教員との連携が上手く取れていないため、効果的な授業を実施できていない。そこで同僚教員と共に授業を実施しながら、知的障害者に対する日本の教育法や学習教材を紹介し授業の質を改善してほしいと、ボランティアが要請された。現在活動中の隊員は自閉症クラスを担当し、認知面や日常生活面における個々の実態差の大きい子供達に対し、個別指導を取り入れながら学習指導を行っている。また配属先では職業訓練にも力を入れているため、農業・木工・手工芸などの作業学習を積極的に取り入れる事も期待されている。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1.同僚教員と共にクラスを担当し、授業を実施する。担当クラスはボランティアの得意分野や経験を考慮し、校長と協議の上決定する。
2.現地で手に入る安価な材料を用い、同僚教員が活用しやすい学習教材や補助具を作成する。
3.農業・木工・手工芸などの職業訓練分野の支援を行う。
4.同職種のボランティアと協力し、指導法や教材に関する教員向けのワークショップを企画・開催する。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、黒板、サッカーボール、バレーボール

4）配属先同僚及び活動対象者

校長:男性
教員:13名、特別支援学校教諭免許所持
サポートスタッフ:12名
指導対象者:5～30歳の知的障害、または肢体不自由者

5）活動使用言語（ スワヒリ語 ）
6）生活使用言語（ スワヒリ語 ）
7）選考指定言語
英語　(ﾚﾍﾞﾙ: ■)
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ 特別支援学校教諭または養護学校教諭 ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：クラスを担当するため
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　○ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯気候 ）気温（ 15～30 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☐ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

住居は配属先敷地内となる。

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 11 日

要請番号（ JL 515 - 15 - A - 20 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ケニア	（コード I102 ） 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 4 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　教育省

2)配属先名（日本語）　ンジョロ特別支援学校　○NGO

3)任地（ンジョロ）　JICA事務所の所在地（ナイロビ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 3.5 時間）

4)配属先の規模・事業内容

配属先は1988年に救世軍(キリスト教系の団体)によって設立された、知的障害児・者を対象とした全寮制の公立学校である。教員7名、寮母2名に加え、同校の卒業生3名が技術職員として働いている。現在の生徒数は約40名だが、今後増加する予定である。生徒の年齢は7～25歳で、障害の程度は軽～重度まで様々。クラスは発達段階によって4つに分けられている。男子寮2棟(約40名収容可能)、女子寮1棟(約30名収容可能)がある。寄宿費を含めた年間の授業料は、1人あたり約1.5万円。配属先の年間予算は約250万円。軽～中度障害者には、作業学習としてビーズ細工を教えている。平成26年度1次隊で、初代隊員が活動中。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先では、発達段階に応じて日常生活動作や応急措置、作業学習(ビーズ細工)、算数、美術、体育、コミュニケーション技術等を訓練している。各クラス10名程度の生徒が在籍しており、それぞれ2名の教員が教科を分けて授業を担当している。教員は全員、特別支援学校教諭の資格を有しているものの、障害の知識があるという程度にとどまっており、生徒の理解や習得はないがしろにされたまま授業が進められている。そこで障害のある子供への効果的な指導方法をアドバイスし、同僚教員が子供の発達を促す授業を実践できるように支援してほしいと、ボランティアが要請された。現在活動中の隊員は軽度のクラスで算数、美術、体育の授業を担当し、現地で手に入る物で教材を作成しながら、生徒の理解と定着を促す授業を実践している。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

1.同僚教員と共にクラスを担当し、授業を実施する。担当クラスや教科はボランティアの得意分野や経験を考慮し、校長と協議の上決定する。
2.現地で手に入る安価な材料を用い、同僚教員が活用しやすい学習教材や補助具を作成する。
3.同僚教員に対し知的障害のある子供への指導法をアドバイスし、授業作りを支援する。
4.同職種のボランティアと協力し、指導法や教材に関する教員向けのワークショップを企画・開催する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、黒板、運動場

4)配属先同僚及び活動対象者

校長:女性
教員:7名(女性4名、男性3名)、特別支援学校教諭免許所持、学校教師経験15～30年、特別支援教育の経験5年程度、40～50代
寮母:2名
技術職員:3名(同校卒業生)
指導対象者:7～25歳の知的障害児・者

5)活動使用言語（ スワヒリ語 ）
6)生活使用言語（ スワヒリ語 ）
7)選考指定言語
英語 (レベル: ■)
又は
(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許/資格（ 特別支援学校教諭または養護学校教諭 ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：同僚への指導も行うため
・ 理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：◉可 ○否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（温帯気候 ）気温（ 10～30 ℃位）　電気（○安定 ◉不安定 ○なし）
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ）　水道（○安定 ◉不安定 ○なし）

特記事項

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 27 年 2 月 12 日

要請番号(JL 515 - 15 - A - 38)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
ケニア	(コード I102) 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 3 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 27 / 4 28 / 1	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 教育省

2)配属先名(日本語) ナクルヒルズ特別支援学校 ○NGO

3)任地(ナクル) JICA事務所の所在地(ナイロビ)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 3 時間)

4)配属先の規模・事業内容
配属先は1978年にカトリックの団体によって開設された、知的障害児と肢体不自由児を対象とした寄宿制特別支援学校である。在校生は6歳から25歳の185名(男子105名、女子80名)で、6歳から8歳までの就学前クラス、9歳から15歳までの基礎教育クラス、15歳以上の職業訓練準備クラス、18歳以上の職業訓練クラスからなる。障害種別(重複あり)は、知的障害37.6%、脳性マヒ16.1%、自閉・多動18.5%、ダウン症8.3%、てんかん19.5%で、障害の程度は様々である。肢体不自由の児童に対しては、作業療法士が来校してリハビリを行っている。平成26年度秋募集で、新たに作業療法士隊員を要請中。

要請概要

1)要請理由・背景
配属先では、障害児者にとって不可欠な基礎学習、社会性、日常生活動作(ADL)等の自助スキル、職業技術等を身に付けさせ自立を支援するとともに、それぞれの潜在能力や自己肯定感を引き出すことを目標に教育を行っている。しかしながら、実際には教師が教室に来ない、来ても何もしていないなど、生徒がただ収容されているだけのクラスも多い。また、教師は授業中以外では生徒にほとんど関心を払っておらず、生徒の体調不良やトイレ・食事の状況等については、サポートスタッフにまかせきりになっているのが現状である。現在活動中の隊員はこのような状況を改善するため、同僚教師と共に1つのクラスを担当しながら、生徒1人1人に目が行き届く授業や支援についてアドバイスを行っているが、学校規模が大きいこともあり、全体に波及するまでに至っていない。そこで引き続き授業や支援の改善を行ってほしいと、後任隊員が要請された。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
①同僚教師とともにクラスを担当し、読み書き・家庭科・体育・図画工作等の授業のほか、コミュニケーション能力や生活能力の向上を目的とした活動を計画し、実施する。
②生徒の個別指導計画の策定を推進し、その内容についてアドバイスする。
③地元で手に入る安価な物を使って教材を作成し、生徒が楽しく学べるような学習環境を整備する。
④同職種の隊員と協力し、指導法に関するワークショップを企画・開催する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
パズルなどの簡単なゲーム

4)配属先同僚及び活動対象者
配属先同僚は校長(女性)をはじめとして、教員23名(特別支援学校教諭免許の取得者)からなるほか、サポートスタッフが18名ほどいる。活動対象者となる生徒は185名、年齢は6歳から25歳まで。

5)活動使用言語 (スワヒリ語)
6)生活使用言語 (スワヒリ語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: ■) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格( )
又は( )
・性別( )理由:
・学歴( )( )理由:
・経験(実務経験)(2年以上)理由:同僚への指導を行うため
・ 教員免許(種類は問わない) 理由:ケニアで教員として働く際に必要
・

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
◉可 ○否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(温帯気候) 気温(15~30 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 9 日

要請番号（ JL 524 － 15 － A － 09 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
マラウイ	（コード I102 ） 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　教育・科学技術省

2)配属先名（日本語）　モントフォート視覚障害児特別支援学校　○ NGO

3)任地（チラズル県チラズル ）　JICA事務所の所在地（ リロングウェ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で約 5 時間）

4)配属先の規模・事業内容

1968年ミッションスクール内に設立されたマラウイ唯一のモントフォート特別支援教育教員養成学校(カレッジ)に併設された、視覚障害児のための全寮制の特別支援学校(プライマリースクール)。視覚障害を持つ約60名の生徒に対し、小学校レベルの特別支援教育を行うとともに、約45名の特別支援教育教員の指導養成、点字本の制作も行っている。なお、同カレッジ傘下に併設された聴覚障害児のための全寮制の特別支援学校にはこれまでJVの派遣実績がある。カレッジ、各特別支援学校を併せ、政府から全予算、年間30万米ドルを受け取っている。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先の中核となるカレッジおよび聴覚障害児の特別支援学校にこれまでにJVを派遣し、継続派遣も要請中であるが、その実績、成果が高く評価されてきたところである。一方、併設の視覚障害児のための特別支援学校においてスポーツや表現芸術を担当する教員が不足していることから、今般、配属生徒への教育とともに教員の養成を行うため、視覚障害児に対する同分野での特別支援教育について実務経験を有する新規ボランティアの派遣が要請された。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

①視覚障害児のための特別支援学校(プライマリースクール)の生徒(約60名)へのスポーツないし表現芸術(音楽など)の教育を行い、自立支援を行う。
②視覚障害児に対する特別支援教育教員の養成を促進するため、カレッジや配属先において教員の指導を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

通常のスポーツ用具・遊具、視覚障害者のためのPC機器

4)配属先同僚及び活動対象者

・40歳代後半 校長(男性) 視覚障害教育 修士レベル
・50歳代 男性 特別支援における表現芸術教育 修士レベル

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ その他 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: B)
又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許/資格（ 特別支援学校教諭または養護学校教諭 ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 教員経験 ）（ 3年以上 ）理由：障害児の教育、教員の指導のため
・ 理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：◉ 可　春募集時のみ適用　○ 否　SVは通年対象外

地域概況

気候（温暖冬季少雨気候 ）気温（ 10～30 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 1 月 9 日

要請番号（ JL 524 - 15 - A - 10 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
マラウイ	（コード I102 ） 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 男女平等・児童・障害者・社会福祉省

2)配属先名（日本語） マザー テレサ チルドレンセンター　◉NGO

3)任地（ブランタイヤ県チロモニ ）　JICA事務所の所在地（ リロングウェ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 5 時間）

4)配属先の規模・事業内容

英国系非営利団体Beehiveの傘下に設立された孤児など生活弱者の子供たちをサポートする教育施設であり、近隣の里親から通園する孤児(6才まで)約120名に対し幼児教育を行っている。アウトリーチ活動としてブランタイヤ・チロモニ地区のコミュニティを巡回訪問し、家庭に籠っている障害児を見出し、教育や生活の自立のための特別支援教育を保護者や地域の介護ボランティアも巻き込んで行っている。運営資金はBeehiveの自転車販売や重機レンタルなどの事業のうち約8300万マラウイクワチャ(約2千万円)が充てられている。それら障害児のうち現在25名が前記幼児用教育施設に通園しリハビリや健常児との教育を受けている。

要請概要

1)要請理由・背景

本配属先は、英国系非営利団体Beehive傘下で、近隣の孤児や障害児など幼小児の教育施設にて、自立のための特別支援教育を展開している。今般、同配属先が近隣のコミュニティや家庭を巡回して、障害児の自立支援を行うアウトリーチ活動を強化拡充していくとのことから、派遣中の関連職種の隊員を伴い同配属先を訪問、ミーティングを行い、ボランティア派遣による活動内容や期待できる成果の共有を図った結果、今般障害児に対する特別支援教育の実務経験のあるJOCV派遣の要請があった。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

・アウトリーチチーム(現在8名)の一員として、チームリーダでありカウンターパートとなる特別支援教育コーディネーター(SENCO:Special Educational Needs Coordinator)とともに、配属先の車両に同乗し、隣のコミュニティや家庭を訪問、家庭に埋もれている障害児について、保護者の理解も深めながら社会進出や自立支援の取り組みを行う。
・将来の特別教育支援活動について調査や方向性を策定し、近隣コミュニティや家庭へのアプローチを行うとともに、活動地域の拡大も含め、関係者のネットワークづくりを進める。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

アウトリーチームのスタッフルーム内に割り当てられた業務机、PCのほか、施設内の障害児向けプレイルームに設置されたリハビリ機材を活用した特別支援教育活動の実践

4)配属先同僚及び活動対象者

ヘッド:Children's Centre Manager 女性1名 40歳代前半
カウンターパート アウトリーチチームチーフ SENCO(Special Educational Needs Coordinator) 男性1名 30才代 ディプロマ保有
同僚: 20-30代 男女計7名

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ その他 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：巡回活動の実務、指導を行うため
・ 理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可 ◉否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（温暖冬季少雨気候 ）気温（ 10～30 ℃位）　電気（◉安定 ○不安定 ○なし）
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ）　水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 JV ）

記入日：平成 27 年 2 月 9 日

要請番号（ JL 524 - 15 - A - 14 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
マラウイ	（コード I102 ）障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　教育・科学技術省

2)配属先名（日本語）　ムーア聴覚障害児特別支援学校　○NGO

3)任地（デッザ県ムーア）　JICA事務所の所在地（リロングウェ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バス で約 2 時間）

4)配属先の規模・事業内容

1994年に政府により設立された言語聴覚障害児のためのミッション系の特別教育支援校で、併設の幼稚園及び小学校の児童約170名(男子90名、女子80名)が、寄宿舎で共同生活をしながら、幼児教育、小学校教育、および自立生活に役立つ絵画や手芸など情操教育を受けている。教員数は18名。小学校での初等教育に力を入れており、卒業試験の合格率は直近で76%に上り、多くが通常の中高等学校に進学を決めている。

要請概要

1)要請理由・背景

マラウイ国内の他の特別支援学校と同様、教員のほとんどがマラウイ唯一の特別支援教育教員養成学校であるモントフォート特別支援教育カレッジで特別支援教育の研修を受けている。数学や理科、語学などの教科には有能な教員が確保されている。将来の自立生活のためにも必要な教科(手芸、図工等)や体育等に関して、言語聴覚障害児への教育を進めるとともに現地教員への指導を行うため、特別支援教育の指導、実務経験を有しそのノウハウを伝えられるJVの派遣要請となった。なお、言語聴覚士など障害者支援に係る資格を有していれば、構音指導も加えさらに大きな効果が期待されている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

①言語聴覚障害児に手芸、図工、体育の教科を担当する。
②現地教員に対して、上記教科に関する特別支援教育のノウハウを共有し、自主的な教育活動の確立を支援する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、机、椅子、黒板、聴覚検査器、言語聴覚訓練用鏡、耳内視鏡(オトスコープ)

4)配属先同僚及び活動対象者

校長(経験20年以上、男性50歳代)
同僚(経験5-15年)計18名
そのほか財務総務管理責任者1名(男性40歳代)

5)活動使用言語（英語）
6)生活使用言語（その他）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許/資格（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（指導経験）（2年以上）理由：聴覚障害児への指導を行うため
・ 理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：◉可 ○否　春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候（温暖冬季少雨気候 ）気温（ 10～30 ℃位）
通信（☒インターネット可 ☒電話可 □無線 ）
電気（○安定 ◉不安定 ○なし）
水道（○安定 ◉不安定 ○なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 10 日

要請番号（ JL 554 － 15－ A － 04 ）			区 分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国 名	職 種					
ジンバブエ	（コード I102 ） 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　初等・中等教育省

2)配属先名（日本語）　ヘレニック・シルバー・ライニングス　◉ NGO

3)任地（ ハラレ ）　JICA事務所の所在地（ ハラレ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

私立ヘレニック学校の校長裁量により、地域のニーズに合わせ障害を持つ児童を受け入れたことがきっかけとなり、2013年に設立。児童の保護者らの基金等により創設された特別支援学校である。就学前、ジュニア(小学生程度)、シニア(中学生程度)と校舎が分かれ計5クラスの構成となっている。対象児童は自閉症・ダウン症・小児麻痺・学習障害児等。3歳から18歳までの生徒たちが就学している。卒業生は「サンシャインプロジェクト」という授産施設に入所が可能。年間予算はUS$20万。各クラスに資格を持った教員1名、アシスタント1名が配置されている。指導論理・方法は米国のDISTARプログラムを採用している。

要請概要

1)要請理由・背景

現在、各クラス担任が個別指導計画に基づき授業を行っている。児童・生徒個々の潜在能力を生かすべく、学校のみならず家族や地域の人々、その他専門家などとのかかわりを持たせたアプローチをモットーとしており、児童・生徒自立促進に向けた自己ケア、行動や言語のスキルを支援している。社会に順応させるトレーニングやコミュニティーとのかかわり等の発達にも力を注いでいる。読み書き、算数等のアカデミック教科の指導から情操教育まで幅広く実施されているが、開校したばかりであり、今後の指導計画や活動内容など、特別支援教育にかかる多岐に渡るアドバイスやアイディアが必要とされ今回の要請となった。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

アドバイザーとして以下の活動をする。
1. 5クラスを巡回し、担任教師の授業をスーパーバイズする他、個別指導、個別教材案を提供する。
2.現在利用しているカリキュラムや教材についてアドバイスをする。
3.教員へのワークショップや職業訓練方法等を紹介する。
4.ファンドレイジングイベント等の企画や、企画の為の作業・作成物等のアイデアだしをする。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

教室にある教材一般、ゲーム、遊具等

4)配属先同僚及び活動対象者

・学校長(カウンターパート)
・教員5名(学士・修士取得レベル)
・教員アシスタント5名
・アドミニストレータ1名
・全校生徒38名

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ 英語 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許/資格（ 特別支援学校教諭または養護学校教諭 ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：即戦力が求められているため
・ 理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（サバナ気候 ）気温（ 8～28 ℃位）電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 JV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 9 日

要請番号（ JL 026 － 15 － A － 13 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
東ティモール	（コード I103 ） 福祉用具	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　社会連帯省

2）配属先名（日本語）　ナショナルリハビリテーションセンター　○ NGO

3）任地（ディリ ）　JICA事務所の所在地（ ディリ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4）配属先の規模・事業内容

2005年に設立された東ティモールで唯一のリハビリテーションセンターである。義肢装具と車いすの提供、理学療法と作業療法によるリハビリテーション訓練が可能である。2010年にはCBR部門が導入され、障害者を含めたすべての住民が住みやすい町づくりを目指している。2014年からは地方への訪問診療が始まり、全土の障害者へのリハビリテーション提供を目標としている。JV派遣は2013年に始まり、現在初代の義肢装具士・製作隊員と作業療法士隊員が活動中である。他にはポルトガルからアドバイザー1名(管理、政策立案等)、カンボジアから1名(トレイナー)の派遣予定。年間予算は615,000USD(2014)。

要請概要

1）要請理由・背景

ティモール人2名の義肢装具士を中心に計4名のスタッフで義肢装具の製作、利用者への適合、トレーニングを行っている。しかし現在の義肢の構成要素、製作方法では適合の向上に限界がある。そこで派遣中のボランティアは、新たに導入する材料を選び、それらを利用した製作技術の指導も行っているが、新素材の導入と定着には時間がかかり、改善計画の完成はまだ先のことである。また現在センターは力点を地方に移しつつあり、首都へ来ることが難しい地方在住者のため、3ヶ月ごとを目安に地域を選定しチームを組んで出張している。1度目の出張で採型・計測を行い、採型したモデルやデータをセンターへ持ち帰り、義肢装具を製作する。2度目の出張で適合判定、利用方法の説明を行う。その後、引き続き定期的に同地方を訪問し、修理の必要可否等の確認を行っている。より多くの障害者を適切に効率的に支援するために、ボランティアの継続派遣が求められている。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

ディリにあるセンターでの活動に加えて地方出張をする中で、以下のような活動を行っていく。
(1) ともに働くなかで義肢装具製作技術者へ技術を伝える
(2) 製作環境を改善するための助言を行う(機材のメンテナンス、材料の選定など)
(3) 義肢装具の製作プロセスを指導する

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

義肢・装具製作機材一式(オーブン、カービングマシーン、ボール盤等)、材料はPP(5,4,3mm)とEVA(10,7,5,3mm)

4）配属先同僚及び活動対象者

・義肢装具士2名(カンボジアで2年制養成学校卒業、男性、30代)、うち1名がCPとなる
・製作技術者2名(男性、20代)
・センターを製作の依頼もしくは歩行訓練のために訪問する人は、約5～6名/日

5）活動使用言語（ インドネシア語 ）
6）生活使用言語（ その他 ）
7）選考指定言語
英語　(ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は　(ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許/資格（ ）
　又は（ 義肢装具士 ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：同僚を指導する立場であるため
・　理由：
・

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 23～32 ℃位）　電気（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）
通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（○ 安定　◉ 不安定　○ なし）

特記事項

実際の活動や生活では生活言語(テトゥン語)を使用するため、任地到着後に学習する。

平成 27年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA ジャイカ 長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 26 年 12 月 10 日

要請番号(JL 106 - 15 - A - 04)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
フィジー	(コード I104) 高齢者介護	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	27 / 3 28 / 1 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 保健/医療サービス省

2)配属先名(日本語) サマンブラ・シニアシチズンズホーム ○NGO

3)任地(スバ市) JICA事務所の所在地(スバ市)
任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(バス で約 0.3 時間)

4)配属先の規模・事業内容
配属先は保健/医療サービス省管轄の高齢者介護福祉施設(老人ホーム)。1943年にサマンブラ老人ホームとして設立され、2010年に現在の名称に変更された。現在51名の入居者がおり、60歳以上の高齢者を主な対象としているが、比較的自立度の高い入居者がいる一方、より若い精神障害者も若干名入居している。同様の施設は地方都市ラウトカ、ランバサにも存在する。配属先にはNGOや教会、他国ドナーによる資金や食事などの援助が行われている。併設されたサマンブラヘルスセンターには、医師や看護師、実習生などが勤務しており、外来患者も多く訪れる。

要請概要

1)要請理由・背景
フィジーでは、高齢者人口の増加に伴い社会福祉や介護に関する需要が高まっており、高齢者介護福祉施設の活動にも注目が集まっている。しかし、介護知識が普及しているとは言えず、介護福祉施設で働く現役の介護士や看護師も専門知識が不足したまま介護を行っている。一方、大学等で高齢者介護について学ぶことのできる環境が整いつつあり、学生による高齢者介護福祉施設での実習も行われているが、現場の介護士から十分な指導を受けることができず、機会を活かしきれていない。配属先では2013年から前任となるボランティアが活動を始め、スタッフと協働して、入居者向けのアクティビティの計画、実施や、同僚への知識・技術の伝達を進めている。こうした活動の浸透、拡大のために、後任ボランティアが要請されるに至った。また、可能であれば、併設されたヘルスセンター等と協力し、介護の概念の地域住民等への拡大を支援できればなお良い。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
配属先の介護スタッフの一員として同僚と共に働きながら、以下の活動を行う。
1.入居者に対し、食事、排せつ、着替え、シャワー、移動などの日常生活動作(ADL)に対応する援助を行う。
2.介護予防のための高齢者へのレクリエーション、行事を企画し実施する。アクティビティのスケジュール作成、計画、立案、実施を同僚と共に行う。
3.入居者の車椅子の駆動や、歩行器、手すりを使っての移動など、日常生活内での運動機能向上のためのリハビリテーションをサポートする。
4.日常業務やワークショップなどを通じ、同僚や実習生に対して介護知識・技術の伝達を図る。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
車椅子、歩行器など

4)配属先同僚及び活動対象者
介護士:男性3名(20代～50代)
女性9名(20代～50代)
看護師:女性2名(30代)
その他(キッチン、運転士等):4名

5)活動使用言語
(英語)
6)生活使用言語
(その他)
7)選考指定言語
英語 (レベル: [redacted])
又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
・免許/資格(社会福祉士)
又は(介護福祉士)
・性別( )理由:
・学歴( )( )理由:
・経験(実務経験)(3年以上)理由:指導が必要であるため
・ 理由:
・

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
○可 ◉否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況
気候(熱帯雨林気候) 気温(20～35 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 □無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項
※配属先から提供される住居に同性のJVと2、3人で同居となるか、もしくはホームステイになる可能性がある。

日系社会
青年ボランティア

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 NJV ）

記入日：平成 27 年 2 月 10 日

要請番号（ NJ 309 － 15－ E － 08 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ブラジル	（コード H113 ） 作業療法士	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	/ / /	28 年 7 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　サンパウロ日伯援護協会

2）配属先名（日本語）　特別養護老人施設　あけぼのホーム　◉ NGO

3）任地（ グアルーリョス市 ）　JICA事務所の所在地（ サンパウロ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で約 1.5 時間）

4）配属先の規模・事業内容

サンパウロ日伯援護協会は、本部、医療部門、福祉部門、「サントス厚生ホーム」・「カンポスさくらホーム」・「あけぼのホーム」などの老人ホーム、精神障害者社会復帰センター「やすらぎホーム」から構成される。活動先である特別養護老人施設あけぼのホームは、日系の要介護高齢者を対象とした特別養護老人施設として、JICAの支援により2000年に開所、介護が必要な60歳以上の高齢者48名が入所している。あけぼのホームの年間予算は約133万米ドルで、これまでのJICAボランティアの派遣実績は、社会福祉士等7名。

要請概要

1）要請理由・背景

入居者の平均年齢が84歳で多くが認知症を患っており、日本語を母国語とする一世であるため、少しでも記憶の衰えを遅らせるような、日本語による活動が求められている。NJVは、同僚の作業療法士の補佐役として、持っている知識・経験を生かす事が期待されている。また、日々の作業やレクリエーション、各種行事において、日本語でのコミュニケーションによって安心感ややすらぎを与えることも求められている。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1.記憶の衰えを遅らせるような、手作業、ゲーム等の日々の作業支援
2.レクリエーション、イベントなどの企画・運営支援
3.日本語による入居者との対話をとおした介護支援
4.看護師、社会福祉士、栄養士など他のスタッフと連携して入居者の生活の質を高める

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

各種ボール、玩具、ラジカセ、絵カード、他

4）配属先同僚及び活動対象者

同僚:作業療法士1名、福祉士1名、栄養士1名、医師2名(非常勤)、看護師2名、准看護師16名、介護職員13名などホーム長以下職員総勢58名(専門職有資格者の大半が日系)

活動対象者:60歳以上の高齢者で、身体障害、認知症、アルツハイマー症を患っている入居者48名(大半が日系)

5）活動使用言語（ ポルトガル語 ）

6）生活使用言語（ ポルトガル語 ）

7）選考指定言語　英語（レベル: ■ ）　又は（レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許/資格（ 作業療法士 ）又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：介護職員の指導等が求められている
- 理由：
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（亜熱帯 ）気温（ 5～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 27 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 NJV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 27 年 2 月 10 日

要請番号（ NJ 309 - 15 - E - 39 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ブラジル	（コード H131 ） 栄養士	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	/ / /	28 年 7 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　サンパウロ日伯援護協会

2)配属先名（日本語）　サンパウロ日伯援護協会　◉ NGO

3)任地（サンパウロ州サンパウロ市　）　JICA事務所の所在地（　サンパウロ　）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（　徒歩　で約　0　時間）

4)配属先の規模・事業内容

1959年に設立され、サンパウロ州を中心に日系人の福祉・医療事業を実施する、日系社会を代表する福祉・医療機関。受入機関全体の年間予算は約1億2千万米ドル。本部の他に福祉部門、4つの高齢者介護施設、精神障害者社会復帰センター、児童社会活動センター、自閉症児療育学級、病院、医療センターなどを運営している。栄養士分野のボランティアは当機関に合計4名派遣されたが、巡回型の活動になったのは前任のNSVからであり、その初代NSVは現在派遣中である。

要請概要

1)要請理由・背景

日系社会では高齢化が進行しており、日系高齢者に適した医療、介護、リハビリ、栄養管理等の対応が求められている。食事については、年齢や身体状況を考えるだけではなく、ブラジル日系人の食文化に合ったものを工夫して提供しているが十分とは言えない。そこで、日系高齢者に合った栄養管理、調理技術を現地の事情に即した形でより考える必要があり、ボランティアの要請に至った。また、日本語による毎日の会話は入居者にとって大きな心の支えとなっているため、日々の食事や栄養管理に役立てる意味でも積極的に入居者の中に入ってコミュニケーションをとることが期待されている。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

サンパウロ日伯援護協会傘下の高齢者介護施設を巡回し、以下の活動を行う。
1.現地栄養士に対する栄養管理や調理、衛生管理、食材管理への支援。
2.バラエティーに富んだ献立作成(献立は主に日本食を担当)。
3.施設内各種行事(運動会、カラオケ大会、各種祭り等)への参加、協力。
4.傘下施設、その他日系・非日系施設との情報、意見交換の推進。
5.各専門職(医師、社会福祉士、作業療法士、看護師等)と連携し、現状の改善を図る。
2015年7月派遣予定のNJV(栄養士)とともに活動予定。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

各施設に調理場、調理器具、機材は概ね揃っている。食材は定期的に購入する以外に、寄付で野菜、果物、魚類、その他食材をもらうことがある。

4)配属先同僚及び活動対象者

本部:栄養士2名(日系女性、25歳、45歳)。
各高齢者介護施設
(①サントス厚生ホーム②イペランジャホーム③あけぼのホーム)
:日系人のホーム長が1名、調理師と調理助手が3～5名。
専属栄養士1名。①②本部の栄養士が兼任。

5)活動使用言語（ ポルトガル語 ）
6)生活使用言語（ ポルトガル語 ）
7)選考指定言語
英語　(ﾚﾍﾞﾙ: [redacted])
又は
(ﾚﾍﾞﾙ:　)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許/資格（ 栄養士 ）
  又は（ 管理栄養士 ）
- 性別（　）理由：
- 学歴（　）（　）理由：
- 経験（　）（　）理由：
- 高齢者介護施設での実務経験　理由：活動上必要なため
-

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可　◉ 否　春募集時のみ適用　SVは通年対象外

地域概況

気候（亜熱帯気候　）気温（　5～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

ジャイカ
JICA